

年報

2022

vol.20

～人と自然と文化の調和した丹波の森づくりをめざして～



(公財)兵庫丹波の森協会

県立丹波の森公苑

県立丹波年輪の里

県立ささやまの森公園

県立丹波並木道中央公園

もくじ

森トピックス	P 1
活動方針	P 2
事業報告	P 5
兵庫丹波の森協会事務局 丹波の森公苑	P 4 3
講座一覧	P 4 4
出前講座の状況	P 5 1
活動一覧	P 5 2
施設利用一覧	P 5 7
評議員会・理事会・運営委員会の開催状況及び委員等名簿	P 5 9
機能	P 6 4
沿革	P 6 8
施設の概要	P 7 0
組織と職員	P 7 2
丹波年輪の里	P 7 4
活動一覧	P 7 5
施設利用一覧	P 7 7
運営協議会委員及び関係者名簿	P 7 8
沿革	P 7 9
施設の概要	P 8 1
組織と職員	P 8 2
ささやまの森公園	P 8 3
活動・施設利用一覧	P 8 4
運営協議会の開催状況及び委員名簿	P 9 1
機能	P 9 3
沿革	P 9 4
施設の概要	P 9 6
組織と職員	P 9 7
丹波並木道中央公園	P 9 8
活動一覧	P 9 9
施設利用一覧	P 1 0 3
森の円卓会議の開催状況及び委員名簿	P 1 1 0
施設の概要・沿革	P 1 1 2
組織と職員	P 1 1 3
利用案内	
利用案内	P 1 1 5

森トピックス

1. ゴールデンウィークフェスタ2022 . . . P10

丹波年輪の里

2. かやぶき民家と棚田で「丹波の食を丸ごと楽しむ」 . . . P14

丹波並木道中央公園

3. 国蝶オオムラサキの舞う里山づくり . . . P20

丹波の森公苑

4. ささやまの森公園開園20周年記念式典 . . . P28

ささやまの森公園

5. 緑の中のコンサート . . . P31

丹波年輪の里

6. 丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば2022 . . . P36

丹波の森公苑

活動方針

兵庫丹波の森協会は、昭和 63 年（1988）に設立（平成 24 年（2012）公益財団法人へ移行）され、「丹波の森宣言」（昭和 63 年 9 月）に基づき、人材育成、ふるさと教育の推進、地域づくり活動の支援に取り組むとともに、県立 4 施設（丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園）の指定管理者として、丹波の森づくりの拠点施設の運営を担ってきた。

平成 30 年度には、「丹波の森宣言」から 30 周年を迎え、今後の 30 年を見据えた方向性「丹波の森づくりのこれから」を示し、その実現に向けた取組を始めた。

折しも、令和元年度末から新型コロナウイルス感染症パンデミックが世界中を席卷、これまでの日常生活のあり方は一変され、未だその終息が見えない。

このような混沌とした状況の中、丹波の森構想推進の原動力となりその礎を築かれた河合雅雄先生が令和 3 年 5 月亡くなられた。河合先生が取り組まれた丹波の森大学、縄文の森塾、ウィーン国際交流のシンボル事業でもあるオオムラサキの保護増殖等々、当協会の主要事業の展開は河合先生なくては考えられない。あらためて、丹波の森づくりに傾けられた河合先生の熱意とご功績に敬意を表するとともに、コロナ禍からの脱却に向けた考え方のヒントが、河合先生の教えの中にあるのではないかと考える。先生のご遺志を受け継ぎ、より豊かな丹波の森づくり、人づくりに努めなければならない。

丹波地域は、豊かな自然環境や森のスローライフなどの生活スタイルに欠くことができない地域特性を有し、新型コロナと共に生きることとなる今後の社会にとって、最も適応した地域とされ、田園回帰や二地域居住に広がり移住者の増加につながっている。

丹波の森づくり活動では、令和 3 年度は、シンポジウム（「丹波の森づくりの新展開に向けて」～次代のもりびとと共に～）を開催し、自治会や自治協議会等に向けた調査報告と方向性を示すことができた。

また、地域づくり計画等の策定では、丹波篠山市が未来に向けた集落の維持と活性化を目指す「ワクワク農村未来プラン」を、丹波市は氷上回廊が育んだ生きものなど生物多様性の保全を盛り込んだ「第 2 次環境基本計画」の見直しを、丹波県民局では 2050 年を展望した地域の将来像を描き、2030 年代初頭に向けた方向性を示す「丹波新地域ビジョン」を策定し、コロナ禍の現状を踏まえ、少子高齢化や地球温暖化が進む中での持続可能な地域づくりについて方向性が示された。

県政では、8 月に齋藤元彦兵庫県知事が就任、行財政運営方針の見直しとして公社等のあり方と併せた県立施設の指定管理者選定方法が課題とされ、原則公募方式による競争性の導入が明示された。丹波の森づくりの拠点である県立 4 施設の指定管理者として、当協会は地域と共に実績を積み上げてきたが、令和 6 年度以降 3 施設が対象となる指定管理者の選定では、公募による競争性導入の可能性も見込まれている。次期の選定に向けては、「丹波の森構想」推進における「兵庫丹波の森協会」の存在意義とともに 4 施設の連携や一体的な管理体制の効果を打ち出すことが必要である。

さらに令和 4 年度は、県の行財政改革に伴う受託事業の見直しや補助金の削減の他、基本財産を活用した果実運用収入の大幅な減少など、今までにない厳しい収支状況が見込まれる。

こうした中ではあるが、従来からの取組を着実に進め未来に繋ぐため、森の自然や文化と調和した地域生活情報の発信、生物多様性を重視した環境学習の推進（新規事業「縄文の森ユース躍動プロジェクト」）、里山の価値を見直し、丹波産材の活用を促す木育の推進など様々な分野の学習、交流、地域づくり事業等を、ウィズコロナ・ポストコロナ時代に向けた新しい生活様式の中で先導して推進し、地域を支援していく。

ウィーンの森親善訪問は、新型コロナウイルスの終息まで当面実施を見合わせるが、ウェブ会議システム等を活用した交流の検討やオオムラサキの飼育支援については、個体の提供が滞り飼育ができない現状の中、搬送方法等の調査検討に取り組む。

芸術文化においては、丹波地域の秋の風物詩となっている「丹波の森国際音楽祭シューベルティアード

たんば」を引き続き開催するとともに、丹波文化団体協議会等の活動を継続して支援することにより、地域の特色ある芸術文化活動を広く発信し、その活性化と発展を推進していく。

丹波の森研究所では、リモートワークや移住・二地域居住推進の研究を進め「小規模集落の活性化に向けた地域づくり」及び「生物多様性保全に向けた丹波の森の環境づくり」の重要テーマについて、10年後、20年後、30年後の丹波のあるべき姿をわかりやすく示すことが必要である。大学や地域、行政機関と連携し研究・調査に取り組むとともに、様々な市民活動を支援するシンクタンクとしての役割を果たしていく。

一方、「丹波の森宣言」に基づく「丹波の森構想」については、30年が経過する中で、特に若い世代の認識が低下しているとの県のアンケート結果が出された。このことを深く反省し、あらためて小学生から高校生までを含め、次代を担う若い世代を対象に地域学習や広報を通じて浸透を図ることが大きな課題である。

なお、当協会が指定管理を担っている県立4施設は、丹波の森宣言の実践施設として欠くことのできない機能を有している。次期の指定管理者選定に向けては、令和3年度に検討を進めた4施設連携事業を実践し、人的交流を含む施設間の連携強化を図り、里山文化の魅力発信、芸術文化の振興に向けた取組の充実を図る。

【公益財団法人兵庫丹波の森協会（公益目的事業）】

1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

- (1) 魅力ある地域づくりの推進
- (2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進
- (3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進

2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

【施設ごとの活動方針】

・「県立丹波の森公苑」では、自然と織りなす豊かなライフスタイルを創造するための拠点施設として、新型コロナウイルス感染予防に配慮した運営を行いながら、丹波らしさを活かした地域づくりを推進する。

1 丹波の森公苑の里山を活用し、里山林の整備や自然体験学習の場を提供することにより森づくりに参画する人材の育成を図るとともに、青少年の環境学習を推進し、人と自然が共生する丹波の森づくりを進める。また、シンボルの森として里山を楽しめる施設となるよう維持管理を行う。

2 豊かなライフスタイルを創造するための県民の主体的な活動を支援するため、丹波地域の団体・グループ等の活動情報を収集・発信するとともに施設利用団体への活動支援を行う。また、生涯学習の一環として高齢者に学習と交流の機会を提供し、永年培ってきた知識や経験をより磨き、地域づくりの実践者を養成する。また、著名な講師を招聘するなど各講座・研修等の内容の充実を図り、シニア世代の豊かな学びと社会参加を支援する。

3 音楽・演劇等の優れた芸術に触れる機会と創作活動の発表の場を提供するとともに個性豊かな地域文化を育てる。地域で芸術文化活動を展開している丹波文化団体協議会等の活動を支援するほか、丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばのコンサート等の開催により、地域の特色ある芸術文化活動を広く発信し、その活性化と発展を推進する。

また、丹波の森公苑ホールは、天井耐震化工事等計画的な改修工事を実施するとともに、丹波の森公苑の施設全般について老朽化の改修工事を推進する。

・「県立丹波年輪の里」では、地域の木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えると共に、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及振興に努める。

特別木工教室においては、初心者向けの教室から本格的な木工教室まで、幅広い実習内容を工夫すると共に、団体及び個人利用者向けには、木工キットメニューの見直しを随時行う。

林産指導事業においては、県農政環境部林務課及び県木材業協同組合連合会と連携し、木育キャラバン事業等の木育活動や、木材の普及を進めるため、木材研修会や情報収集広報活動等を行う。

・「県立ささやまの森公園」では、自然との共生を体験する施設として、里山保全や多彩な自然体験プログラムを展開し、世代や地域を越えた交流を通じて、豊かな丹波の里山づくりを推進する。

また、市内小中学校の校外学習の場として、各行事の趣旨を生かしたプログラムの開発にも努める。(森のようちえん、自然学校、トライやるウィーク等)

さらに、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社明石工場の森づくり活動の取組に協力する。この取組を通して、広葉樹を中心とした樹林の維持造成を推し進め、水源地として魅力ある里山づくりに努める。

・「県立丹波並木道中央公園」は、公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田、丹波の特産物などを活用して、来園者が憩いや安らぎを感じる事業やイベントを、地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組む。

また、令和3年度に、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムのコア施設として整備された「動く恐竜模型」「恐竜遊具」と、サイクルを生かした地域活性化の拠点として整備された「サイクルステーション」という新たな魅力が加わったことにより、多様な世代が楽しめる公園運営に努める。

事業報告

令和4年度に実施した（公財）兵庫丹波の森協会の主要な事業・取り組み

公1 森林文化（地域づくり）の創造

- (1) 魅力ある地域づくりの推進
- ・丹波の森大学の開設
 - ・ウィーンの森親善訪問事業
 - ・丹波の森研究所
 - ・地域づくり支援事業
 - ・花づくり活動支援事業
 - ・丹波の森フェスティバルの開催
 - ・丹波年輪の里事業 【県立丹波年輪の里】
 - ・丹波並木道中央公園事業 【県立丹波並木道中央公園】
- (2) 生物多様性を育む地域づくりの推進
- ・丹波地域生物多様性保全事業
 - ・丹波の森公苑里山事業
 - ・丹波の森公苑環境学習推進事業
 - ・ささやまの森公園事業 【県立ささやまの森公園】

公2 生活創造活動への支援

- (1) 地域・団体活動の支援
- ・生活創造活動支援事業（消費生活を含む）
 - ・生活創造活動施設貸し館業務
 - ・スポーツ大会・文化教室の開催 【県立丹波年輪の里】
- (2) 生涯学習の場の提供
- ・兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座（丹波OB大学）の開設
 - ・兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波OB大学大学院）の開設
 - ・講座「丹波学」の開設
 - ・丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催
- (3) 明日を担う丹波っ子の育成
- ・トライやる・ウィーク等の受入 【全施設】
 - ・丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催
 - ・丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りペクラブの活動支援

公3 芸術文化の振興

- (1) 舞台芸術鑑賞機会の提供
- ・丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催
 - ・丹波の森公苑ホール等自主事業
- (2) 芸術文化活動の振興
- ・アートクラフトフェスティバル in たんばの開催 【県立丹波年輪の里】
 - ・丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催 【県立丹波年輪の里】
 - ・丹波の森アートフェスティバルの開催
 - ・展示ギャラリーの開設
 - ・伝統文化活性化支援事業
 - ・丹波の森公苑芸術文化配信事業
 - ・座っ展—丹波で坐る木の椅子—の開催 【県立丹波年輪の里】

公共 丹波地域情報の発信等

- (1) 丹波地域情報の発信等
- ・年報の発行、ホームページ等による情報発信

他1 芸術文化団体等活動支援事業

- (1) 芸術文化団体等活動支援
- ・芸術文化団体等への活動支援 【全施設】

※【 】書きは実施している施設名を記載。記載がないものは県立丹波の森公苑で実施。

森林文化（地域づくり）の創造

丹波の森大学の開設

◇実施内容

学習の基本テーマを「森の恵み」とし、丹波の森の恵みを見直し、持続可能で魅力あふれる丹波の森づくりをめざすきっかけを学びました。現地学習では、淡路市にある、西日本最大級の温室「あわじグリーン館」をボランティアスタッフの案内で見学し、世界の様々な植物を間近で見ることができました。

開催期間：5月21日（土）～令和5年1月14日（土）
講義7回と現地学習1回
5月21日（土）に開講式
令和5年1月14日（土）に閉講式

場 所：丹波の森公苑、丹波篠山市民センター

受講者：62人（延べ491人）

（詳細はP44講座一覧表に掲載）



講義

◇成果（自己評価等）

今一度、丹波の森の恵みを見直すことで、人づくり、地域づくり、環境づくり、それを支えるもろびとづくりのための学習の場となりました。また、「丹波の森構想」の理念や丹波地域の地域づくり活動に関わることの重要性を、改めて確認することができました。

ウィーンの森親善訪問事業

◇実施内容

当協会とウィーン市13区ヒーツィングの友好親善提携が令和5年11月で30周年を迎えます。次の段階の、新たな取組として都市間（丹波篠山市・丹波市・ウィーン市13区）友好親善提携締結について、2市と連携をしながら実現を目指しています。

オオムラサキの飼育支援については、今年は動物園の改修がありチョウが舞う大きなケージを設置することができませんでした。しかし、交尾したメスを数匹得ることができました。エアレーション飼育室で飼育中、アリ（蟻）に卵を食べられてしまい、エノキの葉を食べている4齢幼虫は6頭だけです。6頭のウィーン産羽ばたきの成功を激励したいと考えています。



ウィーン市13区コバルト区長、ラナー氏及び関係者（ウィーン市13区役所前にて）

◇成果（自己評価等）

コロナ禍で実質的な交流が難しい中、オンラインを活用したWEB会議などにおいて今後の交流の進め方を協議してきました。これから30周年を迎えるのを機に、両市も加わった友好都市等への自治体間交流へと発展拡大させ、芸術分野や教育分野など交流を一層深めていくことを検討していきます。

丹波の森研究所の活動

◇実施内容

地域づくり等に関する調査研究・支援等

丹波の森研究所は、「丹波の森構想」（人・自然・文化・産業の調和した地域づくり）を推進するために、地域づくり等に関する調査研究・提言・支援等を行っています。また、「丹波の森宣言30周年記念シンポジウム」で提案された新たな課題として「集落に住み続ける」、「生物多様性を育む」について継続した調査研究としています。

①集落再生に資する拠点のあり方研究

- ・丹波地域は既に、まちづくり活動のプレイヤーとして様々な活動に取り組む個人や団体がそれぞれのネットワークを形成しており、多様なネットワーク機能が展開されていることが分かりました。
- ・集落再生に資する拠点のあり方に対する提案としては、移住・二地域居住を生み出すネットワーク形成や仕事づくりを展開するためのハブ（ネットワーク中継拠点）としての拠点機能が求められており、今後の重要課題としてあげられます。（「丹波地域における移住および二地域居住等現状分析報告書」2022.03 参照）

② 移住および二地域居住促進施策の検討

- ・拠点を運営するキーマンへのヒアリングから、拠点のあり方についての今後の課題が明らかになりました。1つは、運営面の課題であり、単一の拠点では、対処できない機能を補完する体制が必要です。
- ・機能を補完し合う体制としては、丹波地域全体で「どこに」「どのような」機能を配することが適切であるかを示す戦略的なビジョンが必要です。そのため連絡会議などで拠点に関する戦略的ビジョンの検討・作成を行うことが望まれます。（「丹波の森づくりにおける情報ネットワークの構造化業務」2023.03 参照）

③ フォーラム「持続可能なコミュニティ」の開催

- ・開催趣旨：人口減少・高齢化が進むなか、地域社会の維持・発展に向け、新しい仕組みの構築が求められています。従来の地縁的つながりを超え、移住者、二地域居住者、関係人口等が加わった域内外の新しいつながりのもとで地域を運営していく発想が重要であり、本フォーラムでは、丹波の森研究所の研究成果をもとに丹波地域の移住者・二地域居住者等を核とするネットワークの実態から今後の地域運営のあり方、新たな仕組みを検討しました。



フォーラム開催

④丹波の森づくり小委員会

- ・「丹波の森づくり」に関する県民局、両市、兵庫丹波の森協会および丹波の森研究所の現況、今後の取り組むべき方向性についてワークショップ形式で意見交換を行いました。

⑤地域づくり支援事業（アドバイザー派遣事業）

- ・活力と魅力ある丹波の森づくり推進に向けて、地域のみちづくり活動団体のほか、行政や大学等と連携しながら地域づくり活動を支援しています。

ア）丹波篠山市河原町地区

- ・道路上空に電線がなくなったことから110年ぶりに鉾を付けた鉾山巡行を実施するため実行委員会が設置され、そのコーディネートを支援しました。

イ）丹波市三寶寺総代会

- ・サクラの老木化による植栽更新および花の咲く散策路の整備に対する助言を行いました。

ウ）丹波市柏原町「かいばら難めぐり実行委員会」

- ・藩邸で展示に向けて、どう魅力づけを行うか助言を行いました。

エ）福住地区まちづくり協議会

- ・「戦略的移住推進モデル事業」計画に基づき、その展開方策について他地区での事例等を紹介しながらアドバイスをを行いました。

⑥縄文の森ユース躍動プロジェクト

- ・「縄文の森塾」のアドバンスコースとして、次代を担う高校生や大学生などを対象とした新規プロジェクトを推進しました。
- ・テーマ：縄文里山づくりや縄文文化から生物多様性の保全を考える
- ・【植物編】氷上高校に隣接する里山の再生と活用方法を学ぶ（高校の課題研究との共同カリキュラム）
- ・【動物編】野生生物と人との共生方法を学ぶ
野生生物フィールドワーク（8/2～5：4日間）
場所：ユニットピアささやま

受託事業

①丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援（委託者：丹波の里山づくり促進事業実行委員会）

- ・丹波の里山づくり支援として、丹波地域の里山づくり活動団体支援事業を行い、10地区のモデル地区にアドバイザーを派遣しました。

②戦略的移住推進モデル事業における調査研究支援（委託者：福住地区まちづくり協議会）

- ・本事業は、兵庫県の地域再生大作戦のひとつです。移住推進の仕組みづくりのため、移住コーディネーターが展開しようとしている事業について、まちづくり協議会や自治会の役員とディスカッションしながら支援しています。

季節を彩るミニガーデンイベント開催事業

◇実施内容

美しい地域づくりの実現に向けて、丹波の森公苑などの主要スポットに地域住民の手により制作したミニガーデンを展示しました。

開催期間：10月1日（土）～30日（日）

開催場所：丹波の森公苑、丹波並木道中央公園
丹波年輪の里（3施設、6枠）

参加グループ：丹波の森花くらぶ、丹波市商工会女性部
有志、南中ふれあい・いきいきサロン、
篠山産業高校、篠山東雲高校、氷上高校



◇成果（自己評価等）

丹波の森ミニガーデンづくりは毎年度好評を得ており、今年度は3施設で展示をしました。ミニガーデンの開催も今年度で5回目となり、幅広い世代に周知され、また遠方からの見学者もあり、認知度の高まりを感じました。様々な課題やアイデア等を検討しながらでの開催となりましたが、地域住民や各世代の交流の場となったことは意義がありました。



たんばオープンガーデン交流促進事業

◇実施内容

個人の庭を広く一般に公開する社会活動として「オープンガーデン」が開催されました。当協会としても趣旨に賛同し、丹波の森公苑に庭を作りオープンガーデンに参加しました。

開催日：4月24日（日）、5月22日（日）

場 所：丹波の森公苑

主催者：丹波の森花くらぶ



◇成果（自己評価等）

丹波篠山市及び丹波市管内で39ヶ所の個人宅等のお庭が参加され、それぞれのお庭で人と花がつながり、そこから交流が始まっていました。丹波の森公苑のガーデンにも色とりどりの季節の花を植え、訪れる方は足をとめて見ておられました。オープンガーデンは長年継続されてきた地域の取り組みであり、当協会としてもこの趣旨に賛同し、協力していくことが重要です。



花づくり活動支援事業

◇実施内容

美しい丹波づくりを推進するため、花、緑、園芸に関する知識の習得並びに地域での普及活動のリーダーを育成する教室を開催しました。

(花と緑の教室)

開催日：5、7、9、11、12、3月の年6回

受講者：午前・午後の部 計55人

(花と緑の教室 自主活動グループ)

開催日：5、7、9、11、12、3月の年6回

受講者：5グループ・13人

(園芸教室)

開催日：5、8、9、10、12、3月の年6回

受講者：30人

(詳細はP44講座一覧表に掲載)



園芸教室

◇成果（自己評価等）

丹波地域の住民を中心に、花づくりを通じた交流が深まりました。また、平成30年度からは、過去の受講生をリーダーとし、花の魅力を伝える「花と緑の教室自主活動グループ制度」を創設したことにより、地域における普及活動に弾みがついています。

2022丹波の森フェスティバル

◇実施内容

丹波の森公苑では、真の豊かさの実現をめざす生活創造活動を通じて、丹波の森づくりが幅広く展開されるよう住民主体の活動と交流を図る様々な事業を進めており、活動成果の発表や交流の場として、2022丹波の森フェスティバルを開催しました。

開催日：10月30日（日）

内容：里山ハイキング、ツリーイング、森の動物園ワークショップ、フリーマーケット、森のステージ、飲食ブース等

来場者：約4,800人

◇成果（自己評価等）

「お花と緑がお出迎え！丹波の森を楽しもう♪」をテーマに里山体験や活動団体のワークショップを中心に開催。

秋の好天のもと、3年ぶりに再開した飲食コーナーも好評で、約4,800人の来苑者がありました。

また、兵庫県庁SDGsWEEKの事業として、子どもから大人までゆっくりと森の豊かさを実感していただくことができました。



中庭芝生広場



里山ハイキング

丹波年輪の里事業【丹波年輪の里】

ゴールデンウィークフェスタ2022

◇実施内容

・アトリエ作品展

開催日：4月29日（金・祝）～5月5日（木・祝）

会場：丹波年輪の里 アトリエB（北棟）

出展者：木工クラブ他サークル、友の会、
工作指導員 合計18人

点数：127点

入場者：223人

・水彩画展

開催日：4月29日（金・祝）～5月5日（木・祝）

会場：丹波年輪の里 木の館研修室A

出展者：絵画サークル

入場者：336人

・小鳥のバードカービング展・プチ体験

開催日：4月29日（金・祝）～5月1日（日）

会場：丹波年輪の里 アトリエA（南棟）

出展者：年輪の里バードカービングクラブ

入場者：138人（内体験者数27人）

・積み木で遊ぼう

開催日：4月30日（土）

会場：丹波年輪の里 木の館 2階展示場

・親子でつくる工作教室

開催日：4月30日（土）

会場：丹波年輪の里 木の館 2階展示場

・フリーマーケット、ツリーイング教室

（竹とんぼ教室は荒天のため中止）

◇成果（自己評価等）

ゴールデンウィーク中、アトリエの有効活用を図るため、教室参加者の作品の展示や発表の場を提供しました。期間中は荒天により中止を余儀なくされた日もありましたが、約7,000人の来場者があり盛況でした。



アトリエ作品展



小鳥のバードカービングプチ体験



親子でつくる工作教室

第8回ウッドワーカーズクラフト【丹波年輪の里】

◇実施内容

木工に特化したクラフトイベントで、34人の木工作家の展示販売会とこだわりの食ブースが緑いっぱいの芝生広場で開催されました。

開催日時：4月29日（金・祝）、30日（土）
会 場：丹波年輪の里芝生広場



展示販売会

◇成果（自己評価等）

丹波地域では、木工作家として自立・独立した作家たちが育っています。

年輪の里では、こうした作家を応援するとともに、「木工の里丹波」を広く周知するため、作品展示と販売を実施しました。「逸品オークション」という人気企画を実施し、来場者も増加傾向にあります。



木工体験

第6回たんば絵てがみコンクール【丹波年輪の里】

◇実施内容

家族や友人、親しい人の顔を思い浮かべながら、暮らしのひとコマ、風景、身近にあるものを描いた「絵てがみ」を募集し展示しました。

テーマ：「想い」

募集期間：9月1日（木）～12月28日（水）

募集者：398人

募集総数：487点

展示期間：令和5年2月4日（土）～19日（日）

場所：丹波年輪の里 木の館

入場者：933人（休館日除く14日間）

巡回展：兵庫中央労働センター

令和5年3月1日（水）～22日（水）

令和5年度に、丹波の森公園、ゆめタウン、丹波おばあちゃんの里でも開催予定



一般の部金賞作品

「思い出にひたる」

中村 順平（東京都）



高校生以下の部金賞作品

「春日の名スポット」

細見 優華（兵庫県立柏原高等学校2年）

◇成果（自己評価等）

北海道から鹿児島まで32都道府県の老若男女を問わず多数の応募がありました。審査委員の皆さんからは年々レベルが上がっており、素晴らしい作品が多いと評価をいただいています。さらに充実したコンクールとするため、応募しやすいテーマを設定するとともに、PRに努めていきます。

児童・幼児対象のワークショップなど木育活動の促進【丹波年輪の里】

◇実施内容

○開催日：5月26日（木）
場 所：宍粟市 山崎城下幼稚園
テーマ：「写真立て製作」
参加者：園児7人

○開催日：7月23日（土）
場 所：伊丹空港
テーマ：「リアルシュロホン」
参加者：児童他 21人

○開催日：9月16日（金）
場 所：宍粟市 城東保育所
テーマ：「キーフック製作」
参加者：園児 11人

○開催日：10月7日（金）
場 所：猪名川町 六瀬幼稚園
テーマ：「写真立て製作」
参加者：園児 10人

○開催日：10月16日（日）
場 所：神戸市 POLTO
テーマ：「キーホルダー製作」
参加者：園児 59人

○開催日：10月20日（木）
場 所：猪名川町 松尾台幼稚園
テーマ：「写真立て製作」
参加者：園児14人

○開催日：10月26日（水）
場 所：宍粟市 一の宮ひかり保育園
テーマ：「キーフック製作」
参加者：園児 14人

◇木育玩具貸出・木の話

丹波市 認定こども園8箇所
丹波篠山市 認定こども園1箇所
猪名川町 幼稚園3箇所
芦屋市 幼稚園5箇所
神戸市 保育園他4箇所
尼崎市 幼稚園他10箇所

◇成果（自己評価等）

ひょうご森づくりサポートセンター事業を中心として、木製玩具の貸出しや木製玩具のワークショップを宍粟市や猪名川町等で行いました。特に新たに尼崎市等エリアを広げ、「木育」の普及促進に努めました。

木の香り、手触りを製作の中で感じ取るとともに、道具を扱う際の緊張感や集中することの大切さも、子どもたちの取り組む姿から感じ取ることができました。



木育活動の様子

○開催日：10月29日（土）
場 所：丹波年輪の里
テーマ：「キーホルダー製作」
参加者：丹波市 北小学校
1年生 24人 保護者24人

○開催日：令和5年1月13日（金）
場 所：神戸市教育会館
テーマ：木・森を活かす行政能力向上セミナー
「木育」
参加者：県内行政関係者29人
(オンライン含む)

○開催日：1月31日（火）
場 所：丹波年輪の里
テーマ：「木材利用教育」
参加者：県立森林大学校2回生 7人

○開催日：2月21日（火）
場 所：宍粟市 河東幼稚園
テーマ：「キーホルダー・メッセージボード製作」
参加者：園児11人

○開催日：3月9日（木）
場 所：宍粟市 かしわの保育所
テーマ：「リアルシュロホン」
参加者：園児 6人

丹波並木道中央公園の企画運営【丹波並木道中央公園】

①かやぶき民家と棚田で「丹波の食を丸ごと楽しむ」

◇実施内容

公園や公園周辺には、赤米、丹波篠山茶、大山スイカ、丹波ブランドの黒豆などの食資源が多く存在します。その味覚を公園で味わい、たまには作る場所から楽しめる地産地消型の公園×食プログラムを展開しました。

○棚田での赤米づくり体験

(田植え体験)

5月21日(土) 一般 参加者11人

5月26日(木) 認定こども園2園(神戸市) 参加者:47人

5月30日(火) 小学校(丹波篠山市) 参加者:28人

(かかし立て&草引き体験)

9月7日(水) 認定こども園2園(神戸市) 参加者:56人

(稲刈り体験)

10月20日(木) 認定こども園2園(神戸市) 参加者:47人

10月27日(木) 小学校(丹波篠山市) 参加者:28人



赤米の稲かり体験

○黒枝豆収穫体験

10月16日(日) 参加者:23人

○丹波篠山茶プロジェクト

5月22日(日) 茶摘み体験とお茶づくり体験 参加者:4人

6月5日(土) 新茶の淹れ方と飲み比べ 参加者:20人

7月31日(日) 和紅茶づくり 参加者:8人

令和5年2月5日(日) 寒茶づくり体験 参加者:8人

◇成果(自己評価等)

公園内の棚田で行う赤米の栽培は、地域の協力を得て、古代米である赤米を育てています。田植えから稲刈りを体験していただいています。毎年、市外のこども園の幼児や都市部からの親子参加があります。棚田では丹波篠山市の名産である黒豆も育てており、収穫体験は人気です。

また、丹波篠山茶プロジェクトは、日本茶インストラクターとともに四季折々のお茶を楽しむプログラムを企画・実施しました。リピーターの方も多く好評です。

② こころと身体のヘルシーパーク

◇実施内容

多様な世代に、身体だけでなくこころの健康づくりもできる「場」と「機会」を提供しました。丹波地域で活躍をしている専門家を講師に迎え、講座を実施しました。

○ノルディックウォーキング

合計12回実施 合計78人が参加しました。

○心とからだの癒し講座

4月19日(火) 芝人形作り(園芸療法) 参加者:12人

5月17日(火) アロマストーンづくり

(アロマセラピー) 参加者:10人

6月21日(火) 玉ねぎの量感図(臨床美術) 参加者:8人

9月20日(火) 木の実とドライフラワーのミニポット

アレンジ(園芸療法) 参加者:8人

11月15日(火) みつろうで作るハンドクリームとリップ

クリーム(アロマセラピー)

参加者:8人

12月20日(火) お皿を使ったクリスマスプレート

(臨床美術) 参加者:7人



心とからだの癒し講座

◇成果(自己評価等)

ノルディックウォーキングは、リピーターでの参加者が多く、手入れの行き届いた公園を歩くのは気持ちいいなどと好評をいただいています。特に林道を通るコースは森林浴ができると好評です。毎月1回の実施で、園内の花や樹木の四季の移り変わりを楽しみながら、気軽に健康づくりができる機会を提供しています。

また心とからだの癒し講座では園芸療法・臨床美術・アロマセラピーを得意とする地元のグループが講師となり、講座を開催しました。

③ ゼロエミッションを目指して！植物性廃棄物リサイクル推進事業

◇実施内容

園内の植物廃材を、チップ化・堆肥化や木エプログラムに活用するなど、環境保全につながる取組を推進しました。

○大人の木工教室

合計24回(うち4回は参加者なしのため中止)

参加者:合計49人(1回の定員は4人~5人)

○なみきみちクラフト

実施日:6月11日(土)、7月9日(土)、8月13日(土)、

9月10日(土)、令和5年2月11日(土・祝)

参加者:合計20人



なみきみちクラフト

◇成果(自己評価等)

大人の木工教室やなみきみちクラフトなど、年間を通じて定期的に開催し、多くの方が参加しました。

④ 花と緑を活かしたイベントの実施

◇実施内容

季節ごとにテーマを設定し、実習形式で行う寄せ植え教室などを実施しました。

- ・ 第1回 夏の草花の寄せ植えと管理法
5月20日（金）参加者：24人
- ・ 第2回 夏の花木を使った寄せ植えと管理法
6月17日（金）参加者：27人
- ・ 第3回 秋のこけ玉づくりと管理法
9月16日（金）参加者：17人
- ・ 第4回 秋の草花の寄せ植えと管理法
10月21日（金）参加者：29人
- ・ 第5回 ポインセチアを使った寄せ植えと管理法
11月25日（金）参加者：25人
- ・ 第6回 正月を飾る寄せ植えと管理法
12月16日（金）参加者：30人
- ・ 第7回 早春の草花の寄せ植えと管理法
令和5年2月17日（金）参加者：21人
- ・ 第8回 春の草花の寄せ植えと管理法
3月17日（金）参加者：29人



◇成果（自己評価等）

花と緑の教室はフラワーセンターとの連携で実施している実習形式の講座で、寄せ植えのポイントをはじめ、植物の豆知識なども合わせて学ぶことができます。毎回参加される生徒さんが非常に多く、講師からは持ち帰った後の花の管理方法なども指導され、リピーターも多い講座です。

⑤ たんばハブ・パーク（他施設や行政との連携によるイベントの実施）

◇実施内容

共同事業体が管理運営する他公園や施設、行政などと積極的に連携し、この公園だから実施可能なイベントを協力・連携実施しました。

- 化石発掘体験会（丹波篠山市教育委員会）
5月14日（土）、7月23日（土）、8月6日（土）
令和5年3月19日（日）参加者：合計62人
- 丹波の森ミニガーデン（兵庫丹波の森協会）
10月1日（土）～30日（日）
- モバイルスタンプラリー（丹波地域恐竜化石ワールドミュージアム推進協議会）
令和5年3月1日（水）～26日（日）
公園での景品交換者：25人



化石発掘体験会

◇成果（自己評価等）

行政や様々な団体と連携をし、イベントやプログラムを実施することができました。

⑥ 公園広報誌「PARK LIFE」での情報発信

◇実施内容

3か月に1回、広報誌「PARK LIFE」を作成しました。
丹波地域の全小学生と県立の都市公園、丹波地域の公共施設等へ配布を行いました。

Vol. 60 夏：田植え（認定こども園）

Vol. 61 秋：開園15周年

Vol. 62 冬：楽しく美香草

Vol. 63 春：ネットヨタ神戸

発行回数：4回

発行部数：1万4,000部



PARK LIFE 表紙

◇成果（自己評価等）

公園の広報誌 PARK LIFE を4回発行しました。広報誌には公園の季節の話題や新たな取組について、書いており、読んだ方からは高評価をいただいています。

丹波地域生物多様性保全事業

めざせ！昆虫リーダー ～丹波の昆虫リーダーはキミたちだ！～

◇実施内容

昆虫を中心とした調査スタッフの育成

- ・里山の植物・昆虫・野生動物を調査することにより、生物多様性の方向性を探ることを目的に、その調査スタッフを養成するため、兵庫県立人と自然の博物館の協力のもとにプログラムを開始しました。

開催日：7月16日（土）、8月13日（土）、
10月1日（土）

参加者：子ども20人、保護者20人（丹波篠山市及び丹波市の小学校4年生～6年生の児童とその保護者）

内 容：昆虫採集、虫ずかんを作る、昆虫を分類する

◇成果（自己評価等）

今回は、昆虫リーダーを育成する目的で募集したところ定員をはるかに上回る、子ども33人、保護者35人の計68人から応募がありました。アンケートでは、「虫の名前が分かるようになって、学校でもみんなに虫の名前を教えてあげられるようになって嬉しかった」とか、保護者からは「昆虫を捕まえられたことが嬉しかったようで、何度も名前を見て覚えていた。名前が分かると、ますます昆虫が好きになった様子」との感想をいただきました。親子で様々な生きた昆虫に触れる機会や時間を提供することにより、環境や生物に対する興味関心の向上にも寄与することができました。

今後も、自然と生きものが共生しているシステム＝生物の多様性を身近に感じて知る「虫博士」たちの力を借りて、丹波の森公苑の昆虫の生態が具体的に分かるものを作っていきたいと思います。



昆虫採集



昆虫採集



標本作り

里山ボランティア（森づくりスタッフ）養成事業

◇実施内容

里山の魅力や大切さをともに考え、身近な里山づくりを促進していくため、里山整備・管理活動などの森を守り育てる人材養成に取り組みました。

- ・森づくり活動アドバイザー2人設置
- ・里山倶楽部等の協力による里山林の保全整備
- ・森づくり講座の開催
（詳細はP45講座一覧表に掲載）
- ・丹波自然友の会の協力による散策道（尾根コース）への樹種銘板（41種、92枚）の設置

◇成果（自己評価等）

これまで里山の整備・管理に関するノウハウを伝授した森づくり講座受講者等が、丹波の森公苑の里山を拠点としたボランティア活動へ参加するなど、森づくりに参画する人材の育成につながっています。

また、樹種銘板の設置は、地域の団体との協働により取り組むことができ、丹波の森づくりの輪を広めることができました。



森づくり講座



樹種銘板設置

国蝶オオムラサキの舞う里山づくり

◇実施内容

生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりを進めるため、里山のシンボルである国蝶オオムラサキを飼育展示するとともに、小学校等を中心とした地域での飼育指導等、関係機関と連携し実施しました。

啓発事業である「放蝶会」は、7月3日（日）に実施し、79人の参加がありました。

また、地域内外の小学生を対象に「オオムラサキイメージ画コンテスト」を開催しました。

- ・ 小学校等への飼育指導
17小学校、2高校、10施設
- ・ イメージ画コンテスト
対 象：小学生
応募点数：215点

◇成果（自己評価等）

小学校等での飼育指導や出前講座等を通じ、良好な里山環境を次世代が学ぶ機会を提供することができました。

なお、イメージ画コンテストには過去最多の応募があり、オオムラサキの舞う里山環境に多くの子どもたちが関心を持ってもらえました。加えて、北播磨や阪神間だけでなく県外（福岡県など）からの応募があったことから、取り組みが広がっているといえます。

また、事業推進に当たり、兵庫丹波オオムラサキの会の全面的な協力を得る等、効果的な運営ができました。



国蝶オオムラサキ放蝶会



イメージ画コンテスト展覧会

丹波の森公苑環境学習推進事業

◇実施内容

丹波の森公苑の豊かな自然環境を生かして、子どもや地域住民の環境学習・自然体験活動を促進するとともに、次代の活動支援ボランティアを育成しました。

- ・ 丹波縄文の森塾の開設
年間 12回
塾生 30人（小学3～6年生）
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2泊3日の縄文キャンプは2日間の日帰りに変更
（詳細はP45講座一覧表に掲載）
- ・ 家族向け環境学習プログラム
オオムラサキ観察
- ・ 環境体験学習支援プログラム
里山の秋の実り体験
- ・ 自然体験活動リーダーの育成
- ・ 丹波いきもの大集合
オオムラサキやカブトムシ、ホトケドジョウなど
丹波地域に生息する生き物を展示
- ・ オオムラサキ越冬幼虫探し
- ・ 里山ふれあいハイキング（雨天中止）
- ・ 環境学習支援として、丹波の森公苑に生息する生きものに関する解説板を設置



縄文土器づくり（丹波縄文の森塾）



里山の秋の実り体験



生きものに関する解説板

◇成果（自己評価等）

縄文の森塾は、四季を通じた自然とのふれあいの中で、学校とは違ったプログラムを体験することで、たくましく成長し、学校を越えた友達との交流の場ともなりました。

また、里山の秋の実り体験やオオムラサキ観察の実施、苑内の生きものに関する解説板の設置により、丹波地域の子供たちに自然を肌で感じる機会を提供することができました。

ささやまの森公園事業【ささやまの森公園】

1 体験プログラムの展開

(1) 基本プログラム

① 里山体験班のプログラム

◇実施内容

草木で染めよう、多肉植物の寄せ植え、布ぞうりを作ろう、みつろうラップを作ろう、マイ箸を作ろう、ダッチオーブン料理をしよう、しめ縄を作ろう、布スリッパを作ろうなど、里山文化に係る体験プログラムを実施しました。

実施回数：32回

参加者：延べ232人



草木で染めよう～クルミ～

◇成果（自己評価等）

伝統技術を体験することによって、伝統を守る苦労や里山のすばらしさを広めることができました。

② 里山伝承班のプログラム

◇実施内容

ちまきを作ろう、里山伝承(黒枝豆を栽培しよう)、そば道場シリーズ、黒豆豆腐を作ろう、こんにやくを作ろう、黒豆のお味噌を作ろうなど、里山の恵みを活かし伝承する料理や特産物の栽培・活用に係るプログラムを実施しました。

実施回数：16回

参加者：延べ158人



黒豆苗の定植

◇成果（自己評価等）

丹波篠山に伝わる食文化や伝統作物の栽培を実際に体験することで、里山に生まれ守られてきた生活様式のすばらしさを味わってもらうことができました。

③ 自然学習班のプログラム

◇実施内容

バードウォッチング、モリアオガエルとホタルを観よう、森にすむカエルを見つけよう、3種類のホタルを観よう、セミのぬけがらを探そう、水辺の生きものを探そう、秋の花と実を楽しもう、冬の生きもの探し、早春の生きもの探しなど園内の動植物を中心に生態・植生等の観察に係るプログラムを実施しました。

実施回数：9回

参加者：延べ117人

◇成果（自己評価等）

豊かな公園の植物・昆虫・水生生物などの観察をとおして、森の生態系を学ぶことにより里山の自然環境への関心を高めることができました。



バードウォッチング

④ レクリエーション班のプログラム

◇実施内容

陶芸を楽しもう、木登り体験～ツリーイング～、ささやまの森探検隊、アマゴのつかみ取りをしよう、親子で楽しむ工作～モバイルづくり～、チーズとピザづくり、コケ玉作り、とんど祭&もちつき大会、竹でスピーカーを作ろうなど、里山での楽しい遊びや活動に係るプログラムを実施しました。

実施回数：12回

参加者：延べ112人

※全13回の内、雨天のため1回中止

◇成果（自己評価等）

自然を生かした森遊びなどをとおして、里山の自然や豊かさを学ぶことができました。



アマゴのつかみ取りをしよう

⑤ 里山復元班のプログラム

◇実施内容

稲作体験（全5回）、丸太のベンチ作り、森の時計作り、ミスツールを作ろう、親子で薪割り体験、シイタケづくり、ミニ門松作り、チェーンソー安全教室、モルックの用具を作ろうなどを実施しました。

実施回数：14回

参加者：延べ201人

◇成果（自己評価等）

里山の整備で発生する間伐材などの資源利活用や道具の使い方などプログラムをとおして、理解を深めました。



親子で薪割り体験

(2) 特別プログラム

◇実施内容

里山の日特別企画「バードウォッチング」「春の野草観察」夏の特別企画「木エクラフト」「ウッドバーニング」秋の特別企画「みつろうラップ・テラリウム作り」を実施しました。

実施回数：15回

参加者：延べ175人

※全16回の内、雨天のため1回中止

◇成果（自己評価等）

身近で手ごろな材料を使って、作ることの楽しさや加工・表現方法を体感していただくことで、自然の豊かさや大切さを実感していただきました。



秋の特別企画 テラリウム作り

(3) 森の学校（第15期生）の開校

◇実施内容

今年度も、豊かな自然の中でさまざまな体験活動を通して、たくましく生きる力を育むことを目的に、小学3年生～6年生の16人が普段の生活とは違う里山での自然体験活動を経験しました。

開催回数：11回

参加者：16人

◇成果（自己評価等）

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に配慮しながら、ボランティアスタッフの指導のもと、体験学習をとおして、たくましく生きる力を育むことができました。



リース作り

(4) 団体プログラム

① 体験プログラムの提供

◇実施内容

幼稚園から高等学校までの学校組織や団体の活動の場として公園を提供しました。

実施回数：22回

参加者：454人

（森の学校、里山文化授業、トライやる・ウィークの受け入れを除く）

◇成果（自己評価等）

自然観察や各行事の趣旨を生かしたプログラムを支援することで、里山公園のすばらしさ、大切さを広めました。



岡野幼稚園草木染め体験

② 兵庫県立篠山東雲高等学校「里山文化」の支援

◇実施内容

「里山と人々の生活から生まれた多くの文化を学び、自然や資源、生きていく環境、農業との関わりについて考える」選択授業「里山文化」に連携協力できました。

実施回数：17回

受講生：6人

◇成果（自己評価等）

里山での衣食住の文化を体験プログラム（自然観察、間伐体験、こんにやく作り、シカ肉料理ウッドクラフト、しめ縄作りなどの体験）をボランティアスタッフの指導を受けて体験し、これからの里山活用について、考えを深めました。



しめ縄作り

(5) その他の活動

① トライやる・ウィークの受け入れ

◇実施内容

ささやまの森公園では、「職場体験を通して地域について学び、生きる力を育む」ことを目的に丹波篠山地域の中学2年生による「トライやる・ウィーク」を受け入れています。

今年度は6月7日から5日間、篠山東中学校から7名が来園し、散策路の点検、駐車禁止看板作り、缶バッジ作りなどの体験をしました。

◇成果（自己評価等）

職場体験を通して地域のことを学び、生きる力を育むきっかけづくりを支援しました。



駐車禁止看板作り

2 園外活動等への参画

① 外部のイベント等に参画

◇実施内容

活動スタッフの協力により外部のイベント等に参画し、ささやまの森公園の活動をPRしました。

○ポスターセッション

開催日：9月3日（土）

場 所：丹波の森公苑

内 容：丹波地域環境パートナーシップ会議総会等におけるポスターセッション（パネル展示等）



外部イベントに参画

○丹波の森フェスティバル

開催日：10月30日（日）

場 所：丹波の森公苑

内 容：コケテラリウム作り

◇成果（自己評価等）

プログラムを通じ地域との連携や交流を図ることができました。



3 里山保全創造事業の推進

①「水源の森たんばささやま」森開き式

◇実施内容

兵庫県、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社、兵庫丹波の森協会の三者で結ばれた森林管理協定に基づき、本公園の森林を「水源の森たんばささやま」として、整備計画に基づいた人工林の間伐が行われています。

2019年に森開き等の行事が計画されていましたが、台風と新型コロナウイルス感染症の影響で3年越しでの開催となりました。式典の後、コカ・コーラボトラーズジャパン明石工場の従業員ボランティアやその家族による希少野生植物の保護活動も行われました。



森開き式の参加者



保護活動の事前説明

4 その他の事業

(1) 利用促進事業

◇実施内容

「プログラムのご案内」を3ヶ月毎に年4回、丹波篠山市内の各戸や県内外の関係機関へ配布しプログラムへの参加者を募集しました。活動スタッフ向けに「八幡谷通信」を年4回発行、公園の1年間の活動のまとめとして「ささやまの森公園だより」を年度末に丹波篠山市内の各戸や関係機関へ配布しました。

プログラムのご案内：23,000枚×4回

八幡谷通信：120部

公園だより：18,000部



情報発信のツール

◇成果（自己評価等）

公園だよりなどを発行することにより、地域の方々へ当公園の事業について理解と関心を深めていただくことができました。また、ホームページで公園の情報をタイムリーに発信することができました。



ささやまの森公園ホームページ

5 その他

① ささやまの森公園開園20周年記念式典

◇実施内容

ささやまの森公園は、平成14年に県下の「ふるさとの森公園」の2番目として、県民の参画と協働による里山の保全と創造を進め、交流やふれあいの場を提供するとともに、人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進することを目標に開園しました。

里山の保全と創造というコンセプトのもと、特に来園者が受講するプログラムは里山文化に関する内容を展開し、先人がこの里山で育んできた文化を学べるプログラムとして好評を得ています。

11月6日、来賓をはじめ関係者の出席を得て開園20周年記念式典を開催しました。式典ではボランティアスタッフ制作による故河合雅雄先生の木像除幕式、「森の学校」を受講している子どもたちのカルタ発表、里山文化授業を受講している兵庫県立篠山東雲高校生が取組の成果発表、吹奏楽団ブリマベラと同高吹奏学部による合同の祝賀演奏がありました。式典後には懐かしい活動写真を見ながらのスタッフ交流会も行いました。

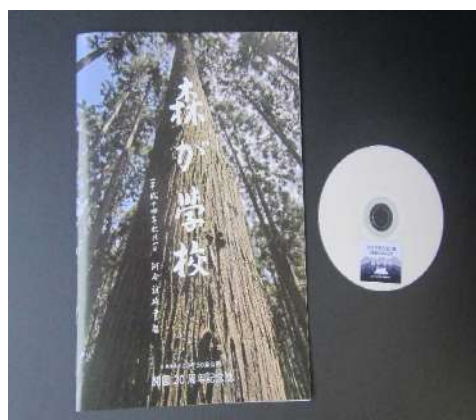
今後も、さらに多くの皆様にご来園いただきたいと願っています。

関連事業

- ・開園20周年記念誌「森が学校」発行
- ・故河合雅雄先生をモチーフにしたチェーンソーアートの木像制作（活動スタッフ）
- ・癒しの灯り・竹灯籠の制作（活動スタッフ）
- ・癒しの広場設置（活動スタッフ）



記念式典



記念誌「森が学校」発行



チェーンソーアートによる木像・癒しの灯り制作



癒しの広場

生活創造活動への支援

生活創造活動支援事業（消費生活を含む）

◇実施内容

丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集発信し、団体・グループ活動を支援しました。
また、消費者被害防止のための普及啓発を実施しました。

○生活創造グループ登録と活動支援

- ・登録グループ数：228団体
- ・グループ活動コーナーの利用：66件 371人
- ・生活創造活動グループサポート事業：19件

○消費生活の普及啓発

- ・消費生活出前講座の実施：10回
- ・消費生活にゆーすの発行：4回

○情報発信のための印刷機械の利用件数：248件

◇成果（自己評価等）

生活創造活動グループサポート事業は、間伐材を使ったベンチづくりや丹波の森公苑の窯を使ったピザづくりなどの多彩なイベントが開催されました。幅広い年齢層の参加者が体験し、グループの活動をPRすることができました。

消費生活に関しては普及啓発を通じ、時代に即した消費生活のあり方を幅広い年代層へ周知しました。



自治会への出前講座
（ひかみ成松交流館）



生活創造活動グループサポート事業
「つるし雛飾りづくり」

丹波年輪の里事業【丹波年輪の里】

① 特別工作教室

◇実施内容

糸鋸教室やスプーンなどを始めとする木工の基本工作を体験できる手軽な内容を多く企画しました。専門性の高い内容では、前年に引き続き体験することのできない手道具に関する多くの内容を盛り込んだ教室を開催しました。

【開催した各種教室】

・手仕事道具塾	月2回	252人
・Teshigoto work shop	月2回	123人
・木工基礎 講座 第23期		64人
第24期		32人
・木工講座（中級）第11期		64人
・木工クラブ	24回	142人
・杓文字・スプーン作り	8回	62人
・ウッドライフ教室 （セロテープカッター・ミニ）	1回	7人
・ウッドライフ教室（オーバルボックス）	6回	48人
・ウッドライフ教室（オーバルキャリアー）	3回	9人
・ウッドライフ教室 （オーバルスイングハンドルBOX）	3回	30人
・ウッドライフ教室（プサルテリー）	4回	20人
・焼きペン教室	2回	183人
・私が作る（スプーン教室）	2回	20人
・私が作る（ペーパーナイフ）	2回	9人
・私が作る（コイス）	3回	24人
・私が作る（ドールハウス）	3回	15人
・「youR」シリーズ（ティッシュケース）	5回	44人
・「youR」シリーズ（マルチケース）	4回	28人
・夏休み親子工作教室 （万華鏡, ハンペルマンをつくろう）	2回	38人
・GW親子教室	1回	26人
・糸のこ教室	3回	14人
・クリスマスリース教室	1回	18人



木工基礎講座（年2回）



スプーンづくり

◇成果（自己評価等）

初心者から本格的に木工に取り組む方まで、バラエティーに富んだメニューを揃えており、利用者から好評を得ています。

本苑の使命である「木のぬくもりや優しさ」を伝え、「木工の楽しさ」を広めていくために、親しみ易く、利用者のニーズにあったメニューの設定に努めていきます。

スポーツ大会・文化教室の開催【丹波年輪の里】

① 丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会

◇実施内容

平日利用のグラウンドゴルフ愛好者を対象に、相互の交流と利用を促進、健康づくりのため年4回開催しました。

開催状況：6月7日（火）173人／募集定員192人
9月6日（火）141人／募集定員192人
12月6日（火）177人／募集定員192人
令和5年
3月7日（火）172人／募集定員192人

場所：丹波年輪の里 芝生広場



◇成果（自己評価等）

大会は新型コロナウイルス感染症の規制緩和を受けて参加希望者も増加しています。大会の他に週末、祝日、夏休みなどを除いた火曜日から金曜日に「平日グラウンドゴルフ」として芝生広場の活用を図っています。天候に左右されたものの、昨年に引き続き利用者は年間約3,000人に迫り大変好評を得ています。

② 緑の中のコンサート

◇実施内容

緑いっぱいの自然あふれる苑内で、音楽を通して来苑者の皆さんに癒やしと安らぎの時間を過ごしていただくために令和4年度、新たな事業として開催しました。

- ・兵庫県立柏原高等学校吹奏楽部によるコンサート
開催日：9月11日（日）
会場：丹波年輪の里 クラフト広場
演奏者：兵庫県立柏原高等学校吹奏楽部34人
観客数：約400人
- ・クリスマスコンサート
開催日：12月10日（土）
会場：丹波年輪の里 木の館ホール
演奏者：古楽器演奏者4人
観客数：約107人



兵庫県立柏原高等学校吹奏楽部

◇成果（自己評価等）

高校生による吹奏楽のフレッシュでさわやかな演奏と音楽に合わせたダンスを楽しんでいただいたり、中世ルネサンスの木製楽器による温かみのある音色と響きを楽しんでいただいたり、どちらも来場者を魅了していました。音楽と自然の融合は年輪の里にとっても大きな魅力であり、さらに充実していきます。



古楽器演奏者

兵庫県地域高齢者大学 4 年制大学講座 「丹波 OB 大学」の開設

◇実施内容

生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成するため実施しました。

講座：教養講座、特別講座、専門講座

(①健康福祉コース・②地域文化コース・③生活創造コース)

学外研修、運動会、オープン学習、看護学生との交流、地域実践の日、学年別研修、地域別研修、クラブ活動（グラウンドゴルフ、童謡音楽、写真、パソコン、オカリナ、書道、水彩画、花、詩吟）

受講者：112人（令和4年4月時点）

開講日：4月20日（水）～令和5年3月1日（水）

（全18回詳細はP46～47講座一覧表に掲載）

◇成果（自己評価等）

講座では、スポーツコメンテーターの小林祐梨子氏をはじめ、医療、地域活動など各分野から多彩な講師陣を招いて内容の充実を図り、受講生から概ね高い評価を得ることができました。また、学外研修、運動会、クラブ活動等の様々な活動を通して受講生間の交流を図るとともに、地域実践のネットワークづくりに寄与することができました。



特別講座

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座 「丹波 OB 大学大学院」の開設

◇実施内容

兵庫県地域高齢者大学 4 年制大学講座「丹波 OB 大学」等での学習をもとに、実践的な社会参加活動について総合的・体系的、かつ実践的に学習することにより、地域づくり活動などの実践能力を習得するとともに、地域づくり活動などへの主体的な取り組み意欲を醸成し、その実践者を育成するため実施しました。

講座：1年生 地域活動実践講座他

2年生 地域活動実践講座他

受講者：1年生22人、2年生15人

（令和4年4月時点）

開講日：4月20日（水）～令和5年3月1日（水）

（全18回詳細はP48～49講座一覧表に掲載）



実践発表会

◇成果（自己評価等）

1年生は、3つの班（街道をゆく班、食文化班、山城を知らう班）を編成し、調査研究を行いました。また、2年生は、1年生でのテーマを引き継ぎ、（丹波の方言研究班、地域神社の歴史研究班、伝統芸能調査班）の3班で2年間継続して調査研究を行いました。

調査研究の成果本を製作したり、朗読劇として実践活動発表するなど各班がそれぞれ主体的な取組を実践し、その成果を地域へ情報発信することができました。

講座「丹波学」の開設

◇実施内容

多彩な地域資源を有する丹波地域の魅力の再発見を通じて、地域の特徴を活かした地域づくりに結びつく学習の機会を提供しました。

テーマ：『丹波につながる歴史再発見！～悠遠なる丹波史と伝統文化から学ぶ丹波の魅力～』

開催日：8月27日(土)～12月10日(土) 全5回

場 所：丹波の森公苑 多目的ルーム

受講者：124人（募集定員：100人）



第2回講義

（詳細はP50講座一覧表に掲載）

◇成果（自己評価等）

「丹波につながる歴史再発見！」をテーマに、承久の乱と丹波の関わり等の歴史に加え、丹波地域に縁の深い人物「春日局」や伝統文化「丹波猿楽」にもスポットを当て、幅広く丹波の魅力を学べる講座を全5回開催しました。多くの受講者に丹波地域の魅力を再発見できる学習の機会を提供することができました。

丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催

◇実施内容

丹波篠山市高齢者大学、丹波市高齢者学級、丹波OB大学及び丹波OB大学大学院で学ぶ高齢者が創作作品の展示や芸能発表を通して、日ごろの学習活動の成果を発表しました。

開催日：9月22日(木)～23日(金・祝)

場 所：丹波篠山市立四季の森生涯学習センター

内 容：書、絵画、工芸、写真等の展示115点
合唱、民謡等の芸能発表8団体

参加者：延べ619人

(丹波篠山市・丹波市の高齢者学級等、
丹波OB大学・大学院)



芸能発表

◇成果（自己評価等）

丹波地域学ぶ高齢者のつどい実行委員会が主体となって、つどいの運営を行いました。今年はコロナ禍で中止していた芸能発表を3年ぶりに実施することができました。丹波地域で学ばれている高齢者の方々が日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい、交流を深めることができました。

丹波の森子どもミュージカル体験塾

◇実施内容

将来の芸術文化を担う子どもたちの豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、舞台芸術による表現や創造する楽しさを体験する機会を提供することにより、舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図りました。

○丹波の森子どもミュージカル体験塾レッスン

開催期間：7月24日(日)～10月15日(土)
全15回

参加者：49人

○丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演

公演日：10月16日(日) 2回公演

場 所：ライフピアいちじま大ホール

演 目：「スモーキーバレエ」

(「劇団ウエスト」の劇団員との共演)

入場者：延べ660人



丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演

◇成果（自己評価等）

丹波地域の小学生・中学生・高校生49人の子どもたちが、劇団ウエストの劇団員による指導を受け、個々の歌・ダンス・演技に磨きをかけ、発表公演では塾生全員が日頃のレッスンの成果を発揮し、観客の心に感動を与える舞台を行うことができました。難易度の高い演目でしたが、塾生の努力と保護者の方々のご協力により、素晴らしい作品を創り上げることができました。

丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

◇実施内容

当協会が発行している「丹波のむかしばなし（全10集）」には、昔から語り継がれてきた郷土の民話や伝説を119話（丹波篠山市52話・丹波市67話）収録しています。

一人でも多くの方に「丹波のむかしばなし」を知ってもらうきっかけとなり、またできるだけ多くの子どもたちが読んでくれることを願い、小学校のクラブ活動の支援を行いました。

実施場所：丹波市立大路小学校

内 容：語りベクラブのメンバーが「むかし話クラブ」の活動支援を行う。



丹波の森フェスティバルでの発表

◇成果（自己評価等）

語りベクラブの活動は、今年度においても新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自粛をされました。

そのようなコロナ禍において、大路小学校のむかし話クラブについては、当協会が発行している「むかしばなし」を題材に取り上げ、紙芝居を作成し、発表するまでの過程を語りベクラブのメンバーがゲストティーチャーとして支援しています。またNPO法人（生涯学習応援隊 SOS039）の方が86本の動画を製作し、動画配信ツールで公開されています。今後もこのように子どもから大人までの多くの方に協力をいただきながら、「丹波のむかしばなし」を周知できる機会を探っていきます。

丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば2022の開催

◇実施内容

28回目を迎えた本音楽祭は、「シューベルト！君こそ我が憩い」をテーマに、オープニング・サロンコンサート、街角コンサート（6会場）、ガラ・コンサートを開催しました。このほか、子ども達を対象とするふるさと音楽ひろばや、キン・コン・カン・コンサートを、吹奏楽部のための出前講座を開催しました。



オープニング・サロンコンサート

開催期間：9月11日(日)～11月19日(土)

フランツ：中島 友美 氏（オーボエ）

○ オープニング・サロンコンサート

開催日：9月11日(日)2回公演

場 所：お菓子の里丹波ミオール館

入場者：118人

○ ガラ・コンサート

開催日：11月19日(土)

場 所：田園交響ホール

入場者：202人

○街角コンサート（丹波地域6会場）

入場者：506人

○ふるさと音楽ひろば（小学校9校）

参加者：1,012人

○キン・コン・カン・コンサート（高等学校1校）

参加者：124人

○吹奏楽部のための出前講座（1会場）

参加者：丹波市吹奏楽連盟の中・高校生20人

◇成果（自己評価等）

本年度はフランツにオーボエ奏者の中島友美氏を招き、オーボエの牧歌的で美しい音色を来場者に楽しんでいただきました。また、年間を通して、ふるさと音楽ひろば、キン・コン・カン・コンサートを実施し、丹波地域の子どもたちに本物の音楽を鑑賞する機会を提供することができました。

丹波の森公苑ホール等自主事業

◇実施内容

丹波地域のアーティストの活動を応援するとともに、地域の方々に広く紹介し交流を深めることを目的に「第2回丹波の森芸術展」を開催しました。

開催日：令和5年2月25日(土)～26日(日)

場 所：丹波の森公苑多目的ルーム

出展者：8名（木工、陶芸、絵画、写真等の分野）

入場者：430人



第2回丹波の森芸術展

◇成果（自己評価等）

木工、陶芸、絵画、写真、ファブリックデザイン等の多彩な分野から8名のアーティストに出展していただきました。多くの方に丹波地域のアーティストの作品を鑑賞いただき、交流を深めることができました。

アート・クラフトフェスティバル in たんば2022の開催【丹波年輪の里】

◇実施内容

全国の木工や陶磁器、布、皮など様々なジャンルのクラフトマンの作品が、野外で自由に展示出来る場を提供し、展示者と来園者との交流を図り・手づくり文化や地域文化の向上など、創造活動の普及を図りました。

- ・開催日：11月5日(土)～6日(日)
- ・出展者：157人
- ・入場者：17,000人
- ・主催：アート・クラフトフェスティバル
inたんば実行委員会



◇成果（自己評価等）

丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動の普及を図りました。また、全国各地で活動するクラフトマンが一堂に集い、芝生広場など園内での自由な作品展示や来苑者との交流を深めることができました。ここ数年、新型コロナウイルス感染症の拡大により一時的に入場者も減少しましたが、コロナの収束とともに回復してきており、丹波地域の秋の一大イベントになっています。

第34回丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ大賞展）

【丹波年輪の里】

◇実施内容

第34回丹波の森ウッドクラフト展「一般の部」は木のおもちゃを念頭に遊び心や木のぬくもりを感じられる作品を、「ジュニアの部」では、子どもたちに広く木に親しんでもらうことを目的に自由な木工作品を公募し、全作品を年輪の里で展示・公開しました。

○一般の部

募集作品：「テーマ作品“振動”」「自由作品」

展示期間：9月10日(土)～25日(日)（年輪の里木の館ホール）

○ジュニアの部

募集作品：「自由作品」

展示期間：10月15日(土)～30日(日)（年輪の里木の館ホール）



一般の部グランプリ(文部科学大臣賞)
こづけばピピピ!! 大森 恵（兵庫県丹波市）



ジュニアの部グランプリ(文部科学大臣賞)
時代すごろく 大森春菜（兵庫県丹波市）

◇成果（自己評価等）

・ 出展者(出展数)	一般の部	60人	67点（自由作品45点 テーマ作品22点）
	ジュニアの部		75点 出展校 14校
・ 入賞作品	一般の部	グランプリ(文部科学大臣賞)・準グランプリ(知事賞)・優秀賞(丹波市長賞) 他12作品	
	ジュニアの部	グランプリ(文部科学大臣賞)・準グランプリ(知事賞)・優秀賞(丹波市長賞) 他12作品	
・ その他	一般の部	みんなが選んだおきにいり賞（丹波年輪の里館長賞） 特別賞（三木工業協組合理事長賞）の継続実施	
・ 入場者	一般の部	1,188人	
	ジュニアの部	1,185人	
	合計	2,373人	

一般の部、ジュニアの部とも個性と創造溢れる作品が全国各地から多く寄せられ、好評のうちに終了することができました。34年の伝統を持ち、木のおもちゃを題材とした公募展は全国的にも珍しく、玩具作家を目指す若い世代の登竜門的な役割も担っています。

また、前年度グランプリ作者の展示会も併せて開催し、たくさんの方々にウッドクラフト作品の魅力をアピールすることが出来ました。しかしながら、コロナ禍や学生の出展の減少など様々な要因により、近年、出展数が減少傾向にあります。更なる募集方法の見直しや新しい部門の創設など創意工夫をしていきます。

丹波の森アートフェスティバルの開催

(兵庫県文化賞受賞者小品展、丹波の森新春書き初め展、展示ギャラリーの開設)

◇実施内容

日頃から美術を愛好し、創作活動に励まれている多くの人々の作品を展示することにより、世代や分野を越えた心の交流を深め、豊かな芸術文化の高揚を図りました。

○2022兵庫県文化賞受賞者小品展

開催日：10月6日(木)～9日(日)

出展数：31点

入場者：76人

○第45回丹波の森新春書き初め展

①開催日：令和5年1月24日(水)～29日(日)

場 所：丹波の森公苑多目的ルーム等

出展数：687点

入場者：1,525人

②開催日：令和5年2月5日(日)～9日(木)

場 所：丹波篠山市立四季の森生涯学習センター東館

出展数：254点

入場者：842人

○展示ギャラリーの開設

利用件数：10件(年間) ※計画修繕工事のため8月下旬以降は休止

利用日数：104日(利用率80%) (詳細はP58に利用状況一覧表を掲載)

◇成果(自己評価等)

丹波の森新春書き初め展は、丹波地域の児童、生徒と一般出品者から多くの作品が出展され、開催期間中は多くの来場者で賑わいました。展示ギャラリーは、計画修繕工事のため8月下旬から休止しましたが、それまでの間、日頃から創作活動に取り組まれている方々の発表の場として利用いただき、多くの方に展示作品を鑑賞いただきました。



第45回丹波の森新春書き初め展

伝統文化活性化支援事業

◇実施内容

丹波地域の民俗芸能特別鑑賞は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。子どもたちに伝統文化である和楽器の素晴らしさを伝えるため、和楽器鑑賞会を開催しました。

○子どもたちのための和楽器鑑賞会

(丹波文化団体協議会による出前授業)

開催期間：9月～令和5年1月

場 所：丹波管内の小学校10校

内 容：和楽器(尺八、箏、三味線)演奏の鑑賞
及び演奏体験

参加者：215人

○第12回丹波の森童謡唱歌の祭典・民俗芸能特別鑑賞

(中止) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

◇成果(自己評価等)

和楽器鑑賞会は、丹波地域の小学校10校で実施しました。丹波文化団体協議会の構成団体の中から都山流尺八岩友会(青山文化協会)と邦友会(春日文化協会)に講師として小学校に出向いてもらい、子どもたちと交流しながら、尺八、箏、三味線などの和楽器に親しみをもってもらえる機会を提供することができました。



子どもたちのための和楽器鑑賞会

すわ てん 座っ展 2022 ー丹波で坐る・木の椅子ー【丹波年輪の里】

◇実施内容

兵庫県近郊で活躍する木工家のPR、また「木工の里丹波」の周知と活性化を目指し、木工クラフトの拠点である丹波年輪の里が企画しました。

兵庫県近郊の木工作家が創作する「椅子」を集め、来場者にそれぞれの個性や造形の良さ、座り心地などを直接体感することで、木の持つぬくもりと良さを伝え、木の椅子と木工作家のアピールに努めました。



開催日：4月29日（金・祝）～5月5日（木・祝）

場 所：丹波年輪の里 木の館ホール

出 展：木工作家14人 椅子28脚

来場者：960人

◇成果（自己評価等）

コロナ禍の中で感染拡大防止も鑑みながらの開催となりましたが、木の椅子の安らぎや手づくり作品のすばらしさを直接触れていただくことで体感していただきました。

また、木工作家と来場者との交流も行われ、一般の方々に木工を身近に感じていただく機会となりました。

年報の発行、SNS等での情報発信

◇実施内容

丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を「年報」「協会ニュース」で情報提供した他、ホームページをはじめフェイスブックやインスタグラムで、各施設の四季折々の様子やイベント案内など随時発信をしました。

・ホームページによる情報発信

アクセス件数	4,054件	(兵庫丹波の森協会)
	21,683件	(丹波の森公苑)
	31,086件	(丹波年輪の里)
	30,630件	(ささやまの森公園)
	74,727件	(丹波並木道中央公園)



兵庫丹波の森協会ホームページ

◇成果（自己評価等）

年報については、2021年度の主な事業や取組について記録書としてまとめるとともに、事業効果の検証を進めました。あわせて協会ニュースについてもホームページに掲載し、地域の方々へ当協会事業についての理解と関心を深めていただくことができました。

また、読者に親切的なホームページ等を作ることを心掛け、訪問者の役に立つコンテンツを掲載し、タイムリーな情報を発信することができました。

芸術文化団体等活動支援

芸術文化団体への活動支援

◇実施内容

丹波文化団体協議会の事務局を担い、丹波の森公苑を拠点として芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援を行いました。丹波文化活動交流会、ふるさとの心をうたう丹波合唱祭、夏休み子ども向け文化体験講座、丹波地域文化フェスティバル等の事業を実施しました。

○丹波文化活動交流会

開催日：令和5年1月21日（土）～22日（日）

場 所：丹波篠山市立四季の森生涯学習センター

入場者：延べ619人

○ふるさとの心をうたう丹波合唱祭

開催日：10月23日（日）

場 所：田園交響ホール

入場者：490人

○夏休み子ども向け文化体験講座

内 容：和太鼓教室、池坊いけばな教室

受講者：和太鼓教室6人、池坊いけばな教室50人

◇成果（自己評価等）

丹波文化団体協議会の事務局を担い、丹波地域の文化芸術団体相互の連携を図るとともに、発表、交流等の事業について円滑に実施できるよう支援しました。丹波文化活動交流会、丹波合唱祭等のイベントには多くの方に来場いただき、丹波地域の文化力を発信することができました。



丹波合唱祭

○丹波地域文化フェスティバル

開催日：8月6日（金）

場 所：丹波の森公苑多目的ルーム他

入場者：247人

兵庫丹波の森協会事務局・丹波の森公苑

- ・ 講座一覧
- ・ 出前講座の状況
- ・ 活動一覧
- ・ 施設利用一覧
- ・ 評議員会の開催状況
- ・ 理事会の開催状況
- ・ 評議員名簿
- ・ 協会役員名簿
- ・ 運営委員会の開催状況
- ・ 運営委員会委員名簿
- ・ 機能
- ・ 沿革
- ・ 施設の概要
- ・ 組織と職員

講座一覧

丹波の森大学(第32期)

回	開催日	テーマ・内容 (基本テーマ: 森の恵み)	講師 (敬称略)
1	5月21日	森のくらしの最前線	丹波の森大学学長 関西学院大学建築学部 学部長 角野 幸博
2	6月18日	【公開講座】 農山村からの地方創生	明治大学農学部 教授 小田切 徳美
3	7月30日	グリーン産業化を担う料理人と日本の職業教育の役割	辻調理師専門学校産学連携教育推進室 室長 尾藤 環
4	8月20日	参加型で立ち向かう砂漠化	関西学院大学総合政策学部 教授 西野 桂子
5	9月10日	【公開講座】 世界遺産になった縄文遺跡の縄文里山づくり —岩手県御所野遺跡—	いちのへ文化・芸術NPO代表理事 御所野縄文博物館 館長 高田 和徳
6	11月19日	現地学習 淡路島	兵庫県立淡路夢舞台公苑温室「あわじグリーン館」 他
7	12月17日	“森を愛する＝森を利用する ～ドイツ人はなぜ森を愛するのか～”	関西学院大学産業研究所准教授 准教授 アンナ・シュラーデ
8	令和5年 1月14日	森、みどり、人—森の恵みを識る—	兵庫県立人と自然の博物館名誉館長 東京大学名誉教授 岩槻 邦男

花と緑の教室

回	開催日	テーマ・内容	講師 (敬称略)
1	5月19日	講義: 植物に関する基礎知識① 実習: 初夏の草花を使った寄せ植え	県立フラワーセンター派遣講師 門上 幸子
2	7月13日	講義: 植物に関する基礎知識② 実習: 観葉植物を使った寄せ植え	
3	9月15日	講義: 植物に関する基礎知識③ 実習: 秋の草花の寄せ植えと管理法	
4	11月17日	講義: 植物に関する基礎知識④ 実習: クリスマスを飾る寄せ植えと管理法	
5	12月15日	講義: 植物に関する基礎知識⑤ 実習: 正月を飾る寄せ植えと管理法	
6	令和5年 3月16日	講義: 植物に関する基礎知識⑥ 実習: 春の草花の寄せ植えと管理法	

園芸教室

回	開催日	テーマ・内容	講師 (敬称略)
1	5月13日	実習: 小作品づくり 講義: プロが教えるガーデニング	村岡ガーデンクラブ代表 田丸 和美 (ひょうごガーデンマイスター)
2	8月30日	実習: 寄せ植えひょうごまちなみガーデンショー 出展作品づくり	
3	9月21日	視察研修(ひょうごまちなみガーデンショー)	
4	10月28日	丹波の森フェスティバル出展作品づくり(寄せ植え)	
5	12月9日	実習: クリスマス&お正月の寄せ植え	
6	令和5年 3月10日	実習: 春の花いっぱい寄せ植え	

森づくり講座

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	10月16日	里山整備講座①(チェーンソーの構造と目立て)	森づくり活動アドバイザー
2	11月6日	里山整備講座②(伐倒技術の基本)	
3	11月27日	里山整備講座③(間伐する木の選定)	
4	12月18日	里山整備講座④(間伐木の伐倒:チルホール編)	
5	令和5年 1月15日	里山整備講座⑤(間伐木の伐倒:ロープ応用編)	
6	2月15日	里山整備講座⑥(間伐材の搬出方法)	

丹波縄文の森塾

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	5月21日	【開塾式・オリエンテーション】 「田植え、里山遊び」	まなあそ代表演畑直也、森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
2	6月18日	サツマイモ植え、生き物観察、オオムラサキ観察	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
3	7月9日	「縄文時代の話、縄文土器づくり」	滋賀県文化財保護協会 鈴木康二、陶芸家 宮本ルリ子ほか
4	7月29日	「縄文土器づくり、サツマイモのツル返し、ツリーイング、草木染め」	陶芸家 宮本ルリ子、滋賀県文化財保護協会 鈴木康二、Tree Master Climbing Academy、森づくり活動アドバイザー、草木染作家 竹内、里山倶楽部ほか
5	7月30日	「縄文土器づくり、水生生物観察」	陶芸家 宮本ルリ子、滋賀県文化財保護協会 鈴木康二、丹波地域のホトケドジョウを守る会 山科ゆみ子、森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
6	9月24日	「ドングリ・栗拾い、稲刈り」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
7	10月15日	「昔ながらの脱穀体験、芋掘り、クリスマスリースづくり」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
8	11月19日	「里山尾根登り、野鳥観察、落ち葉を使ったしおりづくり」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部、丹波野鳥の会 梅津節雄・松井久信ほか
9	12月17日	「シイタケ原木の枝打ち、餅つき、しめ縄づくり」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
10	令和5年 1月14日	「凧づくり、シイタケ原木の玉切り」	森林インストラクター 山崎春人、森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか
11	2月18日	「記念植樹、シイタケ菌の駒打ち、オオムラサキ越冬幼虫観察、冬の里山自然観察」	里山倶楽部、森づくり活動アドバイザーほか
12	3月18日	【閉塾式】 「シュールベルト花壇植栽、シイタケ狩り、みんなで一年を振り返ろう」	森づくり活動アドバイザー、里山倶楽部ほか

※ 縄文キャンプ（7月29日～31日）は中止し、2日間（7月29日、30日）の日帰りで実施。

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	4月20日	【開講式】	
		学年別研修	
		歓迎行事	四季0li0li（クラリネットアンサンブル）
2	5月11日	学年別研修	
		教養講座①：「防災情報とその効果的な活用について」	神戸地方気象台 防災気象官 楠田 和博
		自治会総会	
3	5月25日	朝のつどい	
		専門講座①健康福祉：「養生講話～こころを整える～」	丹波の森健康気功の会 福田 秀樹
		専門講座①地域文化：「兵庫の資源 魅力再発見」	兵庫県立大学教授 人と自然の博物館主任研究員 藤本 真里
		専門講座①生活創造：「移住促進に向けた課題と展望～空き家を 手放せ！ピンチをチャンスに！～」	たんば”移住”テラス・相談員 中川 ミミ
		学年別研修	
		クラブ活動	
4	6月8日	学外研修：西播磨方面（斑鳩寺、揖保の糸資料館、大型放射光施設SPring-8）	
5	6月22日	地域別研修・学年別研修	
		教養講座②：「食を通じて社会に役立つ」	(株)谷常製菓 常務取締役 統括本部長 塩見 和亀
		インターネット安全講座	兵庫県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課 警部補 本田 英理
		クラブ活動	
6	7月6日	地域実践の日	
7	7月27日	学年別研修	
		専門講座②健康福祉：「乳酸菌とビフィズス菌で絶好腸！」	神戸ヤクルト販売(株) 藤原 和子
		専門講座②地域文化：「丹波の自然 里山 生物多様性 オオムラサキ」	兵庫丹波オオムラサキの会 会長 足立 隆昭
		専門講座②生活創造：「いまどきの孫育て」	(株)日本コスモトピア 代表取締役社長 下向 峰子
		特別講座①：「消化器がんの早期発見と臓器温存治療（内視鏡的治療）」	兵庫県立丹波医療センター院長 西崎 朗
		クラブ活動	
8	8月24日	朝のつどい	
		専門講座③健康福祉：「歌って笑って 百才時代を幸せに」	音楽療法士 梅谷 浩子
		専門講座③地域文化：「あの頃は汽笛が聞こえた～時代に翻弄された地方ローカル線の運命～」	丹波篠山市社会教育指導員 松本 剛
		専門講座③生活創造：「誰ひとりとのこされない・誰ひとりとのこさない防災」	丹波篠山市長寿福祉課 課長 松本 ゆかり
		学年別研修	
		クラブ活動	
9	9月7日	朝のつどい	
		特別講座②：「人との絆（たすき）に込めた想い」	元北京オリンピック女子5000m日本代表 スポーツコメンテーター 小林 祐梨子
		学年別研修	
		クラブ活動	
10	9月22日 9月23日	丹波地域学ぶ高齢者のつどい	

11	10月5日	朝のつどい・看護学生との交流（全体会）	丹波市立看護専門学校 2年生
		看護学生との交流（学年別）	丹波市立看護専門学校 2年生
		学年別研修	
		文化祭・クラブ活動、OB大学の歌録音会	
12	10月19日	運動会準備	
		学年別研修	
		運動会	
13	11月9日	オープン学習	「秋散策教室」丹波の森公苑 三浦 仁志、角谷 慶治
			「ノルディックウォーキング教室」 余田 幸美、小島 めぐみ
			「写真教室」岡林 利幸
			「季節のリース作り教室」足立 恵宣
			「吾妻袋教室」荻野 朋子
			「茶道教室」細見 淳子
「ミニ屏風教室」衣川 充洋			
14	11月30日	朝のつどい	
		専門講座④健康福祉：「認知症との付き合い方」	大塚病院精神科医療部長 兵庫県丹波認知症疾患医療センター長 福井 辰彦
		専門講座④地域文化：「これからの森づくりを考える」	あわがオオムラサキの会代表 里山整備・森づくりアドバイザー 松原 泰夫
		専門講座④生活創造：「私は如何に星空と関わっているか」	j.スクール・主催 山内 一明
		交通安全教室	丹波警察署、トヨタ自動車、JAF
		クラブ活動	
15	12月14日	朝のつどい	
		専門講座⑤健康福祉：「意識することの大切さ」	たんばエヌウォーカー代表 ノルディックウォーキン グインストラクター余田 幸美
		専門講座⑤地域文化：「芦田均と文学」	(株)丹波新聞社 代表取締役会長 荻野 祐一
		専門講座⑤生活創造：「番組づくりの舞台裏」	ローカルテレビ・元プロデューサー 酒井 欣也
		教養講座③「果樹～このポイントさえ押さえれば～」	元兵庫県立但馬農業高等学校教諭 中井 俊明
		クラブ活動	
16	令和5年 1月11日	朝のつどい・学年別研修	
		教養講座③「宝塚歌劇もうすぐ110周年 現代に響く魅力」	朝日新聞大阪本社編集局記者 河合 真美江
		地域活動研修	
		クラブ活動	
17	2月1日	自治会総会	
		大学院実践発表会	
		特別講座③「一隅を照らす人々」	天台宗照月山桂谷寺 住職 荒樋 昇誠
		クラブ活動	
18	3月1日	【修了式】	
		記念行事	桂 三扇（落語家）
		思い出の記録映写	

回	開講日	学習テーマ・内容等	講師（敬称略）
1	4月20日	開講式	
		オリエンテーション	
		歓迎行事	四季0li0li（クラリネットアンサンブル）
2	5月11日	教養講座①：「防災情報とその効果的な活用について」	神戸地方気象台 防災気象官 楠田 和博
		地域活動実践講座①：「文脈を捉える」	からくさ塾主宰 小嶋 明
3	5月25日	地域活動実践講座②：「私のフィールド紹介」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		レクリエーション	
		クラブ活動	
4	6月8日	学外研修：西播磨方面（斑鳩寺、揖保の糸資料館、大型放射光施設Spring-8）	
5	6月22日	教養講座②：「食を通じて社会に役立つ」	（株）谷常製菓 常務取締役 統括本部長 塩見 和亀
		地域活動実践講座③：「フィールドワークの取組」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		クラブ活動	
6	7月27日	地域活動実践講座④：「調査研究内容の決定」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		特別講座①：「消化器がんの早期発見と臓器温存治療（内視鏡的治療）」	兵庫県立丹波医療センター院長 西崎 朗
		クラブ活動	
7	8月24日	地域活動実践講座⑤：「調査研究内容の決定」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		地域活動実践講座⑥：「調査研究計画の検討」	
		クラブ活動	
8	9月7日	特別講座②：「人と人の絆（たすき）に込めた想い」	元北京オリンピック女子5000m日本代表 スポーツコメンテーター 小林 祐梨子
		地域活動実践講座⑦：「調査研究」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		クラブ活動	
9	9月22日 9月23日	丹波地域学が高齢者のつどい	
10	10月5日	地域活動実践講座⑧：「調査研究」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		地域活動実践講座⑨：「調査研究」	
		クラブ活動	
11	11月9日	オープン学習	「秋散策教室」丹波の森公苑 三浦 仁志、角谷 慶治 「ノルディックウォーキング教室」 余田 幸美、小島 めぐみ 「写真教室」岡林 利幸 「季節のリース作り教室」足立 恵宣 「吾妻袋教室」荻野 朋子 「茶道教室」細見 淳子 「ミニ屏風教室」衣川 充洋
12	11月30日	地域活動実践講座⑩：「調査研究のまとめ」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		地域活動実践講座⑪：「調査研究のまとめ」	
		クラブ活動	
13	12月7日	地域活動実践講座⑫：「調査研究のまとめ」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		地域活動実践講座⑬：「調査研究のまとめ」	
14	12月14日	地域活動実践講座⑭：「実践発表に向けた準備」	からくさ塾主宰 小嶋 明
		教養講座③「果樹 ～このポイントさえ押さえれば～」	元兵庫県立但馬農業高等学校教諭 中井 俊明
		クラブ活動	

15	令和5年 1月11日	教養講座④「宝塚歌劇もうすぐ110周年 現代に響く魅力」	朝日新聞大阪本社編集局記者 河合 真美江
		地域活動実践講座⑮：「実践発表に向けた準備」	
		クラブ活動	
16	1月18日	地域活動実践講座⑯：「実践発表リハーサル」	からくさ塾主宰 小嶋 明
17	2月1日	大学院実践発表会	からくさ塾主宰 小嶋 明
		特別講座③「一隅を照らす人々」	天台宗照月山桂谷寺 住職 荒樋 昇誠
		クラブ活動	
18	3月1日	【修了式】	
		記念行事	桂 三扇（落語家）
		思い出の記録映写	

兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座「丹波OB大学大学院」 2年生講座

回	開講日	学習テーマ・内容等	講師（敬称略）
1	4月20日	開講式	
		オリエンテーション	
		歓迎行事	四季01i0i（クラリネットアンサンブル）
2	5月11日	教養講座①：「防災情報とその効果的な活用について」	神戸地方気象台 防災気象官 楠田 和博
		地域活動実践講座①：「調査研究方針の決定」	生涯学習応援隊so-so.39代表 北村 久美子
3	5月25日	地域活動実践講座②：「調査研究計画の決定」	生涯学習応援隊so-so.39代表 北村 久美子
		レクリエーション	
		クラブ活動	
4	6月8日	学外研修：西播磨方面（斑鳩寺、揖保の糸資料館、大型放射光施設Spring-8）	
5	6月22日	教養講座②：「食を通じて社会に役立つ」	（株）谷常製菓 常務取締役 統括本部長 塩見 和亀
		地域活動実践講座③：「各班調査研究報告会」	生涯学習応援隊so-so.39代表 北村 久美子
		クラブ活動	
6	7月27日	地域活動実践講座④：「調査研究」	生涯学習応援隊so-so.39代表 北村 久美子
		特別講座①：「消化器がんの早期発見と臓器温存治療（内視鏡的治療）」	兵庫県立丹波医療センター院長 西崎 朗
		クラブ活動	
7	8月24日	地域活動実践講座⑤：「調査研究」	生涯学習応援隊so-so.39代表 北村 久美子
		地域活動実践講座⑥：「調査研究」	
		クラブ活動	
8	9月7日	特別講座②：「人との絆（たすき）に込めた想い」	元北京オリンピック女子5000m日本代表 スポーツメンテーター 小林 祐梨子
		地域活動実践講座⑦：「調査研究」	生涯学習応援隊so-so.39代表 北村 久美子
		クラブ活動	
9	9月22日 9月23日	丹波地域学が高齢者のつどい	
10	10月5日	地域活動実践講座⑧：「各班調査研究報告会」	
		地域活動実践講座⑨：「調査研究」	生涯学習応援隊so-so.39代表 北村 久美子
		クラブ活動	

11	11月9日	オープン学習	「秋散策教室」丹波の森公苑 三浦 仁志、角谷 慶治 「ノルディックウォーキング教室」 余田 幸美、小島 めぐみ 「写真教室」岡林 利幸 「季節のリース作り教室」足立 恵宣 「吾妻袋教室」荻野 朋子 「茶道教室」細見 淳子 「ミニ屏風教室」衣川 充洋
12	11月30日	地域活動実践講座⑩：「調査研究」	生涯学習応援隊so-so.39代表 北村 久美子
		地域活動実践講座⑪：「調査研究」	
		クラブ活動	
13	12月7日	地域活動実践講座⑫：「実践発表に向けた準備」	
		地域活動実践講座⑬：「実践発表に向けた準備」	
14	12月14日	地域活動実践講座⑭：「実践発表に向けた準備」	生涯学習応援隊so-so.39代表 北村 久美子
		教養講座③「果樹～このポイントさえ押さえれば～」	元兵庫県立但馬農業高等学校教諭 中井 俊明
		クラブ活動	
15	令和5年 1月11日	教養講座④「宝塚歌劇もうすぐ110周年 現代に響く魅力」	朝日新聞大阪本社編集局記者 河合 真美江
		地域活動実践講座⑮：「実践発表に向けた準備」	生涯学習応援隊so-so.39代表 北村 久美子
		クラブ活動	
16	1月18日	地域活動実践講座⑯：「実践発表リハーサル」	生涯学習応援隊so-so.39代表 北村 久美子
17	2月1日	大学院実践発表会	生涯学習応援隊so-so.39代表 北村 久美子
		特別講座③「一隅を照らす人々」	天台宗照月山桂谷寺 住職 荒樋 昇誠
		クラブ活動	
18	3月1日	【修了式】	
		記念行事	桂 三扇（落語家）
		思い出の記録映写	

令和4年度講座「丹波学」

回	開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
1	8月27日	春日局と丹波	市立枚方宿鍵屋資料館 学芸員 片山 正彦
2	9月17日	承久の乱と丹波	花園大学 准教授 生駒 孝臣
3	10月1日	丹波の土豪・酒井氏の歴史	株式会社歴史と文化の研究所代表取締役 渡邊 大門
4	11月12日	幕末政治史と丹波諸侯～京都火消・禁裏守衛・攘夷～	京都女子大学非常勤講師 中村 武生
5	12月10日	丹波猿楽とその時代	宇治市源氏物語ミュージアム館長 家塚 智子

令和4年度「丹波の森子どもミュージカル体験塾」

開催日	テーマ・内容	講師（敬称略）
7月24日	開講式	有限会社ウエスト・プロ 代表取締役 巽 詩郎、劇団員
7月24日～ 10月15日	レッスン（16回）	
10月16日	発表公演「スモーキーバレエ」	

出前講座の状況

森づくり課

回	開催日	場 所	対象団体	テ ー マ 等	人数
1	4月28日	丹波篠山市立篠山小学校	丹波篠山市立篠山小学校	オオムラサキの学習	24
2	5月10日	丹波市立新井小学校	丹波市立新井小学校	オオムラサキの学習	18
3	5月11日	丹波市立和田小学校	丹波市立和田小学校	オオムラサキの学習	36
4	5月13日	丹波市立南小学校	丹波市立南小学校	オオムラサキの学習	16
5	5月19日	丹波市立竹田小学校	丹波市立竹田小学校	オオムラサキの学習	12
6	5月19日	丹波市立大路小学校	丹波市立大路小学校	オオムラサキの学習	17
7	5月20日	丹波市立崇広小学校	丹波市立崇広小学校	オオムラサキの学習	63
8	5月24日	丹波市立三輪小学校	丹波市立三輪小学校	オオムラサキの学習	25
9	5月24日	丹波市立大路小学校	丹波市立大路小学校	水生生物の学習	17
10	5月25日	丹波篠山市立八上小学校	丹波篠山市立八上小学校	オオムラサキの学習	17
11	5月26日	丹波市立中央小学校	丹波市立中央小学校	オオムラサキの学習	41
12	5月31日	丹波篠山市立岡野小学校	丹波篠山市立岡野小学校	オオムラサキの学習	22
13	6月1日	丹波市立進修小学校	丹波市立進修小学校	オオムラサキの学習	16
14	6月2日	丹波市立黒井小学校	丹波市立黒井小学校	オオムラサキの学習	27
15	6月3日	丹波市立上久下小学校	丹波市立上久下小学校	オオムラサキの学習	5
16	6月8日	丹波市立春日部小学校	丹波市立春日部小学校	オオムラサキの学習	16
17	6月9日	丹波市立小川小学校	丹波市立小川小学校	オオムラサキの学習	21
18	6月10日	丹波篠山市立古市小学校	丹波篠山市立古市小学校	オオムラサキの学習	17
19	6月16日	丹波篠山市立西紀北小学校	丹波篠山市立西紀北小学校	オオムラサキの学習	8
20	6月17日	丹波市立崇広小学校	丹波市立崇広小学校	オオムラサキの学習	63
21	6月24日	丹波市立青垣小学校	丹波市立青垣小学校	水生生物の学習	40
22	6月29日	丹波市立青垣小学校	丹波市立青垣小学校周辺の河川	水生生物の学習（現地学習）	40
23	6月30日	丹波市立黒井小学校	丹波の森公苑	オオムラサキの学習	27
24	7月6日	丹波篠山市立篠山小学校	丹波篠山市立篠山小学校	オオムラサキの学習（放蝶会）	24
25	7月6日	丹波市立大路小学校	丹波市立大路小学校	水生生物の学習	17
26	7月7日	県立柏原高等学校	県立柏原高等学校理科部	水生生物の学習	8
27	7月11日	県立氷上西高等学校	県立氷上西高等学校、青垣小学校	オオムラサキの学習（放蝶会）	52
28	8月28日	丹波市春日町柚津地区	柚津子供会・柚津自治会	水生生物の学習	15
29	8月30日	丹波市立大路小学校	丹波市立大路小学校	水生生物の学習（現地学習）	17
30	9月13日	丹波市立春日部小学校	丹波市立春日部小学校	昆虫標本づくり	16
31	10月19日	丹波市立春日部小学校	丹波市立春日部小学校	昆虫標本づくり	16
32	10月27日	丹波市立春日部小学校	丹波市立春日部小学校	昆虫標本づくり	16
33	11月4日	丹波市立春日部小学校	丹波市立春日部小学校	昆虫標本づくり	16
34	2月28日	丹波篠山市立八上小学校	丹波篠山市立八上小学校	オオムラサキの学習	17
35	3月1日	丹波篠山市立篠山小学校	丹波篠山市立篠山小学校	オオムラサキの学習	24
36	3月9日	丹波篠山市立篠山小学校	丹波篠山市立篠山小学校	オオムラサキの学習	24

令和4年4月1日～令和5年3月31日

月 日	主 な 事 項	会 場
令和4年		
4月		
12日	生活創造活動グループサポート事業アロマスプレー作り	丹波の森公苑
17日	里山倶楽部	丹波の森公苑
20日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講式	丹波の森公苑
23日	生活創造活動グループサポート事業ハンドメイド教室 かわいい針山を作ろう!! ホトケドジョウ4月定例調査	丹波の森公苑 管内生息地
28日	森づくり出前講座	丹波篠山市立篠山小学校
29日	生活創造活動グループサポート事業ノルディックウォーキングで楽しむハイキング&ストレッチ 春の里山ハイキング（雨天中止）	丹波の森公苑 丹波の森公苑
5月		
8日	里山倶楽部	丹波の森公苑
10日	森づくり出前講座	丹波市立新井小学校
11日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日 森づくり出前講座 丹波の里山づくり促進事業実行委員会幹事会	丹波の森公苑 丹波市立和田小学校 柏原総合庁舎
13日	園芸教室① 森づくり出前講座	丹波の森公苑 丹波市立南小学校
14日	ホトケドジョウ5月定例調査	管内生息地
19日	丹波文化団体協議会総会 森づくり出前講座 森づくり出前講座 花と緑の教室①	丹波の森公苑 丹波市立竹田小学校 丹波市立大路小学校 丹波の森公苑
20日	森づくり出前講座	丹波市立崇広小学校
21日	丹波縄文の森塾・開塾式① 丹波の森大学開講式①	丹波の森公苑 丹波の森公苑
24日	丹波の里山づくり促進事業実行委員会総会・アクティブフォレスト活動報告会 森づくり出前講座 森づくり出前講座（水生生物）	柏原総合庁舎 丹波市立三輪小学校 丹波市立大路小学校
25日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日 森づくり出前講座	丹波の森公苑 丹波篠山市立八上小学校
26日	森づくり出前講座	丹波市立中央小学校
28日	生活創造活動グループサポート事業ハンドメイド～絵本の世界～	丹波の森公苑
29日	里山倶楽部	丹波の森公苑
31日	森づくり出前講座	丹波篠山市立岡野小学校
6月		
1日	森づくり出前講座	丹波市立進修小学校
2日	森づくり出前講座	丹波市立黒井小学校
3日	森づくり出前講座	丹波市立上久下小学校
8日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日（学外研修） 森づくり出前講座	西播磨方面 丹波市立春日部小学校
9日	森づくり出前講座	丹波市立小川小学校
10日	森づくり出前講座	丹波篠山市立古市小学校
11日	ホトケドジョウ6月定例調査	管内生息地
12日	里山倶楽部	丹波の森公苑
14日	丹波の里山づくり促進事業実行委員会幹事会	柏原総合庁舎
16日	森づくり出前講座	丹波篠山市立西紀北小学校
17日	森づくり出前講座	丹波市立崇広小学校
18日	生活創造活動グループサポート事業人生を好転させる”気づき”のお話会	丹波の森公苑

月 日	主 な 事 項	会 場
	丹波縄文の森塾②	丹波の森公苑
	丹波の森大学②（公開講座）	丹波の森公苑
2 2 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
	丹波地域環境パートナーシップ会議企画運営委員会	柏原総合庁舎
2 4 日	生活創造活動グループサポート事業夏の健康気功体操教室	丹波の森公苑
	森づくり出前講座（水生生物）	丹波市立青垣小学校
2 6 日	シューベルティアアーデたんば実行委員会総会	丹波の森公苑
2 8 日	シューベルティアアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立北小学校
2 9 日	森づくり出前講座（水生生物）	丹波市立青垣小学校付近
3 0 日	森づくり出前講座（黒井小学校）	丹波の森公苑
7 月		
3 日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
	第13回オオムラサキ放蝶会	丹波の森公苑
6 日	丹波OB大学 地域実践の日	丹波篠山市・丹波市の各所
	森づくり出前講座	丹波篠山市立篠山小学校
	森づくり出前講座（水生生物）	丹波市立大路小学校
7 日	森づくり出前講座（水生生物）	県立柏原高等学校
9 日	丹波縄文の森塾③	丹波の森公苑
	ホトケドジョウ7月定例調査	管内生息地
1 1 日	シューベルティアアーデたんば「キン・コン・カン・コンサート」	氷上西高等学校
	森づくり出前講座	氷上西高等学校
1 3 日	花と緑の教室②	丹波の森公苑
1 6 日	丹波いきもの大集合	丹波ゆめタウン
	めざせ！昆虫リーダー①	丹波の森公苑
1 7 日	生活創造活動グループサポート事業親子で学ぶピザづくり	丹波の森公苑
2 4 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾①	丹波の森公苑
	夏休み子ども池坊いけばな教室①	丹波の森公苑
2 6 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾②	丹波の森公苑
2 7 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
	木の銘板樹木調査	丹波の森公苑
2 9 日	夏休み子ども和太鼓教室①	丹波の森公苑
	丹波縄文の森塾④	丹波の森公苑
3 0 火	丹波縄文の森塾⑤	丹波の森公苑
	丹波の森大学③	丹波篠山市立市民センター
8 月		
2 日	夏休み子ども和太鼓教室②	丹波の森公苑
3 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾③	丹波の森公苑
	夏休み子ども池坊いけばな教室②	丹波の森公苑
5 日	丹波地域文化フェスティバル	丹波の森公苑
6 日	ホトケドジョウ8月定例調査	管内生息地
7 日	生活創造活動グループサポート事業ハンドメイド教室 あずま袋を作ろう！	丹波の森公苑
9 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾④	丹波の森公苑
	夏休み子ども和太鼓教室③	丹波の森公苑
1 0 日	夏休み子ども池坊いけばな教室③	丹波の森公苑
1 1 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑤	丹波の森公苑
1 3 日	めざせ！昆虫リーダー②	丹波の森公苑
1 6 日	夏休み子ども和太鼓教室④	丹波の森公苑
1 8 日	夏休み子ども池坊いけばな教室④	丹波の森公苑
	木の銘板設置	丹波の森公苑
1 9 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑥	丹波の森公苑
2 0 日	木の銘板設置	丹波の森公苑
	丹波の森大学④	丹波篠山市立市民センター
2 1 日	4人の作家が贈るハンドメイド教室	丹波の森公苑
	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
2 3 日	夏休み子ども和太鼓教室⑤	丹波の森公苑

月 日	主 な 事 項	会 場
24日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
25日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑦ 夏休み子ども池坊いけばな教室⑤	丹波の森公苑 丹波の森公苑
27日	講座「丹波学」①	丹波の森公苑
28日	生活創造活動グループサポート事業ジュエリーテープで作る小物入れ 森づくり出前講座（水生生物）	丹波の森公苑 丹波市春日町袖津地区
30日	森づくり出前講座（水生生物） 園芸教室②	丹波市立大路小学校 丹波の森公苑
9月		
3日	丹波地域環境パートナーシップ会議総会	丹波の森公苑
4日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑧ 里山倶楽部活動	丹波の森公苑 丹波の森公苑
7日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
8日	子どもたちのための和楽器鑑賞会 森づくり出前講座	丹波篠山市立城南小学校 丹波篠山市立八上小学校
10日	ホトケドジョウ9月定例調査 丹波の森大学⑤（公開講座）	管内生息地 丹波の森公苑
11日	シューベルティアードたんば「オープニング・サロンコンサート」	お菓子の里丹波ミオール館
13日	森づくり出前講座 丹波の森子どもミュージカル体験塾⑨	丹波市立春日部小学校 丹波の森公苑
15日	花と緑の教室③	丹波の森公苑
16日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑩	丹波の森公苑
17日	講座「丹波学」②	丹波の森公苑
18日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
21日	園芸教室③ 視察研修（ひょうごまちなみガーデンショー） 里山の秋の実り体験（大山幼稚園）	明石公園ほか 丹波の森公苑
22日	丹波地域学ぶ高齢者のつどい（～23日） 里山の秋の実り体験（認定こども園あおがき）	四季の森生涯学習センター 丹波の森公苑
24日	丹波縄文の森塾⑥	丹波の森公苑
26日	シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立鴨庄小学校
27日	子どもたちのための和楽器鑑賞会 里山の秋の実り体験（和田小学校）	丹波市立竹田小学校 丹波の森公苑
28日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑪	丹波の森公苑
29日	里山の秋の実り体験（認定こども園わだ）	丹波の森公苑
30日	シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」 里山の秋の実り体験（青垣小学校）	丹波市立吉見小学校 丹波の森公苑
10月		
1日	講座「丹波学」③ めざせ！昆虫リーダー③	丹波の森公苑 丹波の森公苑
2日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑫	丹波の森公苑
4日	里山の秋の実り体験（認定こども園さちよ） 森づくり出前講座	丹波の森公苑 丹波市立春日部小学校
5日	丹波OB大学開講日（看護学生との交流）・丹波OB大学大学院開講日 シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」 里山の秋の実り体験（認定こども園ふたば）	丹波の森公苑 丹波篠山市立今田小学校 丹波の森公苑
6日	兵庫県文化賞受賞者小品展（～9日） 里山の秋の実り体験（認定こども園かすが花の子園）	丹波の森公苑 丹波の森公苑
7日	シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」 里山の秋の実り体験（認定こども園ぬぬぎ、南小学校） 国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト選考委員会	丹波篠山市立岡野小学校 丹波の森公苑 丹波の森公苑
8日	生活創造活動グループサポート事業みんなで楽しく 皮から作る小籠包	丹波の森公苑
9日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑬	ライフピアいちじま
10日	ホトケドジョウ10月定例調査	管内生息地
12日	子どもたちのための和楽器鑑賞会 里山の秋の実り体験（認定こども園かすが森の子園）	丹波市立上久下小学校 丹波の森公苑
13日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑭ 里山の秋の実り体験（認定こども園みつみ）	ライフピアいちじま大ホール 丹波の森公苑

月 日	主 な 事 項	会 場
1 4 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑮ 里山の秋の実り体験（認定こども園いちじまこども園） 里山の秋の実り体験（認定こども園ミライズにじ）	ライフピアいちじま大ホール 丹波の森公苑 丹波の森公苑
1 5 日	丹波の森子どもミュージカル体験塾⑯ 丹波縄文の森塾⑦	ライフピアいちじま大ホール 丹波の森公苑
1 6 日	シューベルティアーデたんば 西紀街角コンサート 丹波の森子どもミュージカル体験塾 発表公演 森づくり講座① 里山倶楽部活動	丹波篠山市立西紀南小学校 ライフピアいちじま大ホール 丹波の森公苑 丹波の森公苑
1 9 日	丹波OB大学開講日（運動会） 森づくり出前講座	柏原住民センター・丹波の森公苑 丹波市立春日部小学校
2 1 日	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」 丹波市環境審議会	丹波市立大路小学校 氷上住民センター
2 2 日	シューベルティアーデたんば「吹奏楽部のための出前講座」	柏原高等学校柏陵会館
2 6 日	ふるさとの心をうたう丹波音楽祭	田園交響ホール
2 7 日	森づくり出前講座	丹波市立春日部小学校
2 8 日	園芸教室④	丹波の森公苑
2 9 日	シューベルティアーデたんば 氷上街角コンサート	丹波市立南小学校
3 0 日	シューベルティアーデたんば 山南街角コンサート 里山倶楽部活動	上久下地域づくりセンター 丹波の森公苑
1 1 月		
1 日	国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト作品展 （～11月13日）	ゆめタウン丹波
3 日	シューベルティアーデたんば 市島街角コンサート	ライフピアいちじま
4 日	森づくり出前講座	丹波市立春日部小学校
5 日	シューベルティアーデたんば 丹南街角コンサート 生活創造活動グループサポート事業石窯で焼く おいしいピザづくり	ふれあい館（大山小学校内） 丹波の森公苑
6 日	森づくり講座②	丹波の森公苑
9 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日（オープン学習）	丹波の森公苑
1 2 日	講座「丹波学」④ シューベルティアーデたんば 柏原街角コンサート 生活創造活動グループサポート事業ひのきの間伐材で Let's make a log bench!!	丹波の森公苑 たんば黎明館 丹波の森公苑
1 3 日	生活創造活動グループサポート事業健康で快適に過ごすためのお家の住まい方セミナー 里山倶楽部活動	丹波の森公苑 丹波の森公苑
1 7 日	花と緑の教室④	丹波の森公苑
1 9 日	シューベルティアーデたんば「ガラ・コンサート」 丹波縄文の森塾⑧ ホトケドジョウ11月定例調査 丹波の森大学⑥現地学習	田園交響ホール 丹波の森公苑 管内生息地 淡路島
2 0 日	生活創造活動グループサポート事業冬のスワッグづくり	丹波の森公苑
2 5 日	シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波篠山市立西紀小学校
2 7 日	森づくり講座③	丹波の森公苑
2 9 日	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立久下小学校
3 0 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日 シューベルティアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波の森公苑 丹波篠山市立城南小学校
1 2 月		
2 日	子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立前山小学校
3 日	ホトケドジョウ12月定例調査	管内生息地
7 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
9 日	子どもたちのための和楽器鑑賞会 園芸教室⑤	丹波市立船城小学校 丹波の森公苑
1 0 日	講座「丹波学」⑤	丹波の森公苑
1 1 日	生活創造活動グループサポート事業けしゴムはんこで年賀状を作ろう	丹波の森公苑
1 4 日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
1 5 日	花と緑の教室⑤	丹波の森公苑

月 日	主 な 事 項	会 場
17日	丹波縄文の森塾⑨ 丹波の森大学⑦	丹波の森公苑 丹波の森公苑
18日	森づくり講座④	丹波の森公苑
19日	シューベルティアアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波篠山市立篠山養護学校
25日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
令和5年		
1月		
7日	国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト作品展（～20日）	兵庫陶芸美術館
8日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
11日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日	丹波の森公苑
14日	丹波縄文の森塾⑩ 丹波の森大学閉講式⑧	丹波の森公苑 丹波の森公苑
15日	森づくり講座⑤	丹波の森公苑
18日	丹波OB大学大学院開講日 子どもたちのための和楽器鑑賞会 子どもたちのための和楽器鑑賞会 丹波の里山づくり促進事業実行委員会幹事会	丹波の森公苑 丹波篠山市立多紀小学校 丹波篠山市立八上小学校 柏原総合庁舎
20日	子どもたちのための和楽器鑑賞会 子どもたちのための和楽器鑑賞会	丹波市立吉見小学校 丹波篠山市立城北畑小学校
21日	丹波文化活動交流会（～22日） ホトケドジョウ1月定例調査	四季の森生涯学習センター 管内生息地
22日	生活創造活動グループサポート事業気学・メンター体験会	丹波の森公苑
24日	第45回丹波の森新春書き初め展（～29日）	丹波の森公苑
27日	シューベルティアアーデたんば「ふるさと音楽ひろば」	丹波市立春日部小学校
29日	生活創造活動グループサポート事業つるし雛飾りづくり	丹波の森公苑
2月		
1日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院開講日（大学院実践発表会）	丹波の森公苑
5日	第45回丹波の森新春書き初め展（～9日）	四季の森生涯学習センター
11日	ホトケドジョウ2月定例調査	管内生息地
12日	里山倶楽部活動 森づくり講座⑥	丹波の森公苑 丹波の森公苑
16日	OB大学運営委員会	丹波の森公苑
18日	丹波縄文の森塾⑪	丹波の森公苑
21日	森づくり出前講座	丹波篠山市立八上小学校
25日	第2回丹波の森芸術展（～26日） 生活創造活動グループサポート事業竹かごづくりワークショップ	丹波の森公苑 丹波の森公苑
26日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
3月		
1日	丹波OB大学・丹波OB大学大学院修了式 森づくり出前講座	丹波の森公苑 丹波篠山市立篠山小学校
4日	ホトケドジョウ3月定例調査	管内生息地
9日	森づくり出前講座	丹波篠山市立篠山小学校
10日	園芸教室⑥	丹波の森公苑
11日	オオムラサキ越冬幼虫探し	丹波の森公苑
12日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑
15日	丹波地域環境パートナーシップ会議企画運営委員会	柏原総合庁舎
16日	花と緑の教室⑥	丹波の森公苑
18日	丹波縄文の森塾⑫ 閉塾式	丹波の森公苑
24日	丹波の里山づくり促進事業実行委員会幹事会	柏原総合庁舎
26日	里山倶楽部活動	丹波の森公苑

施設利用一覧

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

施設	申込 件数	稼動 日数	利用 日数	利用率			利用 回数	利用人数	
				1日単位	午前	午後			夜間
ホー ル	7 ^件	30 ^日	7 ^日	23.3 [%]	5 ^回	6 ^回	2 ^回	13 ^回	750 ^人
					16.7	20.0	6.7		
練習室兼楽屋	115	171	110	64.3	47	52	41	140	2,028
					27.5	30.4	24.0		
楽屋 A	4	171	4	2.3	3	3	1	7	23
					1.8	1.8	0.6		
楽屋 B	4	171	4	2.3	4	4	0	8	12
					2.3	2.3	0.0		
創作工房	140	308	135	43.8	100	118	45	263	3,831
					32.5	38.3	14.6		
多目的ルーム	238	308	202	65.6	145	176	90	411	12,577
					47.1	57.1	29.2		
和室	84	308	79	25.6	62	56	13	131	661
					20.1	18.2	4.2		
会議室 1	198	308	167	54.2	125	107	46	278	1,893
					40.6	34.7	14.9		
会議室 2	87	308	83	26.9	70	59	12	141	750
					22.7	19.2	3.9		
会議室 3	160	308	144	46.8	92	122	16	230	2,108
					29.9	39.6	5.2		
セミナー室	191	308	172	55.8	122	128	39	289	4,800
					39.6	41.6	12.7		
絵画アトリエ	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0
					0.0	0.0	0.0		
彫刻アトリエ	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0
					0.0	0.0	0.0		
テニスコート	848	203	170	83.7	362	531		893	6,499
					178.3	261.6			
グラウンド	166	280	152	54.3	72	125		197	9,284
					25.7	44.6			
計	2,242	3,182	1,429	44.9	1,209	1,487	305	3,001	45,216
					38.0	46.7	9.6		

展示ギャラリー利用状況

月	展示会名(開催期間)
4	井上信行写真展「桜だより」(6～17) 二灯会書作展(20～26)
5	第2回二郎ふたり写真展(3～15) たんばつぶやぎ座川柳・写真川柳展(18～29)
6	「私の図鑑～身近な生きもの」展(1～12) 絵の会「ワレモコウ」作品展(14～26)
7	幼なじみクラフト展(1～13) 丹波並木道絵画教室展(14～27) オーストリア・ウィーン写真展(29～8/3)
8	「ひまわり展」柏高美術部有志展(9～21)

※8月下旬以降は計画修繕工事のため休止

(公財)兵庫丹波の森協会評議員会の開催状況

区分	開催日	開催地	出席者数	議 決 ・ 承 認 事 項
① 第22回	4月1日	(書面同意)	評議員 11名	・ 理事の選任について
② 第23回	6月29日	丹波市柏原町 丹波の森公苑	評議員 9名 理事3名 監事2名	・ 令和3年度公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告及び収支決算の承認について ・ 理事の選任について ・ 評議員の選任について ・ 公益財団法人兵庫丹波の森協会の定款の一部改正について
③ 第24回	9月1日	(書面同意)	評議員 11名	・ 理事の選任について

(公財)兵庫丹波の森協会理事会の開催状況

区分	開催日	開催地	出席者数	議 決 ・ 承 認 事 項
① 第39回	4月1日	(書面同意)	理事8名	・ 常務理事の選定について
② 第40回	6月14日	丹波市柏原町 丹波の森公苑	理事8名 監事2名	・ 令和3年度公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告及び収支決算の承認について ・ 令和4年度公益財団法人兵庫丹波の森協会収支補正予算(第1次)について ・ 第23回公益財団法人兵庫丹波の森協会評議員会の招集について ・ 役員等賠償責任保険契約について
③ 第41回	6月29日	(書面同意)	理事8名	・ 理事長、副理事長及び常務理事の選定について
④ 第42回	9月1日	(書面同意)	理事8名	・ 第24回公益財団法人兵庫丹波の森協会評議員会の招集について
⑤ 第43回	10月18日	丹波市柏原町 丹波の森公苑	理事13名 監事1名	・ 令和4年度公益財団法人兵庫丹波の森協会収支補正予算(第2次)について
⑥ 第44回	令和5年 1月25日	丹波市柏原町 丹波の森公苑	理事11名 監事1名	・ 令和4年度公益財団法人兵庫丹波の森協会収支補正予算(第3次)について
⑦ 第45回	3月24日	丹波市柏原町 丹波の森公苑	理事11名 監事2名	・ 令和4年度公益財団法人兵庫丹波の森協会収支補正予算(第4次)について ・ 令和5年度公益財団法人兵庫丹波の森協会事業計画及び収支予算について ・ 役員等賠償責任保険契約について ・ 第25回公益財団法人兵庫丹波の森協会評議員会の招集について

(公財)兵庫丹波の森協会評議員名簿

令和5年3月31日現在

役員等の種類	氏名	所属団体等
評議員	浅葉 勇貴	丹波青年会議所副理事長
〃	臼井 雅子	丹波市愛育会会長
〃	大木 康次	丹波青少年本部長
〃	太田 鈴子	丹波篠山市愛育会会長
〃	大野 亮祐	丹波市自治会長会会長
〃	荻野 祐一	(株)丹波新聞社代表取締役会長
〃	新才 博章	丹波篠山市自治会長会会長
〃	杉尾 吉弘	(株)夢こんだ代表取締役社長
〃	中瀬 勲	県立人と自然の博物館館長
〃	中道 知代子	丹波市消費者協議会会長
〃	本多 紀元	丹波篠山青年会議所理事

(注) 評議員について、氏名の記載は50音順

(公財)兵庫丹波の森協会役員名簿

令和5年3月31日現在

役員等の種類	氏名	所属団体等
理事長	酒井隆明	丹波篠山市長
副理事長	林時彦	丹波市長
常務理事	芦田義則	丹波の森公苑次長
〃	大垣至康	(公財)兵庫丹波の森協会
理事	今井良広	兵庫県丹波県民局長
〃	角野幸博	丹波の森公苑長
〃	金子ちあき	丹波市推薦
〃	清野未恵子	神戸大学大学院准教授
〃	吉良佳晃	丹波篠山市推薦
〃	近藤紀子	丹波市推薦
〃	酒井達哉	武庫川女子大学教授
〃	鈴木克哉	里地里山問題研究所代表
〃	角悟	丹波文化団体協議会会長
〃	長尾勝美	丹波篠山市推薦
〃	柳川拓三	丹波市観光協会会長
監事	細見正敏	丹波市副市長
〃	渡邊康夫	公認会計士

(注) 理事、監事について、氏名の記載は50音順

丹波の森公苑運営委員会の開催状況

運営委員会の開催状況

区 分	開 催 日	開 催 地	出席者数	協 議 事 項
第 4 5 回	令和5年 3月7日	丹波市柏原町 丹波の森公苑 多目的ルーム	15名	[議事] ・事業の実施内容について ・施設利用の推進・情報発信について

丹波の森公苑運営委員会委員名簿

令和5年3月31日現在

区分	氏名	職名・所属団体等	備考
地域代表	赤井 俊子	英会話ELLALE主宰	
	大木 玲子	丹波市商工会 参事	
	角 悟	丹波文化団体協議会 会長	
	竹岡 郁子	里山ようちえんふえっこ 代表保育士	
	土性 里花	一般社団法人ウイズささやま 総務課長	
	戸田 幸典	丹波市市民活動支援センター スタッフ 特定非営利活動法人丹波ひとまち支援機構 代表理事	
	中道 知代子	丹波消費者団体連絡協議会 会長	
	藤田 光人	神戸新聞社 丹波総局長	
	松尾 俊和	篠山音楽協会 会長	
学識経験	相川 康子	特定非営利活動法人NPO政策研究所 専務理事	
	赤澤 宏樹	兵庫県立大学自然・環境科学研究所 教授	
	岡 絵理子	関西大学環境都市工学部 教授	
	河内 厚郎	文化プロデューサー	
	客野 尚志	関西学院大学総合政策学部 教授	
	清水 奈緒美	兵庫県広報専門員	
	端 信行	国立民族博物館 名誉館長	委員長
行政	柳瀬 長明	丹波県民局 副局長兼県民交流室長	
	竹見 聖司	丹波篠山市 企画総務部長	
	清水 徳幸	丹波市 ふるさと創造部長	

(氏名の記載は、50音順)

機能

丹波の森公苑は、「丹波の森構想」を推進するため、森（地域）づくりをはじめ、豊かな自然の中で、文化、スポーツ、レクリエーション活動が楽しめ、真の豊かさの実現に向けた「新しいライフスタイルの創造」と「参画と協働によるこころ豊かな美しい丹波づくり」をみんな（住民、事業者、行政）で推進する拠点として、住民の方々の多様なニーズに対応できる多彩な事業・取り組みを展開するとともに、誰もが使いやすく、親しみやすい施設として機能の充実を図っています。

■ 丹波の森公苑がめざすもの（役割・機能）

生活創造・地域づくりの広域拠点、相談・助言、情報収集・発信、学習機会提供・ネットワーク化支援
協働事業企画実施、活動支援機関の連携促進

1 研究員・アドバイザーなどが暮らしや活動を応援

■丹波の森研究所主任研究員、特任研究員	■森づくり活動アドバイザー
環境保全や人づくり、実践活動グループ等の取り組みに対し助言する等地域住民の調査研究活動を応援します。	親しめる森づくりや花いっぱい運動を支援し、緑豊かな丹波の森づくりを応援します。
■生活情報活動アドバイザー	■生活創造活動支援スタッフ
消費生活相談も含めた生活創造活動の相談、アドバイスなどを行い、地域住民の安全な暮らしを支援します。	地域の生活創造活動グループの情報発信や活動を支援します。
■展示・企画スタッフ	■芸術村スタッフ
展覧会の企画やギャラリー等での展示の機会を提供するなど、住民の芸術文化活動を応援します。	芸術を愛する人たちの創作活動を支援し、芸術家と住民との交流を進めます。
■地域活動コーディネーター（青少年本部職員）	
地域づくりの情報発信や相談、アドバイスなどを行い、様々な地域づくり活動を応援します。	

2 その他

- 会議室、ホール、多目的ルーム、アトリエ
- 展示ギャラリー、グループ活動コーナー、子ども室
- スポーツ施設（グラウンド、テニスコート）、里山、親水河川、芝生広場、駐車場

楽しみましょう～森遊び～

- 里山散策 四季折々の自然にふれながら、自然観察、バードウォッチング、ハイキングが楽しめます。
- お問合せ 丹波の森公園 1階 活動支援部 森づくり課 (0795-72-5165) まで

丹波の森公園 里山遊びマップ













丹波の森公園にすむ動物




さんさくの道 (Green line) かんさつの道 (Yellow line)
 さんぼの道 (Blue line) ながめの道 (Red line)

散策道には3カ所の毒獣防止のゲートがありますが、自由に入ることができます。適用後は必ずゲートを閉めてください。











森公園の昆虫

								
オグリモチ	アサギマダラ	コメツバ	カゲロウ	タマムシ	オニヤンマ	クワガタ	クワガタ	クワガタ
アゲハ	キアゲハ	ツマクロヒメチョウ	テングチョウ	コノハナシロガタ	アオカガヤ	ミヤマアゲハ	ニホンカゲロウ	クワガタ
クロアゲハ	ヒメアゲハ	アオスジアゲハ	ヒメシロチョウ	ベニシジミ	ミヤマカミキリ	クワガタ	クワガタ	クワガタ

危険な生き物

	
マムシ	オオスズメバチ

里山のおすすめ散策コース

「里山遊びマップ」を見ながら、里山散策に出かけましょう。
丹波の森公苑の里山には、レベルに合わせて歩けるよ
うな4種類のコースを用意しています。

さんさくの道 (だれでも向きコース)

A：三原池を回るコース (約10分)

※池には入らないように注意しましょう

三原池には、一年を通してマガモなどの水鳥が見られます。岸辺には抽水植物のガマが育ち、特定外来生物のウシガエルがすみ、大きなオタマジャクシも見られます。夏から秋にかけては水面にヒツジグサ(スイレン科)が白い花を咲かせ、秋には池の周りがスキで覆われます。

B：ドンダリの森から柏原住民センター方面を周遊するコース (約20分)

ドンダリの森には10種類のドンダリがあり、秋には多くの子どもたちが拾いにやってきます。このエリアにはミニ水田や小川があり、水辺の小動物がすんでいます。そして、かつて茅葺き屋根の材料となった、「オギ」「ヨシ(アシ)」「ススキ」などイネ科のよく似た3種類がそろうて見られます。

C：ツツジ・ササユリコース (約30分)

⑩→⑨→⑭→①

2つの倉庫の裏を通るコースです。ヤマザクラ、ウツミズザクラ、ガマズミ、コバノミツバツツジ、モチツツジ、ヤマツツジ、ササユリ、アベマキ(ドンダリ)、サルトリイバラ、ヤブコウジ(十苺)、フユイチゴなど、四季を通していろいろな草木を見ることができます。

さんぼの道 (約1時間)

①→②→③→④→⑤

入り口①からはゆるやかな上り坂。③の近くの池(三原池)には、スイレンの一種、ヒツジグサが浮かんでいます。花期は初夏から晩秋まで。花弁が10ほどの美しい白い花が水面に映る姿を楽しめます。水鳥の姿が見られるときも!

⑤→⑥→⑦→⑧

ゆっくりと下る道すがら、初夏にはヒノキ林の木漏れ日の中、桃色のタニウツギを見ることができます。また秋にはモミジやクスギの紅葉がきれいです。⑥～⑦周辺の谷川をわたる時はキイチゴにも注目。自然の甘酸っぱさを楽しめます。

⑧→⑭→⑨→⑩

なだらかな山道を下り、ふもとを目指します。春先にはヤマツツジ、モチツツジの群生が里山を彩り、初夏にはササユリの群生を見ることができます。

かんさつの道 (約2時間)

⑱→⑲→⑳→㉑→④→⑤→⑥

⑱から背の高いスギ、ヒノキの里山に入ります。この林は人が植林したものです。⑲の手前からは木の葉を踏む足音が変わったのに気づきましたか。コナラ、アベマキといった落葉樹の林に切り替わり、林中の明るさも変わってきます。鳥の声はどちらの方が多いでしょうか。⑤周辺にはホオノキがあり、大きい葉がたくさん落ちているのを見つけてみましょう。

⑥→⑱→⑲→⑳→㉑→⑤→⑥

展望台からの下り道はコバノミツバツツジでいっぱい。かつてヒノキを伐採したことからは今は明るい落葉樹の林に。⑱で下山口に出ます。

展望台→⑭→⑬→⑫→⑪→⑨→⑩

展望台からの下り道はコバノミツバツツジでいっぱい。かつてヒノキを伐採したことからは今は明るい落葉樹の林に。⑱で下山口に出ます。

ながめの道 (約4時間)

⑱→⑲→⑳ 西頂上

⑱から西頂上を目指します。⑲にゲートがあり、それを抜けて起伏が多い道を進みます。道は自然地形のまま、一人しか通れないほど狭く、岩場もあるので注意してください。⑲からは眼下に氷上盆地が広がる眺望が楽しめます。

㉒ 西頂上→㉓ 東頂上

道は山の尾根部にあり、なだらかです。眺望を楽しみながら歩きましょう。㉒の手前にはヤマザクラ、ヤシヤブシの大木を見つけられます。尾根の反対側の斜面は林相が異なり、背の低いアカマツが多く生えています。

㉓ 東頂上→⑱→⑲→⑳→⑩

東頂上からはとても急な下り道です。足下がとても滑りやすいので、設置してあるロープを伝って降りましょう。⑱には再びゲートがあり、ここを抜けると展望台です。その後は⑱～⑲→⑳となだらかな道を、脚をクールダウンさせながら下りましょう。

丹波の森公苑 里山の動植物

森公苑には、たくさんの木々や草花が生育し、動物が生息しています。四季折々に美しい花を咲かせたり、おいしい実をつけます。はなやかなチョウなども見られます。里山は私たちの心を癒してくれます。里山で自然とふれあいましょう。

春



シダレザクラ



カンサイタンポポ セイヨウタンポポ
花を包む萼(ほう)がセイヨウタンポポは反り返る

夏



ササユリ



秋



イチョウ



冬



フユイチゴ



野鳥



水辺の生き物



丹波の森公苑のドングリ

森公苑には、植えたものを含めて12種類のドングリがあります。いろいろな形や大きさのドングリを探しましょう。



(公財) 兵庫丹波の森協会の設立

1 設立趣旨

丹波地域の自然環境を守り育て、緑を基軸とした「人と自然と文化」の調和した丹波の森づくりを推進するため、以下の事業を実施する組織として設立されました。

- 1 自然環境の保全及び緑化の推進に関する事業
- 2 自然とのふれあいに関する事業
- 3 地域文化の保存・継承及び創造・育成に関する事業
- 4 丹波の森づくりの調査研究及び普及啓発に関する事業
- 5 丹波の森づくりを支援するための公の施設の管理運営及びこれに関する事業の受託
- 6 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 沿革

- ・昭和63年11月16日 丹波の森構想を地域住民の総意で推進するための組織として「丹波の森協会（任意団体）」が発足
- ・平成2年2月1日 兵庫県知事から「財団法人 丹波の森協会（公益法人）」の設立を認可
- ・平成8年4月1日 県立丹波の森公苑の管理運営を受託
- ・平成13年10月1日 兵庫県からささやまの森公園の事業を受託
- ・平成18年4月1日 財団法人 兵庫丹波の森協会に名称を変更
- 同 兵庫県から丹波の森公苑の指定管理者に指定
- 同 篠山市から、ささやまの森公園（園地管理を除く）の管理運営を受託
- ・平成21年4月1日 兵庫県から丹波の森公苑及び丹波年輪の里の指定管理者に指定
- ・平成23年4月1日 兵庫県から丹波並木道中央公園の指定管理者に（財）兵庫県園芸・公園協会とともに指定
- ・平成24年3月26日 兵庫県指令文第3114号-1により公益財団法人として認定
- ・平成24年4月1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会に名称変更
- 同 兵庫県から丹波の森公苑、丹波年輪の里及びささやまの森公園の指定管理者に指定
- ・平成27年4月1日 兵庫県から丹波の森公苑、丹波年輪の里及びささやまの森公園の指定管理者に指定
- ・平成28年4月1日 兵庫県から丹波並木道中央公園の指定管理者に（公財）兵庫県園芸・公園協会とともに指定
- ・平成30年4月1日 兵庫県から丹波の森公苑、丹波年輪の里及びささやまの森公園の指定管理者に指定
- ・令和3年4月1日 兵庫県から丹波の森公苑、丹波年輪の里及びささやまの森公園の指定管理者に指定
- 兵庫県から丹波並木道中央公園の指定管理者に（公財）兵庫県園芸・公園協会とともに指定

丹波の森公苑の設置

1 設置の趣旨

文化会館や生活科学センター、県民局で、それぞれ展開してきた文化や消費生活、地域づくりなどの活動を一体化し、機能を一層充実・発展させた生活創造センターの第1号として、また、県民が地域や世代を越えて、主体的に学習し、交流し、活動する全県的・基幹的野外CSR施設の第1号として設置された施設であり、各圏域の地域づくり活動の広域拠点として、身近な活動を支え、活動の進展を支援していくとともに、圏域全体で取り組むべき県民と行政の協働事業を企画・提案し、地域力や文化力豊かな地域づくりを推進していきます。

2 沿革

- ・平成 8年 4月 1日 兵庫県立丹波の森公苑の設置及び管理に関する条例（平成8年兵庫県条例第6号）により、氷上郡柏原町柏原5600番地に設置
兵庫県立丹波の森公苑の管理運営を財団法人丹波の森協会に委託
- ・平成 8年 4月29日 県立丹波の森公苑開園
- ・平成 9年 7月 6日 多目的グラウンド、テニスコート及びクラブハウスの供用開始
- ・平成18年 4月 1日 財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成18年度～平成20年度）
- ・平成20年 4月 1日 兵庫県立丹波の森公苑の設置及び管理に関する条例（平成8年兵庫県条例第6号）を廃止し、各生活創造センター及び拠点施設を兵庫県立生活創造センターの設置及び管理に関する条例（平成20年兵庫県条例第8号）により一本化
- ・平成21年 4月 1日 財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成21年度～平成23年度）
- ・平成24年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成24年度～平成26年度）
- ・平成27年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成27年度～平成29年度）
- ・平成30年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（平成30年度～令和2年度）
- ・令和 3年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波の森公苑の指定管理者となる
（令和3年度～令和5年度）

施設の概要

丹波の森公苑の概要

(1) 敷地面積 359,395.99㎡

(2) 建物面積 延5,953.74㎡

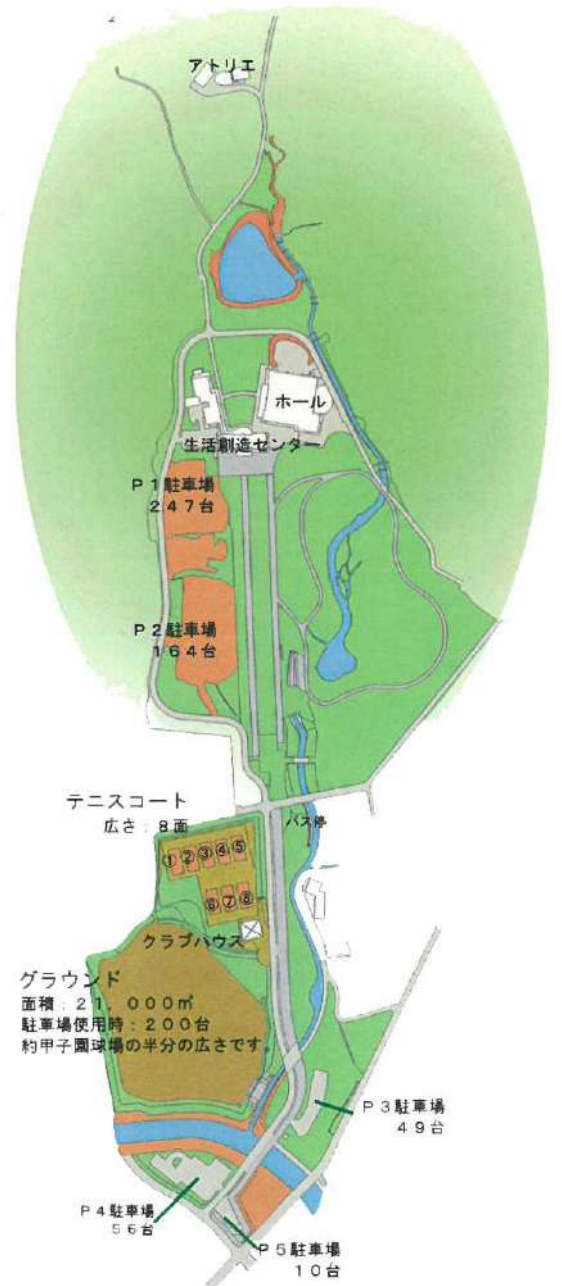
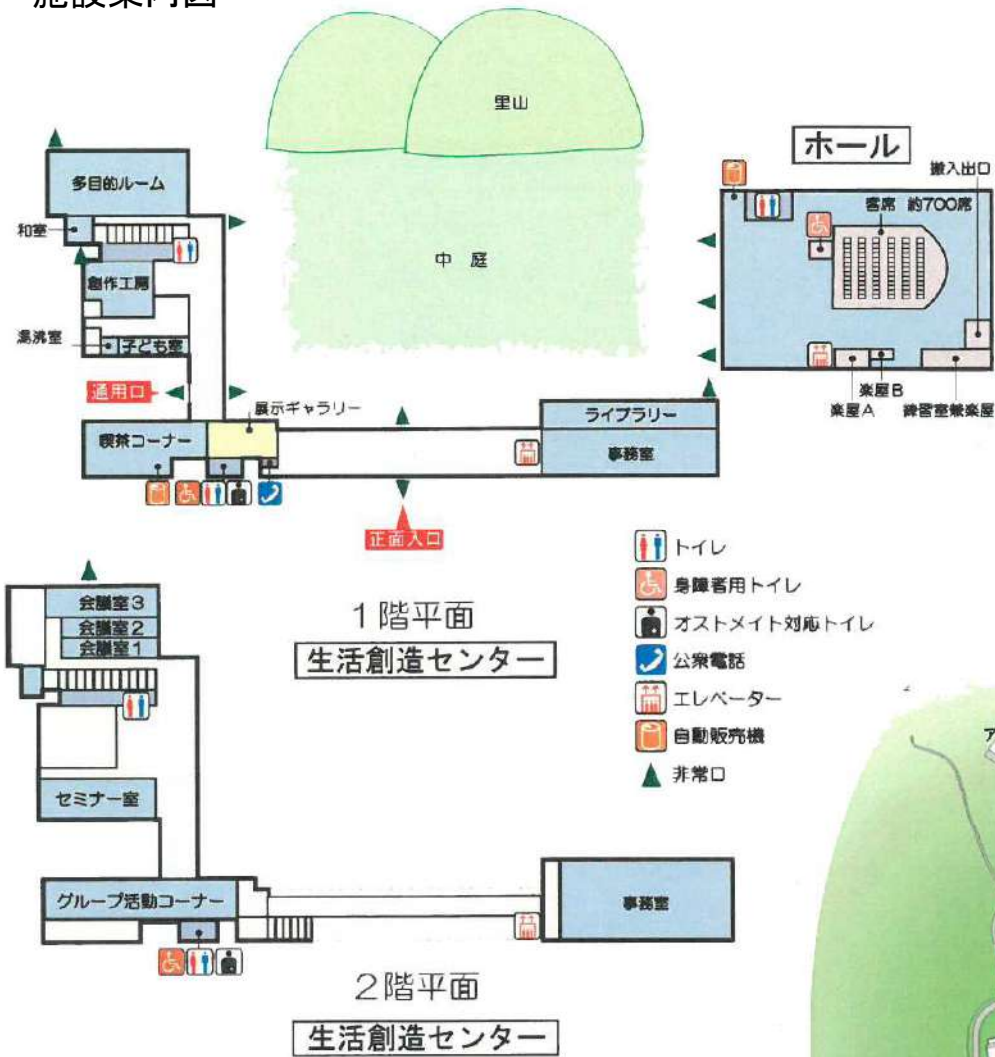
建物の内訳

名称	建物面積 (㎡)	内容
管理情報棟	1,069.33	事務室、展示ギャラリー、グループ活動コーナー
研修創作棟	1,142.36	多目的ルーム、創作工房、和室、セミナー室、会議室1、会議室2、会議室3
渡り廊下	53.28	
プロパン庫	5.16	
ホール	2,996.26	ホール（固定席685席、車椅子席10席、親子席10席（定員705名））、練習室兼楽屋、楽屋A、楽屋B等
小計	5,266.39	
アトリエ	210.28	絵画棟、彫刻棟
クラブハウス	252.00	更衣室、シャワー室、トイレ、会議室、事務室
倉庫棟	225.07	倉庫（6）
小計	687.35	
合計	5,953.74	

屋外施設

多目的グラウンド	21,000㎡
テニスコート	人工芝コート8面
その他	里山、散策路、主幹園路、親水河川、イベント広場、駐車場

施設案内図



利用者の推移

令和4年度の利用者数

施設使用料対応入苑者数 45,216人

推計入苑者数（参考） 86,430人

計	131,646人
---	----------

平成8年度から令和4年度までの累計

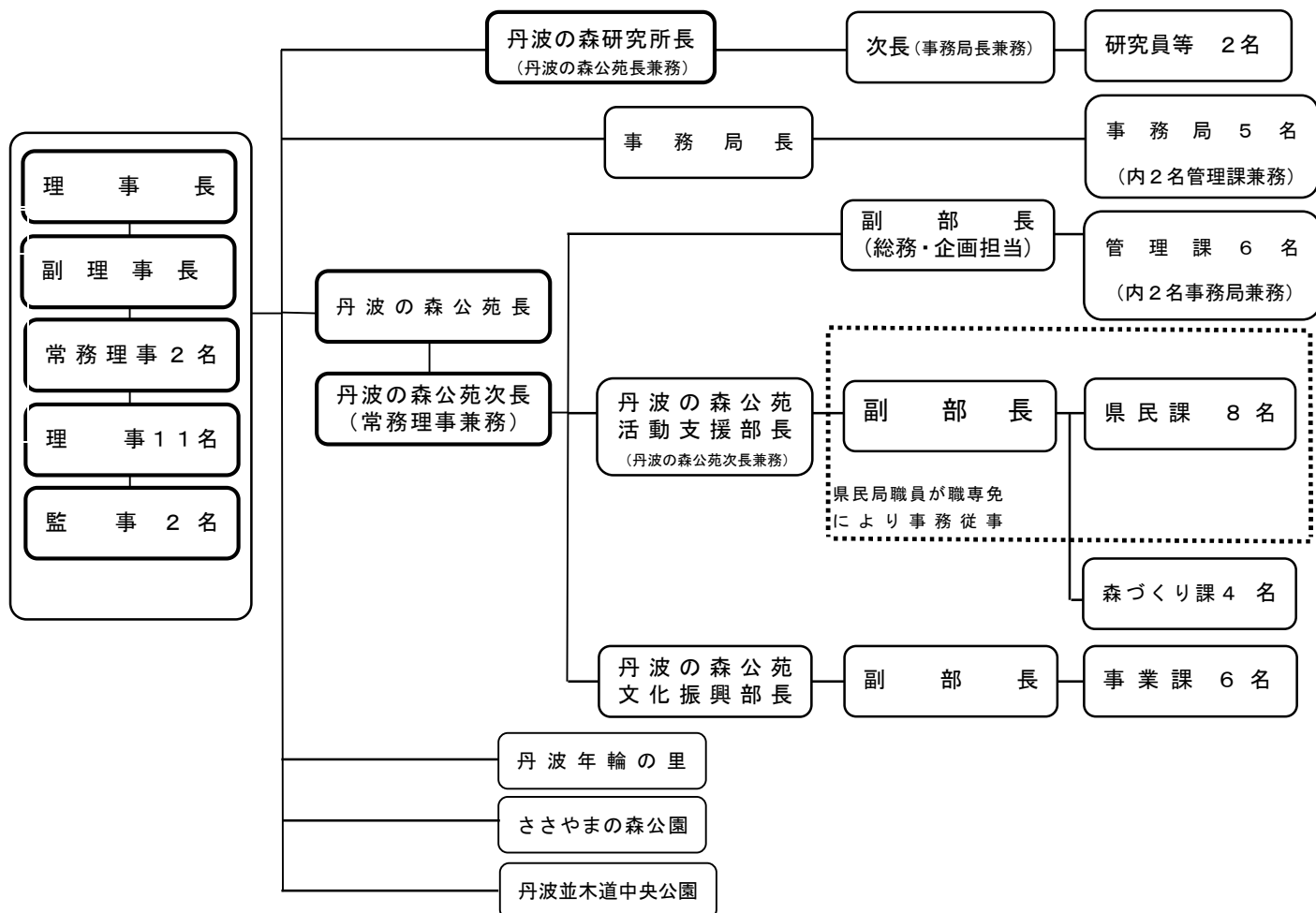
6,320,344人

組織と職員

令和5年3月31日現在

(1) 組織図

(公財) 兵庫丹波の森協会組織図 (太枠は役員)



(2) 職員数

(単位：人)

区分	事務職	小計	非常勤嘱託員等	小計	合計
丹波の森研究所			研究員 2	2	2
協会事務局	2	2	企画調査事務嘱託員 1	1	3
丹波の森公苑	10 【6】	10 【6】	生活情報活動アドバイザー 1 生活創造活動支援スタッフ 1 森づくり活動専門員 1 森づくり活動アドバイザー 2 芸術村スタッフ 1 展示・企画スタッフ 1 管理事務嘱託員 2 青少年愛護活動推進員 【1】 丹波青少年本部嘱託員 【2】	9 【3】	19 【9】

- 丹波の森公苑長及び同次長は役員が兼務
- 丹波の森研究所長は丹波の森公苑長が、丹波の森研究所次長は協会事務局長が兼務
- 事務職欄の【】書きは丹波県民局職員で外数
- 非常勤嘱託員等欄の【】書きは丹波県民局又は丹波青少年本部職員で外数

(3) 職員配置

[事務局]

事務局長	倉 剛史
事務局総務課長	(土肥副部長兼務)
事務嘱託員	荻野 朋子
事務嘱託員	谷口 加寿子
主 査	(小嶋主査兼務)
職 員	(渡邊職員兼務)

[丹波の森公苑]

公苑長	(角野理事兼務)
次 長	(芦田常務理事兼務)
活動支援部長	(芦田次長兼務)
文化振興部長	武部 治仁
副部長(総務企画担当)	土肥 健司
活動支援部副部長	土井 英樹
文化振興部副部長	中井 昌彦

管理課

課 長	(土肥副部長兼務)
主 査	小嶋 栄子
職 員	渡邊 茉央
職 員	(荻野事務嘱託員兼務)
職 員	(谷口事務嘱託員兼務)
管理事務嘱託員	吉田 正二
管理事務嘱託員	石井 和義

森づくり課

課 長	三浦 仁志
森づくり活動専門員	岸 和民
森づくり活動アドバイザー	藤本 利一
森づくり活動アドバイザー	角谷 慶治

[丹波出会いサポートセンター]

縁結びサポーター	西垣 奈緒子
----------	--------

丹波の森研究所

丹波の森研究所長	(角野公苑長兼務)
丹波の森研究所次長	(倉事務局長兼務)
主任研究員	門上 保雄
特任研究員	上甫木 昭春

活動支援部県民課

課 長	(土井副部長兼務)
青少年指導専門員	芦田 由紀子
主 任	和田 成史
職 員	井上 翔太
職 員	佐藤 美奈
職 員	福富 ひかり
生活情報活動アドバイザー	西山 和
生活創造活動支援スタッフ	岸本 美鈴
青少年愛護活動推進員	小島 康永

文化振興部事業課

課 長	(中井副部長兼務)
森づくり活動専門員(文化担当)	田畑 吉三
森づくり活動専門員(文化担当)	山本 喜美雄
森づくり活動専門員(文化担当)	中村 基生
森づくり活動専門員(文化担当)	石田 篤志
展示・企画スタッフ	河津 知佳
芸術村スタッフ	酒井 寿男

[丹波県民局]

たんば暮らし参事	足立 正道
地域再生専門官	北田 智弘
地域振興専門員	山内 一郎

[丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会]

事務局職員	久下 亮介
-------	-------

[丹波青少年本部]

地域活動コーディネーター	吉見 恵
--------------	------

丹波年輪の里

- ・ 活動一覧
- ・ 施設利用一覧
- ・ 運営協議会運営委員及び関係者名簿
- ・ 沿革
- ・ 施設の概要
- ・ 組織と職員

令和4年4月1日～令和5年3月31日

工作事業活動

事業名	実施日	内 容	参加者(人)
(1) 木工指導員による 工作	通年	団体利用	1, 145
	通年	個人利用	2, 369
① 1年を通して開催する教室			
手仕事道具塾	月2回	手道具の購入し扱い方をサポート	252
Teshigoto work shop	月2回	手道具を通してものづくりに挑戦	123
焼きペン教室	月2回	焼きペンを使って「ウッドバーニング」を楽しむ教室	183
② その都度募集して実施する教室			
「私が作る」シリーズ	6月11日、18日	スプーン教室	20
	8月18日、20日	ペーパーナイフ	9
	11月10日、17日、24日	こイス	24
	12月 8日、15日、22日	ドールハウス	15
ウッドライフ教室 木工教室	4月 9日、16日、23日、 5月14日、21日、28日	オーバルボックス	48
	6月 9日、16日、23日	オーバルキャリー	27
	12月10日、17日、24日	オーバルスイングハンドルBOX	30
	令和5年 2月16日、23日、 令和5年 3月 2日、9日	プサルテリー焼きペン教室	20
	令和5年3月16日	セロテープカッター・ミニ	7
「youR」シリーズ	5月22日、29日	ティッシュケースをつくる 1st	20
	令和5年2月 4日、11日、18日	ティッシュケースをつくる 2nd	24
	令和5年3月 4日、11日、18日、25日	マルチケースをつくる	28
糸のこ教室	4月17日	鯉のぼり	5
	12月 3日	クリスマスオーナメント	4
	12月26日	ひな人形	5
木工講座	4月～ 5月	第23期 基礎 クラフトスツール	64
	令和5年2月～ 3月	第11期 中級 4段小袖出し	64
	令和5年1月～ 2月	第24期 基礎 クラフトスツール	32
夏休み親子工作教室	7月30日	万華鏡	10組
	8月11日	ハンペルマンをつくろう	8組
木工クラブ	24回	趣味で集まったグループに工作指導を行う	142
クリスマスリース教室	11月27日	自然の植物の蔓や松ぼっくり、葉っぱなどを使ってクリスマスリースを親子で作る。	18
GW 親子教室	5月 1日	なかよしロボット	26
杓文字・スプーン作り	4月 3日、15日、 5月15日 7月 9日、21日 9月 4日、15日、25日	キハダの杓文字、スプーン作り	60
刀研ぎ學	10月 2日、12月 4日 令和5年2月 5日		

展示・イベント事業

事業名	実施日	内 容	参加者（人）
【ウッドクラフト展】			
第34回 丹波の森ウッドクラフト展 (木のおもちゃ大賞展) (一般の部)	9月10日～ 9月25日	「遊び、戯れ、木のぬくもり」をテーマに、全国公募し、審査、優秀作を表彰、入賞作品・出展作品すべて展示	見学者 1,188人
同 上 (ジュニア部門)	10月15日～ 10月30日	県下を中心に全国の高校生以下の生徒作品を公募、審査、優秀作を表彰し、応募全作品を展示	見学者 1,185人
丹波の森ウッドクラフト展 歴代グランプリ作品展示 木のおもちゃ展示館	通 年	丹波の森ウッドクラフト展の歴代のグランプリ作品を展示紹介	
【木に関する展示】			
木材利用啓発展示	通 年	県民に木材利用を啓発するため、分かりやすい工夫をしたパネルを展示	—
身近な木製品展示	通 年	・木のある暮らしに欠かせない木工品の展示 ・県産木材玩具（ヒノキの積み木）の展示と遊びコーナーの設置	—
木のなんでも市・木珠あそび 木のおもちゃ（ビー玉）遊び	通 年	木の普及振興事業として、丹波の木材製材関係の業者の協力のもと、県民を対象に木材、端材などの展示販売	—
【文化関連・その他の展示】			
第6回こころを届けるたんば 絵てがみコンクール	令和5年 2月4日～19日	絵手紙作品の公募と作品展示 テーマ「希望」	出展 398人 487点 見学 933人
年輪の里フリーマーケット	5月1日（中止）	フリマ出店者を募集、日用雑貨、衣類等のリサイクル市	—
丹波ウッドワーカーズクラフト	4月29日～30日	木工作家の作品展示と販売	—
アート・クラフトフェスティ バル in たんば2022	11月5日～ 11月6日	全国のアートやクラフトに取り組む人たちの自由な作品を苑内芝生広場で展示をおこない、地域をはじめ来苑者との交流を図った。	入場者 17,000人 出展 157件

その他

丹波年輪の里友の会 *入会金1,000円 *年会費2,000円	通 年	会員には24回の利用特典と、毎月「友の会おしらせ」等情報の提供、刃研ぎ塾などの参加を通して施設利用の促進と技術の向上と相互の交流を図る。	延べ838人
---------------------------------------	-----	--	--------

令和4年4月1日～令和5年3月31日

競技大会等

事業名	実施日	内 容	参加者（人）
丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会	6月 7日	グラウンドゴルフ愛好者による大会	173
	9月 6日		141
	12月 6日		177
	令和5年3月7日		172
平日グラウンドゴルフ	通年 平日	グラウンドゴルフ愛好者による利用	2,965

サークル教室活動

事業名	実施日	内 容
バードカービング教室	毎月第1・3土曜 10:00～16:00	木彫りの野鳥を作ります。
絵画教室 学美隊	毎月第2・4土曜 小学生 9:30～11:30 中・高校生・一般 13:00～16:30	子供は主に鉛筆、色鉛筆、クレヨン、水彩、墨汁、ポスターカラーでの絵画指導です。 大人は水彩画が中心です。
絵画サークル	毎月第1・3木曜 10:00～16:00	絵を描くことが大好きな仲間のサークル
日本画教室	毎月第1・2・4火曜 13:30～16:30	水彩画・はがき絵から日本画まで初心者から。
パープル【絵画】	毎月第2土曜 10:00～16:00	絵画が好きな仲間のサークル
絵手紙教室	毎月1回 10:00～16:00	和紙に書く絵手紙教室

丹波年輪の里運営協議会運営委員及び関係者名簿

令和5年3月31日現在

	氏 名	職 名
1. 運営委員（敬称略）		
会 長	角 野 幸 博	丹波の森公苑 公苑長
会長代理	林 時 彦	丹波市長
委 員	今 井 良 弘	丹波県民局長
委 員	片 山 則 昭	丹波市教育長
委 員	高 見 豊	（有）ウッドワーク丹波顧問
委 員	後 藤 和 敏	丹波市商工会事務局長
委 員	柳 川 拓 三	丹波市観光協会会長
委 員	藤 田 光 人	神戸新聞社 丹波総局長
委 員	能 口 秀 一	丹波市木材林産協同組合理事長
委 員	戸 田 政 宏	兵庫県木材業協同組合連合会専務理事
委 員	井 上 秀 子	利用者代表（工作室利用者）
委 員	進 藤 妙 子	利用者代表（アトリエ棟利用者）
2. 県関係者		
委 員	入 江 浩 子	兵庫県産業労働部労政福祉課長
3. （公財）兵庫丹波の森協会 丹波年輪の里		
	大 垣 至 康	（公財）兵庫丹波の森協会常務理事
	川 中 啓 敬	丹波年輪の里館長
	村 上 佳 邦	部長兼管理課長
	田 野 和 昭	林産指導専門員

沿革

丹波年輪の里の設置

1 設置目的

木とのふれあいの中で、勤労青少年の文化活動、スポーツ活動およびレクリエーション活動を促進し、あわせて勤労者をはじめ広く県民に憩いの広場を提供するとともに、林産振興に寄与することを目的とする。

2 沿革

昭和63年	4月	丹波年輪の里竣工式典を挙行
	4月	常陸宮ご夫妻ご来苑
	4月17日～11月6日	「21世紀をになう青少年祭」開催 ※ホロンピア'88「北摂丹波の祭典」のイベントとして開催
	4月	ウイーン市公園局長パウエル・シーラー氏来苑
	8月	入苑者10万人達成
	10月	「第1回全国ウッドクラフト公募展」開催 ※第3回国民文化祭ひょうご'88の事業として開催 ※現在も継続して開催
平成 元年	10月	旧ソ連ノバロフスク地方友好代表団来苑 「子供楽園」を寄贈
	12月	「子供楽園」完成
平成 2年	8月	子どもクラフトデーの開催
平成 3年	10月	旧ソ連ノバロフスク地方友好代表団来苑
平成 4年	3月	ソーラー時計完成
	5月	開苑5周年記念 ツインツリーの植樹（クロガネモチ）
	9月	「第1回クラフトフェスティバル IN たんば'92」開催 ※平成7年「アート・クラフトフェスティバル IN たんば」に改称 ※現在も継続して開催
	10月	入苑者100万人を突破
平成 5年	4月	アトリエ102-3展
	11月	森林文化祭国民会議等参加者来苑（ウイーン市13区 ハイイツ・ゲルトバッハ区長ほか20人）
平成 6年	3月	全国竹とんぼ競技大会 in たんば開催
平成 8年	8月	全国産直住宅展開催
平成 9年	5月	入苑者200万人を突破
	10月	開苑10周年記念 第10回全国ウッドクラフト公募展開催 同 記念巡回展開催 11月東京会場 12月神戸会場 1月愛知春日井会場 1月丹波の森公苑
平成10年	5月	第1回 木木市（もくもくいち）開催 ※現在も継続して開催
平成11年	7月	第1回 コパ・カイバラ少年サッカー大会開催 ※現在も継続して開催

平成11年11月	ひょうご勤労者Vネット丹波コーディネートセンター設置（事務所） ※平成14年3月閉鎖
平成12年 6月	CSR 丹波支部事務所再設置
平成13年 3月	ざいもくやさんのフェスティバル開催
	8月 入苑者300万人を突破
平成14年 4月	開苑15周年・春のフェスティバル開催
平成15年 8月	第10回記念 竹とんぼ競技大会開催
平成16年 7月	イベント広場照明設備の改修
平成17年 3月	「子ども娯楽園」の解体撤去
	4月 「ハバロフスクの館」開館（アトリエB棟改修）
	11月 入苑者400万人を突破
平成18年 4月	芝生広場 グラウンドゴルフ開業（水、木、金曜の平日のみ）
	11月 第1回丹波年輪の里杯グラウンドゴルフ大会開催 ※現在も継続して開催
平成19年12月	丹波の森ウッドクラフト展 第20回記念 特別展「恐竜の世界（集まれ丹波恐竜）」開催
平成21年 4月	指定管理者（財）兵庫丹波の森協会に移管
平成22年 6月	入苑者500万人を突破
平成23年 5月3日～5日	ゴールデンウィークフェスタ開催 ※現在も継続して開催 丹波木づくり手づくり市開催 ※平成27年ウッドワーカーズクラフトに改称 ※現在も継続して開催
平成24年 4月	公益財団法人兵庫丹波の森協会が丹波年輪の里指定管理者となる。 （～平成26年度）
	4月 第1回 座っ展—丹波でうまれた木の椅子—開催 ※現在も継続して開催
	5月 第1回 大丹波木づくり市手づくり市開催
平成27年 3月	大改修整備工事実施完了 クラフト館外壁大壁を改修、照明LED化、空調設備更新、工作機械自動鉋盤、 手押し鉋盤更新、木の館消防非常用ポンプ更新、レストラン棟前池整備
平成27年 4月	公益財団法人兵庫丹波の森協会が、丹波年輪の里の指定管理者となる。 （～平成29年度）
平成28年 7月	入苑者600万人を突破
平成30年2月3日～18日	第1回こころを届けるたんば絵てがみコンクール開催
平成30年 4月	公益財団法人兵庫丹波の森協会が、丹波年輪の里の指定管理者となる。 （～令和2年度）
令和 2年 4月	新型コロナウイルス感染症がまん延し、緊急事態宣言発出による休館措置を行う。 感染症拡防止のため、アートクラフトフェスティバルやウッドクラフト展等様々なイベントが中止となる。
令和 3年 4月	公益財団法人兵庫丹波の森協会が、丹波年輪の里の指定管理者となる。 （～令和5年度）
令和 4年 4月	旧ハバロフスク館を丹波の森ウッドクラフト展歴代グランプリ作品を展示した「木のおもちゃ展示館」がオープン
	10月 入苑者700万人を突破

施設の概要

丹波年輪の里の概要

(1) 建物の内訳

名 称	建築面積 (㎡)	内 容
クラフト館	524.88	工作室A・工作室B・木工機械室・研修室B・図書室・休養室・業務課・受付
木の館	654.48	研修室A・会議室・多目的ホール・図書資料室・管理課・林産指導課事務室・倉庫
アトリエA	1棟 64.80	2棟 2階建 1階 洋室32㎡・16㎡ 2階 和室20㎡
アトリエB		
CSR事務所	38.88	CSR 丹波支部 事務室
木のおもちゃ展示館	38.88	丹波の森ウッドクラフト展歴代グランプリ作品を展示
レストラン	219.51	約60席 ・営業は業者：喫茶軽食 9時～21時

(2) 屋外施設

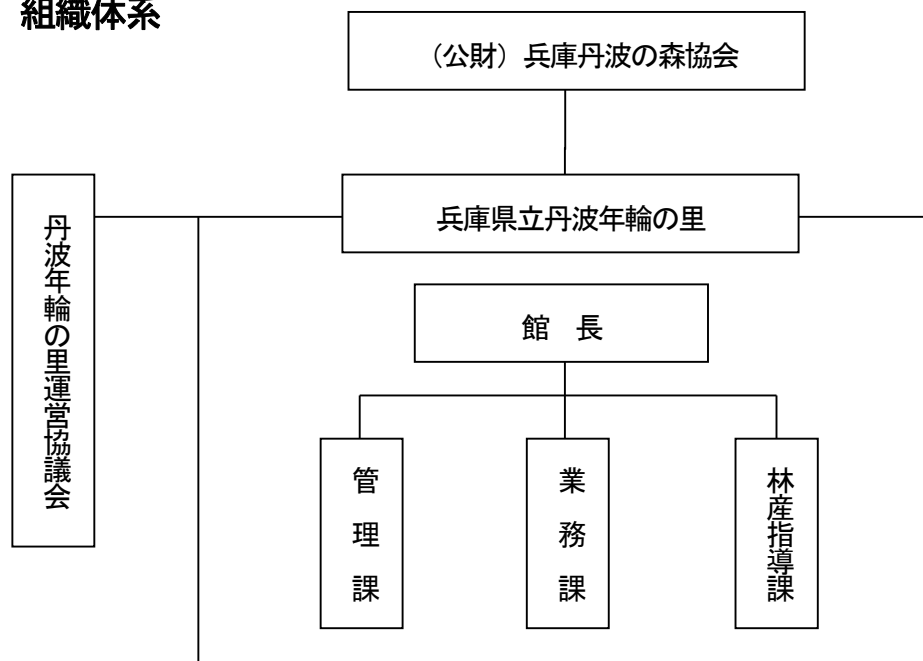
イベント広場	夜間照明設備（照明度平均200ルクス）約80m×約80m
クラフト広場	屋外作業用工作台4台
わんぱく広場	砂場約20㎡、芝生広場、空中回廊・すべり台等
芝生広場	約10,000㎡の芝生広場とその中央に小川と修景池がある。
丹波県民の森	丹波地域旧10町の町木（松、ケヤキ、栗、クヌギ、コナラ）などを植栽した森
駐車場	大型バス7台・普通車135台・身障用5台

「丹波年輪の里」クラフト創造遊苑



組織と職員

(1) 組織体系



(令和5年3月31日現在)

(2) 職員

役 職	氏 名
館長	川 中 啓 敬
部長兼管理課長	村 上 佳 邦
管理課職員	蘆 田 玉 代
同上	伊 福 嘉 彦
同上	足 立 文 代
同上	小 森 保 彦
同上	高 見 貴 子
業務課長	館 長 兼 務
業務課工作指導員	西 禎 恒
同上	小 泉 匡
同上	浦 川 俊太郎
同上	大 森 恵
業務課職員	土 田 陽 子
同上	新 地 佳代子
林産指導課課長	館 長 兼 務
林産指導専門員	田 野 和 昭
林産指導事務員	吉 田 武 史

ささやまの森公園

- ・ 活動・施設利用一覧
- ・ 運営協議会の開催状況
- ・ 運営協議会運営委員名簿
- ・ 機能
- ・ 沿革
- ・ 施設の概要
- ・ 組織と職員

活動・施設利用一覧

ささやまの森公園

令和4年4月1日～令和5年3月31日

月 日	主 な 事 項	参加者
令和4年4月		
3日	里山復元班、レクリエーション班会議	3
	プログラム「稲作体験」	22
5日	自然再発見の会	1
6日	愛染めの会	8
7日	開園20周年記念物部会	4
15日	プログラム「草木で染めよう～藍～パート①」	12
	プログラム「草木で染めよう～藍～パート②」	10
17日	里山体験班、伝承班会議	4
19日	自然再発見の会	1
20日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	5
	草木染め同好会	11
	開園20周年記念物部会	3
23日	「里山の日」特別企画「バードウォッチング」	19
	自然学習班会議	5
	開園20周年スタッフ交流会検討会	5
24日	開園20周年記念誌部会	2
27日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	11
	兵庫県立篠山東雲高校	96
30日	プログラム「稲作体験」	22
5月		
1日	開園20周年記念事業実行委員会	9
	活動スタッフリーダー会	5
7日	森の学校	21
	あらし班	4
8日	活動スタッフ総会	26
	開園20周年記念物部会	2
10日	自然再発見の会	1
11日	開園20周年記念物部会	2
13日	プログラム「草木で染めよう～藍の抜染～パート①」	10
	プログラム「草木で染めよう～藍の抜染～パート②」	8
14日	「里山の日」特別企画「春の野草観察」	14
	プログラム「稲作体験」	22
18日	草木染め同好会	6
	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	12
19日	まつたけ施業	2
	開園20周年記念物部会	3

月 日	主 な 事 項	参加者	
5月	21日	プログラム「多肉植物の寄せ植え パート①」	11
		プログラム「多肉植物の寄せ植え パート②」	12
		丹波自然友の会	22
	22日	ママヨガ	8
	24日	自然再発見の会	1
	26日	開園20周年記念物部会	1
	28日	開園20周年記念物部会	2
	29日	プログラム「陶芸を楽しもう」	9
		あらし班	4
6月	1日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	12
		愛染めの会	6
		開園20周年記念物部会	2
	4日	森の学校	22
	7日	トライやる・ウィーク受け入れ	7
		自然再発見の会	2
	8日	トライやる・ウィーク受け入れ	6
		兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	10
	9日	トライやる・ウィーク受け入れ	6
	10日	トライやる・ウィーク受け入れ	6
	11日	トライやる・ウィーク受け入れ	7
		プログラム「モリアオガエルとホタルを観よう」	21
	12日	プログラム「ちまきを作ろう」	15
		プログラム「ツリーイング～木登り体験～パート①」	7
		プログラム「ツリーイング～木登り体験～パート②」	5
	14日	あらし班	5
	15日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	7
	16日	マツタケ施業	2
	17日	プログラム「草木で染めよう ～クズ～」	11
	18日	プログラム「草木で染めよう ～クズ～」	11
	19日	プログラム「ベンチを作ろう」	13
	21日	自然再発見の会	1
	22日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	10
	23日	丹波篠山市立岡野幼稚園 園内散策	13
	25日	プログラム「黒豆を栽培しよう」	14
		プログラム「森にすむカエルを見つけよう」	19
		開園20周年記念物部会	2
	自然学習班会議	5	
26日	プログラム「布ぞうりを作ろう」	9	
29日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	8	
30日	開園20周年記念物部会	4	

月 日	主 な 事 項	参加者
7月		
2日	森の学校	21
	プログラム「3種類のホタルを観よう」	23
3日	「夏の特別企画」木エクラフト	5
6日	愛染めの会	4
10日	「夏の特別企画」ウッドバーニング	14
	プログラム「みつろうラップを作ろう パート①」	11
	プログラム「みつろうラップを作ろう パート②」	9
	里山体験班、伝承班会議	4
	あらし班	5
12日	富山こども園 園外保育	16
13日	富山こども園 園外保育	21
14日	丹波篠山市立岡野幼稚園 「シャツの藍染め体験	16
15日	丹波篠山市保健福祉部社会福祉課 森のようちえん	16
16日	プログラム「黒豆を栽培しよう」	13
17日	「夏の特別企画」 木エクラフト	20
	開園20周年記念式典部会	5
	里山復元、レクリエーション班会議	5
18日	開園20周年記念誌部会	2
20日	老人クラブ丹南支部 園内散策	40
	草木染め同好会	5
21日	マツタケ施業班	3
22日	プログラム「草木で染めよう～型染～」	11
23日	プログラム「草木で染めよう～型染～」	11
	開園20周年記念物部会	2
24日	「夏の特別企画」 ウッドバーニング	12
	プログラム「マイ箸を作ろう パート①」	9
	プログラム「マイ箸を作ろう パート②」	9
26日	開園20周年記念物部会	5
30日	プログラム「森の時計作り」	11
31日	プログラム「セミのぬけがらを探そう」	15
	プログラム「ささやまの森探検隊」	22
8月		
6日	プログラム「アマゴのつかみ取りをしよう」	25
	森の学校	20
	あらし班	5
7日	森の学校	20
	夏の特別企画「木エクラフト」	23
	活動スタッフリーダー会	9
	開園20周年記念事業実行委員会	8
10日	開園20周年記念物部会	4
13日	開園20周年記念物部会	2
	プログラム「水辺のいきものを探そう」	17

月 日	主 な 事 項	参加者
20日	プログラム「親子で楽しむ工作～モビールづくり～」	9
	プログラム「里山伝承～黒豆を栽培しよう～」	10
21日	プログラム「草木で染めよう～藍の生葉～」パート①	11
	プログラム「草木で染めよう～藍の生葉～」パート②	9
	夏の特別企画「木エクラフト」	10
	福住地区まちづくり協議会	12
	開園20周年記念物部会	1
24日	開園20周年記念物部会	5
27日	プログラム「そば道場シリーズ」	12
28日	夏の特別企画「ウッドバーニング」	13
9月		
3日	プログラム「親子で薪割り体験」	30
4日	夏の特別企画「木エクラフト」	23
	開園20周年記念誌部会	2
	あらし班	2
6日	自然再発見の会	1
7日	愛染めの会	5
	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	8
10日	開園20周年記念物部会	1
11日	夏の特別企画「ウッドバーニング」	3
14日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	9
	開園20周年記念物部会	3
15日	マツタケ施業	2
16日	プログラム「草木で染めよう～クルミ～」	11
17日	プログラム「草木で染めよう～クルミ～」	12
18日	プログラム「マイスツールを作ろう」	12
	夏の特別企画「木エクラフト」	8
21日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	10
	丹波篠山市立八上幼稚園 園内散策	37
	草木染め同好会	3
22日	開園20周年記念物部会	4
24日	夏の特別企画「ウッドバーニング」	8
	開園20周年記念物部会	1
	開園20周年記念誌部会	2
25日	プログラム「布ぞうりを作ろう」	8
	プログラム「稲作体験」	21
27日	丹波篠山市保健福祉部社会福祉課	23
28日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	9
10月		
1日	森の学校	18
	プログラム「秋の花と実を楽しもう」	7
2日	自然学習班会議	2
	開園20周年記念物部会	1

月 日	主 な 事 項	参加者
2日	開園20周年記念事業実行委員会	9
	あらし班	4
4日	自然再発見の会	1
5日	愛染めの会	8
6日	開園20周年記念物部会	5
7日	プログラム「草木で染めよう」パート①	10
	プログラム「草木で染めよう」パート②	9
9日	秋の特別企画 みつろうラップ作り・テラリウム作り	24
10日	秋の特別企画 みつろうラップ作り・テラリウム作り	25
	開園20周年記念物部会	4
	里山体験・伝承班会議	3
14日	プログラム「草木で染めよう」パート①	11
	プログラム「草木で染めよう」パート②	8
	開園20周年記念物部会	4
15日	プログラム「陶芸を楽しもう」	10
16日	プログラム「稲作体験」	15
19日	草木染め同好会	5
20日	マツタケ施業	2
21日	開園20周年記念物部会	4
	丹波篠山市保健福祉部社会福祉課	25
22日	プログラム「黒豆を栽培しよう」	12
	開園20周年記念式典実行委員会	6
23日	プログラム「ダッチオープン料理をしよう」	19
26日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	8
27日	マツタケ施業	2
29日	プログラム「そば道場シリーズ」	12
	開園20周年記念物部会	2
30日	丹波の森フェスティバル出店	4
11月		
1日	開園20周年記念物部会	3
3日	活動スタッフリーダー会	5
6日	公園開園20周年記念式典	30
12日	森の学校	17
	プログラム「陶芸を楽しもう」	7
16日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	10
	草木染め同好会	6
17日	マツタケ施業	1
18日	プログラム「草木で染めよ」	10
19日	プログラム「草木で染めよ」	10
	プログラム「シイタケづくり」	13
	丹波県民局	6
21日	「水源の森たんばささやま森開き」	50
26日	プログラム「そば道場シリーズ」	12
27日	プログラム「チーズとピザづくり」	16

月 日	主 な 事 項	参加者
29日	丹波篠山市立自然学校B連合	47
30日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	11
12月		
3日	森の学校	18
4日	プログラム「バードウォッチング」	13
	プログラム「コケ玉作り」	12
10日	プログラム「黒豆を栽培しよう」	11
	あらし班	6
	福住地区まちづくり協議会	15
11日	プログラム「黒豆豆腐を作ろう」パート①	13
	プログラム「黒豆豆腐を作ろう」パート②	14
17日	プログラム「そば道場シリーズ」	11
18日	プログラム「しめ縄を作ろう」	12
24日	プログラム「ミニ門松作り」	11
25日	正月飾り作り	4
令和5年1月		
7日	森の学校	17
11日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	10
14日	プログラム「とんど祭&もちつき大会」	16
	里山復元・レクリエーション班会議	5
15日	プログラム「こんにやくを作ろう」パート①	15
	プログラム「こんにやくを作ろう」パート②	12
	里山体験・里山伝承班	5
18日	兵庫県立篠山東雲高校里山文化授業	9
24日	兵庫県立篠山東雲高校インターンシップ	1
25日	兵庫県立篠山東雲高校インターンシップ	1
26日	兵庫県立篠山東雲高校インターンシップ	1
27日	兵庫県立篠山東雲高校インターンシップ	1
28日	兵庫県立篠山東雲高校インターンシップ	1
2月		
4日	森の学校	19
5日	活動スタッフリーダー会	2
9日	NPO 法人里地里山問題研究所	3
10日	NPO 法人里地里山問題研究所	4
11日	NPO 法人里地里山問題研究所	15
12日	プログラム「冬の生きもの探し」	12
	プログラム「チェンソー安全教室」	11
18日	プログラム「黒豆のお味噌を作ろう」	14
19日	プログラム「黒豆のお味噌を作ろう」	14
25日	あらし班	6
26日	プログラム「竹でスピーカーを作ろう」	6

月 日	主 な 事 項	参加者
3月		
1日	愛染めの会	6
3日	NPO 法人里地里山問題研究所	1
4日	森の学校	19
	プログラム「シイタケづくり」	12
5日	NPO 法人里地里山問題研究所	30
11日	プログラム「早春の生きもの探し」	15
12日	プログラム「布スリッパを作ろう」	9
14日	丹波篠山市立多紀小学校3年生	24
15日	草木染め同好会	4
16日	ささやまの森公園運営協議会総会	14
17日	プログラム「草木で染めよう～ネコヤナギ～」	11
18日	プログラム「草木で染めよう～ネコヤナギ～」	8
	プログラム「モルックの用具を作ろう」	25
19日	プログラム「布ぞうりを作ろう」	9

ささやまの森公園運営協議会の開催状況

運営協議会の開催状況

区 分	開 催 日	開 催 地	出席者数	協 議 事 項
第1回	令和5年 3月16日	ささやまの森公園	14名	令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について

ささやまの森公園運営協議会委員名簿

令和5年3月31日現在

	氏名	職名・所属等
顧問		
会長	樋口 清一	元ささやまの森公園長
副会長	井口 剛	元ささやまの森公園長
副会長	田井 彰人	活動スタッフリーダー
	笠井 健生	地元福住地区自治会長会会長
	鈴木 武	兵庫県立大学助教、兵庫県立人と自然の博物館研究員
	丹後 政俊	丹波篠山市教育長
	梶村 徳全	兵庫県立丹波並木道中央公園管理事務所長
	臼井 和彦	兵庫県立篠山東雲高等学校長
	川崎 直哉	丹波篠山市立岡野小学校教諭
	新藤 力	地元大字福住地区総代
	杉田 和博	地元川原地区自治会長
	谷口 次男	篠山自然の会
	金川 文雄	丹波自然友の会
	脇塚 陸	ひょうご森のインストラクター、活動スタッフ
	杉田 弘治	地元活動協力者
	森田 悟	地元活動協力者
	岡田 照代	活動スタッフリーダー

機能

体験プログラム・イベントのご案内

丹波篠山は、自然豊かな森に囲まれています。里人たちは「里山」と呼ばれる森を利用して生活してきました。農家の裏山にあたる里山は、村人たちが長い間暮らしと共に育んできたすばらしい環境です。美しい水と森に生まれ、草花や動物たちが生息し、四季それぞれの表情を見せています。身近な動物やホタル、カブトムシなど子供達の大好きな昆虫、春・秋の七草をはじめ、街で見かけなくなった生き物とも出会うことができます。ささやまの森公園は暮らしと共に育んできた里山環境をみんなで理解し、山の幸を味わい、里山文化を伝承し、森の環境そのものを皆で楽しみながら、人と共生できる自然の営みや私達の暮らしのあり方を考える場として整備しています。ボランティアの活動スタッフとともに多彩なプログラムやイベントを展開し、世代や地域を越えた交流を通して、豊かな丹波の里山づくりを目指しています。

■基本プログラム

里山体験	草木染め、多肉植物の寄せ植え、布ぞうりを作ろう、みつろうラップを作ろう、マイ箸を作ろう、ダッチオープン料理をしよう、しめ縄を作ろう、布スリッパを作ろう
里山伝承	ちまきを作ろう、里山伝承（黒豆を栽培しよう）、そば道場シリーズ、黒豆豆腐を作ろう、こんにやくを作ろう、黒豆のお味噌を作ろう
自然学習	バードウォッチング、春の野草観察、モリアオガエルとホタルを観よう、森にすむカエルを見つけよう、3種類のホタルを観よう、セミのぬけがらを探そう、水辺の生きものを探そう、秋の花と実を楽しもう、冬の生き物探し、早春の生きもの探し
レクリエーション	陶芸を楽しもう、木登り体験～ツリーイング～、ささやまの森探検隊、アマゴのつかみ取りをしよう、親子で楽しむ工作～モビールづくり～、チーズとピザづくり、コケ玉作り、とんど祭&もちつき大会、竹でスピーカーを作ろう
里山復元	稲作体験、丸太のベンチ作り、森の時計作り、マイスツールを作ろう、親子で薪割り体験、シイタケづくり、ミニ門松作り、チェーンソー安全教室、モルックの用具を作ろう

■団体プログラム

プログラムは原則として土曜・日曜・祝日に実施しますが、団体の申し込みには、平日でも希望のプログラムを組み実施しています。

■学校向けプログラム

「総合的な学習の時間」の展開に適したプログラムを用意し要望に応じています。

■森の学校

小学3年生から6年生の児童を対象にした里山体験プログラムを年間10回体験します。

沿革

ささやまの森公園の設置

1 設置の趣旨

兵庫県では法人県民税の超過課税の財源を基に「自然活用型野外CSR事業」（文化 Culture/スポーツ Sports/レクリエーション Recreation）を実施しています。

「丹波の森構想」の理念のもとに、自然を生かした生活環境や地域の文化を形成してきた里山を保全育成することを目的とします。住民の参画と実践により都市住民との交流、異世代間の交流、里山の保全利用を目標にしたプログラムを展開し、グリーンツーリズムの場として県民に自然との触れ合いの場を提供し、生活をより豊かにする里山・森づくりを推進します。

2 沿革

- ・平成14年 4月 1日 兵庫県と丹波の森協会が実施委託契約
- 4月 4日 活動拠点施設開所式
- 7月 6日 ログ小屋完成
- 7月21日 開園式典
- ・平成15年 5月17日 杉小屋完成
- ・平成16年 3月31日 10号作業道・12号歩道（木の実の散策路）完成
- 6月 1日 竹の館完成
- ・平成17年 3月31日 13号歩道・14号歩道・15号歩道（湖上の散策路）完成
- ・平成18年 3月31日 16号作業道（エビズエの散策路）・東屋（雑木林の散策路頂上）・藤棚（水辺の広場）・臨時駐車場完成
- 4月 1日 篠山市から、財団法人兵庫丹波の森協会が管理運営を受託
- 10月 8日 森守の小屋完成
- ・平成19年 4月15日 開園5周年記念式典
- 4月15日 万兎の森第1期工事完成
- 11月10日 炭焼き小屋と杉小屋の屋根延長工事完成
- ・平成20年 3月15日 万兎の森第2期工事完成
- 11月23日 レンガ窯「ささもり窯」の完成
- 11月26日 野鳥観察小屋完成
- ・平成21年 3月10日 万兎の野草園造成
- ・平成22年 3月 6日 野鳥の森第1期植樹完成
- ・平成23年 3月24日 木材乾燥小屋「木の館」完成
- 11月18日 ささもり窯作業場完成
- ・平成24年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が、ささやまの森公園の指定管理者となる。
（平成24年度～平成26年度）
- 4月15日 開園10周年記念式典
- 12月 1日 来園者20万人達成記念
- ・平成24年12月 1日 森の遊び場オープン
- ・平成26年 6月26日 ささもりのステージ完成
- 10月31日 水車小屋完成

- ・平成27年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が、ささやまの森公園の指定管理者となる。
(平成27年度～平成29年度)
- 5月31日 バーベキュー広場完成
- ・平成28年10月15日 森の迷路完成
- ・平成29年 4月 9日 開園15周年記念式典
- ・平成30年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が、ささやまの森公園の指定管理者となる。
(平成30年度～令和2年度)
- 11月11日 来園者30万人達成記念
- ・令和元年10月12日 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社による「水源の森たんばささやま」の活動はじまる
- ・令和2年 3月21日 ささもりのステージ改築工事完成
- 6月 4日 たいこ橋改修工事完成
- 8月30日 散策路(こもれびの園地下)災害復旧工事完成
- ・令和3年 3月 8日 ホームページリニューアル及びスマホ対応化完成
- 3月11日 木柵(ハンノキ林周辺)修繕工事完成
- 3月19日 階段(東屋上)改修工事完成
- 3月22日 浄化槽設置工事完成
- 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が、ささやまの森公園の指定管理者となる。
(令和3年度～令和5年度)
- 7月21日 森の道場換気設備工事完成
- 9月20日 給水ポンプ整備工事完成
- 12月 8日 管理棟外外壁塗装工事完成
- ・令和4年 2月 3日 木橋補修工事完成(アカマツ林の散策路)
- 2月 3日 木柵補修工事完成(アカマツ林の散策路)
- 8月31日 エビズエの道崩落箇所復旧工事完成
- 10月 3日 ハンノキ林木柵修繕工事完成
- 11月 6日 開園20周年記念式典
- 11月21日 「水源の森たんばささやま」森開き式典
- ・令和5年 3月31日 八幡谷川木柵修繕工事完成

施設の概要

ささやまの森公園の概要

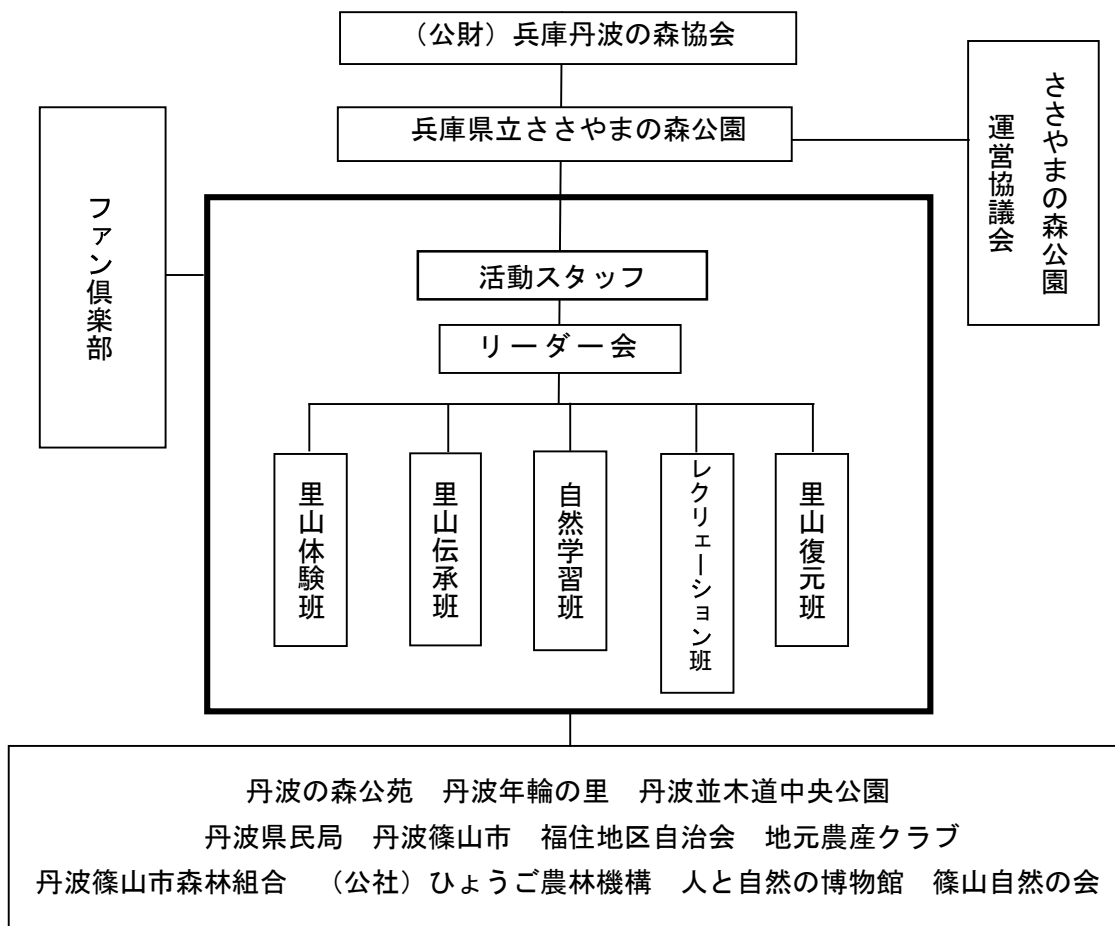
活動拠点施設がある谷を中心に両側の尾根までを「ささやまの森公園」の範囲としています。その中には、兵庫県所有地と借地を含んでおり、面積は255haにおよび、人工林30%自然林70%が広がります。なお、平成14年7月開園から令和4年度末までの利用者数累計は384,172人です。

名 称	内 容
活 動 拠 点 施 設	事務局・森の道場・和室・倉庫・台所・トイレ・手押しポンプ
森 守 の 小 屋	活動スタッフの研修・集会・休憩場所として活動スタッフの手で建築
ロ グ 小 屋	作業車の格納庫として、活動スタッフが間伐材を利用して建築
竹 の 館	木工材料の乾燥・保管場所(4×10m) 活動スタッフが間伐材を利用して建築
炭 焼 き 窯	直径1.8mの本格的な炭焼き窯
杣 小 屋	木工細工所として、活動スタッフの手で建築
さ さ も り 窯	丹波焼きの技術を取り入れた窯で、パン・ピザも焼くことができる設計にした
木 の 館	木材乾燥小屋として、活動スタッフが間伐材を利用して建築
野 鳥 観 察 小 屋	雑木林の中に野鳥が観察できる小屋(16㎡)が完成
ビ オ ト ー プ 池	トンボや水生生物などが集まり、自然観察ができる場
ク リ 林 の 園 地	クリ林の中での活動、交流など集いの拠点
万 兎 の 森	昆虫や鳥を呼ぶ森作りとして、活動スタッフの手で植樹・造成
万 兎 の 野 草 園	石庭形式の中に、公園内の野草を集め観察できる庭を完成
水 辺 の 広 場	溪流の傍に芝生の広場が広がり、木陰・石ベンチがあり子どもの遊び場
野 鳥 の 森	鳥を呼ぶ森作りとして、活動スタッフの手で植樹
こ も れ び の 園 地	コナラ林の明るい散開林に東屋があり、ネイチャーゲームや野鳥観察ができる
森 の 遊 び 場	ヒノキ林の中にある森の迷路の遊び場
モ リ ア オ ガ エ ル の 池	季節にはモリアオガエルが産卵する池で、説明板や観察台を設置
果 樹 園	農家の庭先に植えてあるような果樹を栽培
散 策 路	湖岸の散策路・アカマツ林の散策路・雑木林の散策路・黄葉樹の散策路・木の 実の散策路・さえずりの散策路、湖上の散策路等全長12.640km整備
ハ イ キ ン グ 道	尾根に全長10kmのハイキングコースを活動スタッフの手で開拓・整備
さ さ も り の ス テ ー ジ	森の中のステージで演奏会などの利用ができる
水 車 小 屋	「コットン、コットン」の音とともに昔の里山風景をつくっている
駐 車 場	施設前駐車場(50台)・ダム西駐車場(50台)・ダム東駐車場(30台)

組織と職員

令和5年3月31日 現在

(1) 組織体系



- ファン倶楽部：運営を支援するための年会費制応募者。
- 活動スタッフ：プログラムの企画・実施や、ささやまの森公園で里山活動を行う。

(2) 職員

担 当	氏 名
公園長兼管理課長	花 村 諭
経 理 担 当	宮 脇 寛 子
森 づ く り 担 当	藤 井 満 成
プ ロ グ ラ ム 担 当	長 井 吉 広
総 務 担 当	藤 原 一 美
総 務 担 当	大 西 和 之

丹波並木道中央公園

- ・ 活動一覧
- ・ 施設利用一覧
- ・ 森の円卓会議の開催状況及び委員名簿
- ・ 施設の概要・沿革
- ・ 組織と職員

活動一覧

丹波並木道中央公園

令和4年4月1日～令和5年3月31日

月 日	主 な 事 項	参加者
令和4年4月		
	レンタサイクル	61
2日	大人の木工教室	2
	味間地区まちづくり協議会あるこう会	70
4日	木工サポーター	5
10日	つつじ会	25
11日	木工サポーター	3
16日	大人の木工教室	4
17日	ノルディックウォーキング	10
18日	木工サポーター	3
19日	こころと体の癒し講座 芝人形作り	12
24日～25日	たんばオープンガーデン2022	—
25日	木工サポーター	3
29日～5月3日	並木道水彩画倶楽部展示会	189
5月		
	レンタサイクル	129
1日	木工クラフト～イス～	7
2日	木工サポーター	2
3日	石ころアート	80
5日	キャニスターアレンジ	10
7日	大人の木工教室	2
8日	ツリーイング 多肉の寄せ植え体験	13 10
9日	木工サポーター	4
10日	森のようちえん	23
14日	化石発掘体験会	20
15日	茶摘み体験とお茶づくり体験 ノルディックウォーキング Let's青空モルック	4 12 19
16日	木工サポーター	4
17日	心とからだの癒し講座～アロマストーンづくり～	10
20日	花と緑の教室 夏の草花の寄せ植えと管理法	24 24
21日	赤米の田植え体験	11
22日	茶摘み体験とお茶づくり体験	4
22日～23日	たんばオープンガーデン2022	—
26日	赤米の田植え体験（つきかげ認定こども園） 赤米の田植え体験（みのり認定こども園）	24 23
27日	ひょうご里山フェスタ2022 第1回実行委員会	21
30日	赤米の田植え体験（大山小） 木工サポーター	28 3
6月		
	レンタサイクル	46
2日	森のようちえん	17
4日	大人の木工教室	4
	新茶の淹れ方と飲み比べ	23
6日	木工サポーター	3
6日～9日	トライやるウィーク	19
11日	なみきみちクラフト	3
13日	木工サポーター	3

月	日	主 な 事 項	参加者	
7月	17日	花と緑の教室 夏の花木を使った寄せ植えと管理法	27	
	18日	大人の木工教室	1	
	19日	ノルディックウォーキング	9	
	20日	木工サポーター	4	
	21日	心とからだの癒し講座 玉ねぎの量感図	8	
	23日	第2回なみきみちまつり実行委員会	14	
	27日	木工サポーター	3	
	30日	尼崎市立長洲小学校	49	
			レンタサイクル	62
	2日	大人の木工教室	4	
4日	木工サポーター	2		
9日	なみきみちクラフト	3		
16日	大人の木工教室	3		
17日	ノルディックウォーキング	4		
18日	木工サポーター	3		
23日	ヒノキのお皿づくり 化石発掘体験会 木工サポーター	3 6 3		
26日	第2回なみきみちまつり実行委員会	11		
28日	プール遊び	4		
29日	プール遊び	4		
31日	和紅茶をつくろう	8		
8月		レンタサイクル	81	
	1日	プール遊び 木工サポーター	4 4	
	2日	プール遊び	4	
	3日	プール遊び	6	
	6日	化石発掘体験会①	10	
	12日	ひょうご里山フェスタ2022 第2回実行委員会	32	
	13日	なみきみちクラフト	6	
	15日	木工サポーター プール遊び	3 6	
	20日	大人の木工教室	2	
	21日	ノルディックウォーキング 多肉植物の寄せ植	4 12	
	22日	木工サポーター	3	
	23日	プール遊び	1	
	24日	第3回なみきみちまつり実行委員会	8	
	29日	木工サポーター	4	
	9月		レンタサイクル	58
3日		大人の木工教室	1	
7日		かかし立て（つきかげ認定こども園） かかし立て（みのり認定こども園）	28 27	
9日		ネットヨタ神戸ベンチづくり	9	
10日		なみきみちクラフト	3	
12日		木工サポーター	4	
16日		花と緑の教室 秋のこけ玉づくりと管理法	16	
18日		ノルディックウォーキング	8	
20日		心とからだの癒し講座 ～木の実とドライフラワーのミニポットアレンジ～	9	

月 日	主 な 事 項	参加者	
10月	21日	第4回丹波なみきみちまつり実行委員会	10
	26日	木工サポーター	4
	27日	森の円卓会議	17
		レンタサイクル	74
	1日	大人の木工教室	4
	1日~30日	丹波の森ミニガーデン	—
	3日	木工サポーター	4
	12日	なみきみちクラフト（城北畑小学校きらきら学級1. 2）	13
	15日	大人の木工教室	2
	16日	兵庫たんばワク・パクライド ノルディックウォーキング 黒枝豆の収穫体験	89 6 23
17日	木工サポーター	2	
19日	丹波市・丹波篠山市中学校駅伝大会	150	
20日	赤米の稲かり体験（つきかげ認定こども園） 赤米の稲かり体験（みのり認定こども園）	24 23	
21日	花と緑の教室（午前） 秋の草花の寄せ植えと管理法	29	
23日	カラフルな太鼓をつくってたたこう！	12	
24日	木工サポーター	4	
26日	丹有地区中学校駅伝競走大会	226	
27日	赤米の稲かり体験（大山小学校）	28	
30日	ひょうご里山フェスタ2022	3,200	
31日	木工サポーター	4	
11月		レンタサイクル	58
	5日	大人の木工教室 丹波篠山市ミニ駅伝大会	4 120
	7日	木工サポーター	4
	8日	恐竜エコツアー	8
	11日	味間小学校5年生 自然学校	95
	12日	野鳥観察会	17
	14日	木工サポーター	4
	15日	心とからだの癒し講座 「みつろうで作るハンドクリームとリップクリーム」	8
	19日	大人の木工教室	2
	20日	ノルディックウォーキング 丹波布で茶缶をドレスアップ	7 8
21日	木工サポーター	2	
25日	花と緑の教室（午前） ポンセチアを使った寄せ植えと管理法	29	
26日	なみきみちデイキャンプ	4	
27日	ネットトヨタ神戸 電動車いすの試乗&展示	70	
28日	木工サポーター	3	
29日	草木染め体験（大路小学校）	21	
12月		レンタサイクル	20
	2日	トヨタベンチづくり 大人の木工教室	10 4
	3日	テーブル・イスづくり	4
	10日	丹波篠山市陸上競技協会 駅伝大会	150
	12日	木工サポーター	2

月 日	主 な 事 項	参加者
1 4 日	なみきみちクラフト（今田小）	1 6
1 6 日	花と緑の教室 正月を飾る寄せ植えと管理法	3 0
1 7 日	大人の木工教室 ヒノキのスツール	1
1 8 日	ノルディックウォーキング ミニ門松づくり	6 2 0
2 0 日	心とからだの癒し講座 「お皿を使ったクリスマスプレートづくり」	7
2 6 日	木工サポーター	4
1 月		
	レンタサイクル	3 0
7 日	大人の木工教室 イス・テーブルづくり	1
8 日	つくって遊ぼう凧づくり	1 0
9 日	木工サポーター	3
1 5 日	ノルディックウォーキング	3
1 6 日	木工サポーター	4
1 9 日	森のようちえん	2 8
2 1 日	大人の木工教室 ヒノキのスツール	1
2 3 日	木工サポーター	4
3 1 日	木工サポーター	3
2 月		
	レンタサイクル	3 7
4 日	大人の木工教室	3
5 日	寒茶づくり体験	8
6 日	木工サポーター	4
9 日	森のようちえん	2 5
1 1 日	なみきみちクラフト	5
1 2 日	黒豆味噌作り体験	1 1
1 3 日	木工サポーター	3
1 7 日	花と緑の教室 早春の草花の寄せ植えと管理法	2 1
1 9 日	ノルディックウォーキング	4
2 2 日	森の円卓会議	1 3
2 0 日	木工サポーター	3
2 6 日	なみきみち冬の味覚市	3, 0 2 2
2 7 日	木工サポーター	3
3 月		
	レンタサイクル	6 1
3 日	森のようちえん	2 5
4 日	大人の木工教室	3
1 3 日	木工サポーター	3
1 7 日	花と緑の教室 春の草花の寄せ植えと管理法	2 9
1 9 日	化石発掘体験会 ノルディックウォーキング	2 6 7

施設利用一覧

丹波並木道中央公園

令和4年4月1日～令和5年3月31日

実施等	団体名	活動内容	参加者数
4月 4日	新婦人の会（絵手紙）	絵手紙教室	5
5日	丹波彫刻会	彫刻教室	11
7日	ひばりの会	コーラス練習	10
11日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
12日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	第10福寿会	グラウンドゴルフ	12
	丹波彫刻会	彫刻教室	10
	和寿園	お花見	18
13日	和寿園	お花見	11
14日	和寿園	お花見	14
18日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
19日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
	住友ゴム	植樹活動	6
	丹波彫刻会	彫刻教室	9
20日	ケアハウス丹波の郷	散歩	40
	住友ゴム	植樹活動	5
21日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
25日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
26日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	8
	丹波彫刻会	彫刻教室	10
28日	にしき会	グラウンドゴルフ	10
	並木道水彩画倶楽部	水彩画展示準備	15
5月 2日	新婦人の会（絵手紙）	絵手紙教室	6
6日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
9日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
10日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
	丹波彫刻会	彫刻教室	10
12日	にしき会	グラウンドゴルフ	7
	丹波彫刻会	彫刻教室	4
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
17日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
	認定こども園ミライズ にじ	遠足	56
	丹波彫刻会	彫刻教室	13
19日	丹波彫刻会	彫刻教室	5
20日	人と自然の博物館	岩砕調査	4
21日	人と自然の博物館	岩砕調査	13
22日	人と自然の博物館	岩砕調査	5
23日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
24日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	アトリエハーモニー	歌の活動	11
	住友ゴム	植樹活動	6
	人と自然の博物館	岩砕調査	3
25日	住友ゴム	植樹活動	6

実施等	団体名	活動内容	参加者数
	人と自然の博物館	岩砕調査	9
26日	にしき会	グラウンドゴルフ	8
	人と自然の博物館	岩砕調査	4
27日	人と自然の博物館	岩砕調査	3
28日	人と自然の博物館	岩砕調査	7
31日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	11
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	丹波彫刻会	彫刻教室	8
6月 1日	西紀北幼稚園	遠足	15
	人と自然の博物館	岩砕調査	5
2日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	3
	人と自然の博物館	岩砕調査	4
3日	住友ゴム	植樹活動	2
7日	ネットヨタ神戸	サイクルイベント	20
	丹波彫刻会	彫刻教室	12
9日	にしき会	グラウンドゴルフ	15
	丹波彫刻会	彫刻教室	4
10日	岡野幼稚園	遠足	15
11日	丹波篠山市身体障害者福祉協議会	ノルディックウォーキング	23
13日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	8
14日	丹波彫刻会	彫刻教室	8
15日	丹波昔ばなし大学	昔ばなしの勉強会	5
	住友ゴム	植樹活動	7
21日	丹波彫刻会	彫刻教室	11
23日	にしき会	グラウンドゴルフ	9
	丹波彫刻会	彫刻教室	5
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	2
24日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
27日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
28日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	5
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	13
	丹波彫刻会	彫刻教室	7
29日	篠山養護学校	遠足	15
7月 4日	絵手紙教室	絵手紙教室	4
5日	丹波彫刻会	彫刻教室	9
7日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
8日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
11日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	8
12日	丹波彫刻会	彫刻教室	10
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	9
13日	住友ゴム	植樹活動	5
14日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
19日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
	丹波彫刻会	彫刻教室	9
21日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
25日	日本茶を楽しむ会Tan-te	紅茶づくり研修	3
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
26日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
	丹波彫刻会	彫刻教室	7
28日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5

実施等	団体名	活動内容	参加者数	
8月	1日	にしき会	グラウンドゴルフ	10
		新婦人の会	絵手紙教室	6
		日本茶を楽しむ会Tan-te	紅茶づくり研修	10
	2日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
		丹波彫刻会	彫刻教室	10
	4日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
	5日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	6日	バイスクールプロジェクト	サイクリング	12
	7日	バイオマス丹波篠山	写真撮影	10
		バイスクールプロジェクト	サイクリング	10
	8日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
	9日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
		並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	3
	16日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	18日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	3
	20日	狭間中学校	駅伝練習	6
		丹南中学校	駅伝練習	22
	22日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	23日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
		並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
		丹波彫刻会	彫刻教室	10
	24日	八景中学校	駅伝練習	15
	25日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
		長坂中学校	駅伝練習	8
	30日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	9
		丹波彫刻会	彫刻教室	9
	9月	5日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室
6日		第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
		丹波ささやまおもしろゼミナール	かやぶき民家見学	20
		住友ゴム	植樹活動	3
		丹波彫刻会	彫刻教室	6
7日		住友ゴム	植樹活動	5
8日		並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	9
		にしき会	グラウンドゴルフ	10
		丹波彫刻会	彫刻教室	4
9日		丹波の森花クラブ	ガーデンショー寄せ植え	35
10日		狭間中学校	駅伝練習	6
		長坂中学校	駅伝練習	7
12日		篠山中学校	駅伝練習	12
		並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
13日		並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
		第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
		丹波彫刻会	彫刻教室	8
17日		丹南中学校	駅伝練習	22
		山南中学校	駅伝練習	11
		春日中学校	駅伝練習	9
	篠山東中学校	駅伝練習	12	
18日	三田学園中学校	駅伝練習	30	
	八景中学校	駅伝練習	13	
20日	丹波彫刻会	彫刻教室	7	

実施等	団体名	活動内容	参加者数
23日	篠山中学校	駅伝練習	23
	篠山東中学校	駅伝練習	8
27日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
	丹波彫刻会	彫刻教室	10
	篠山産業高校	ミニガーデン作業	6
28日	篠山東雲高校	ミニガーデン作業	6
30日	氷上中学校	駅伝練習	13
	柏原中学校	駅伝練習	4
10月2日	青垣中学校	駅伝練習	16
	長坂中学校	駅伝練習	10
4日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
	住友ゴム	植樹活動	5
	丹波彫刻会	彫刻教室	9
5日	認定こども園みつみ	遠足	35
6日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	富山こども園	遠足	27
	山南子育て学習センター	遠足	46
	住友ゴム	植樹活動	9
	丹波彫刻会	彫刻教室	3
	篠山産業高校	ミニガーデン作業	6
7日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	3
8日	大阪ケーブルテレビ	撮影	2
	山南中学校	駅伝練習	7
	柏原中学校	駅伝練習	13
	ゆりのき台中学校	駅伝練習	14
	三田学園中学校	駅伝練習	18
	丹南中学校	駅伝練習	25
	篠山中学校	駅伝練習	32
9日	春日中学校	駅伝練習	9
10日	長坂中学校	駅伝練習	8
	けやき台中学校	駅伝練習	25
	狭間中学校	駅伝練習	7
11日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	富山こども園	遠足	31
	住友ゴム	植樹活動	4
	丹波彫刻会	彫刻教室	13
	丹波篠山市高齢者大学	ノルディックウォーキング	20
12日	西紀みなみ幼稚園	遠足	54
	丹波県民局	現地見学（ファムトリップ）	19
13日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
	にしき会	グラウンドゴルフ	10
14日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	今田幼稚園	遠足	35
15日	篠山東中学校	駅伝練習	14
	春日中学校	駅伝練習	11
	柏原中学校	駅伝練習	14
16日	長坂中学校	駅伝練習	8
17日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
18日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6

実施等	団体名	活動内容	参加者数
	鈴原小学校	遠足	72
	丹波彫刻会	彫刻教室	4
22日	生活支援センターホップ	遠足	15
	長坂中学校	駅伝練習	8
	八景中学校	駅伝練習	14
	けやき台中学校	駅伝練習	25
	狭間中学校	駅伝練習	18
23日	篠山東中学校	駅伝練習	11
25日	住友ゴム	植樹活動	3
	丹波彫刻会	彫刻教室	8
	西紀保育園	遠足	33
28日	里山幼稚園ふえっこ	遠足	10
	住友ゴム	植樹活動	3
29日	正英幼稚園	遠足	83
	住友ゴム	植樹活動	3
31日	味間認定こども園	遠足	114
11月1日	丹波彫刻会	彫刻教室	9
2日	城南幼稚園	遠足	56
	住友ゴム	植樹活動	5
4日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
7日	新婦人の会	絵手紙教室	4
8日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	第10福寿会	グラウンドゴルフ	6
	味間小学校2年生	遠足	102
	丹波彫刻会	彫刻教室	12
10日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	にしき会	グラウンドゴルフ	9
	認定こども園ミライズそら	遠足	43
11日	住友ゴム	植樹活動	2
12日	篠山鳳鳴高校	駅伝練習	5
	丹南中学校	駅伝練習	17
	丹波障害者就業支援生活センター「ホップ」	園内散策	15
14日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
15日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
	住友ゴム	植樹活動	5
21日	認定こども園ミライズそら	遠足	43
22日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
	丹波彫刻会	彫刻教室	9
24日	認定こども園ミライズそら	遠足	40
	丹波彫刻会	彫刻教室	4
	にしき会	グラウンドゴルフ	11
29日	丹波彫刻会	彫刻教室	7
12月1日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
2日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	4
3日	丹南中学校	駅伝練習	14
5日	新婦人の会	絵手紙教室	4
6日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
7日	丹波彫刻会	彫刻教室	10
8日	丹波の森花くらぶ	うちあわせ	8
	丹波彫刻会	彫刻教室	4

実施等	団体名	活動内容	参加者数
9日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
12日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	住友ゴム	植樹活動	2
13日	丹波彫刻会	彫刻教室	10
20日	丹波彫刻会	彫刻教室	10
22日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
23日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
26日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
27日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
	丹波彫刻会	彫刻教室	4
令和5年1月5日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
6日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
10日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	丹波彫刻会	彫刻教室	14
12日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
	丹波の森花クラブ	研修	8
13日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
16日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
17日	丹波彫刻会	彫刻教室	9
18日	八多小学校	遠足	18
19日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	9
24日	丹波彫刻会	彫刻教室	8
30日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	8
31日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	8
	丹波彫刻会	彫刻教室	7
2月 6日	新婦人の会	絵手紙教室	5
7日	丹波彫刻会	彫刻教室	10
8日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
9日	丹波彫刻会	彫刻教室	3
10日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
14日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	6
	丹波彫刻会	彫刻教室	11
20日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
21日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	8
22日	住友ゴム	植樹活動	2
28日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	第10福寿会	グラウンドゴルフ	8
	丹波彫刻会	彫刻教室	12
3月 1日	認定こども園みつみ	遠足	145
	人と自然の博物館	研修会	5
2日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
6日	新婦人の会	絵手紙教室	5
7日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	7
	丹波彫刻会	彫刻教室	7
8日	山南古代の里	園内散策	14
	上久下小学校	社会見学	10
9日	認定こども園いくさと	遠足	40
	丹波彫刻会	彫刻教室	3
	にしき会	グラウンドゴルフ	10
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5

実施等	団体名	活動内容	参加者数
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	7
13日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	17
14日	第10福寿会	グラウンドゴルフ	9
	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	丹波彫刻会	彫刻教室	7
20日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	9
22日	丹波篠山市役所社会福祉課	ノルディックウォーキング	15
23日	丹波彫刻会	彫刻教室	4
24日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	11
27日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	11
28日	並木道水彩画倶楽部	水彩画教室	5
	第10福寿会	グラウンドゴルフ	9
	丹波彫刻会	彫刻教室	8

丹波並木道中央公園森の円卓会議開催状況

森の円卓会議開催状況

区 分	開 催 日	開 催 地	出席者数	協 議 事 項
第1回	9月27日	丹波並木道中央公園かやぶき民家	22名	(1) 令和3年度第2回議事録について(報告) (2) 令和4年度の運営管理事業について(報告・計画) (3) 第9回丹波なみきみちまつりについて(報告) (4) 「動く恐竜模型」「大型遊具」のエリア愛称募集について (5) イノシシの被害対策について(報告) (6) その他 ・ ネットトヨタ神戸連携企画 ・ 「阪神・淡路大震災30年」・「2025大阪・関西万博」 ・ クビアカツヤカミキリについて
第2回	令和5年 2月22日	丹波並木道中央公園かやぶき民家	18名	(1) 令和4年度第1回議事録について(報告) (2) 令和4年度の運営管理事業について(報告) (3) 令和5年度の運営管理事業について(計画) (4) 公園利用のルールについて (5) その他

丹波並木道中央公園 森の円卓会議名簿

令和5年3月31日現在

職名	氏名	職名・所属等
委員長	角野 幸博	丹波の森公苑 公苑長
副委員長	杉尾 吉弘	(株)夢こんだ代表取締役社長
副委員長	土性 里花	一般社団法人ウイズささやま 総務課長
委員	谷垣 友里	一般社団法人 ROOT 代表理事
委員	上野 浩司	大山郷づくり協議会 会長
委員	溝端 義男	味間地区まちづくり協議会 会長
委員	雪岡 昌	大山下自治会会長
委員	森井 和昌	西古佐自治会会長
委員	角谷 慶治	篠山自然の会 副代表
委員	池田 忠広	兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員
委員	中谷 光孝	(公財)兵庫県園芸・公園協会 総務部長
委員	大垣 至康	(公財)兵庫丹波の森協会 常務理事
オブザーバー	西脇 誠	協同組合 丹波林産振興センター理事
オブザーバー	中澤 康夫	篠山市左官技術研究会 会長
オブザーバー (行政)	高本 良平	兵庫県県土整備部まちづくり局公園緑地課整備班
オブザーバー (行政)	小藪 あゆみ	丹波県民局 丹波土木事務所 公園砂防課 課長
オブザーバー (行政)	中原 康弘	丹波県民局 丹波土木事務所 管理課 課長
オブザーバー (行政)	村上 由樹	丹波篠山市教育委員会 文化財課 課長

施設の概要・沿革

丹波並木道中央公園について

1 概要

丹波並木道中央公園は、「丹波の森構想」に基づく広域レクリエーション、都市と農村の交流及び地域活性化の拠点となる丹波地域初の広域公園です。

本公園を「丹波の夢ビジョン」で示されている「いのち（自然）、ひと（人間）、なりわい（産業）」の3つの「環」を育む拠点として、県民の参画と協働によって魅力的な森の空間を体感していただける公園です。

■所在地 兵庫県丹波篠山市西古佐・大山下

■開園面積 70.9ha

■開園年月 平成19年10月14日

■種別 広域公園

■休業日 12月29日～1月3日

■主な施設

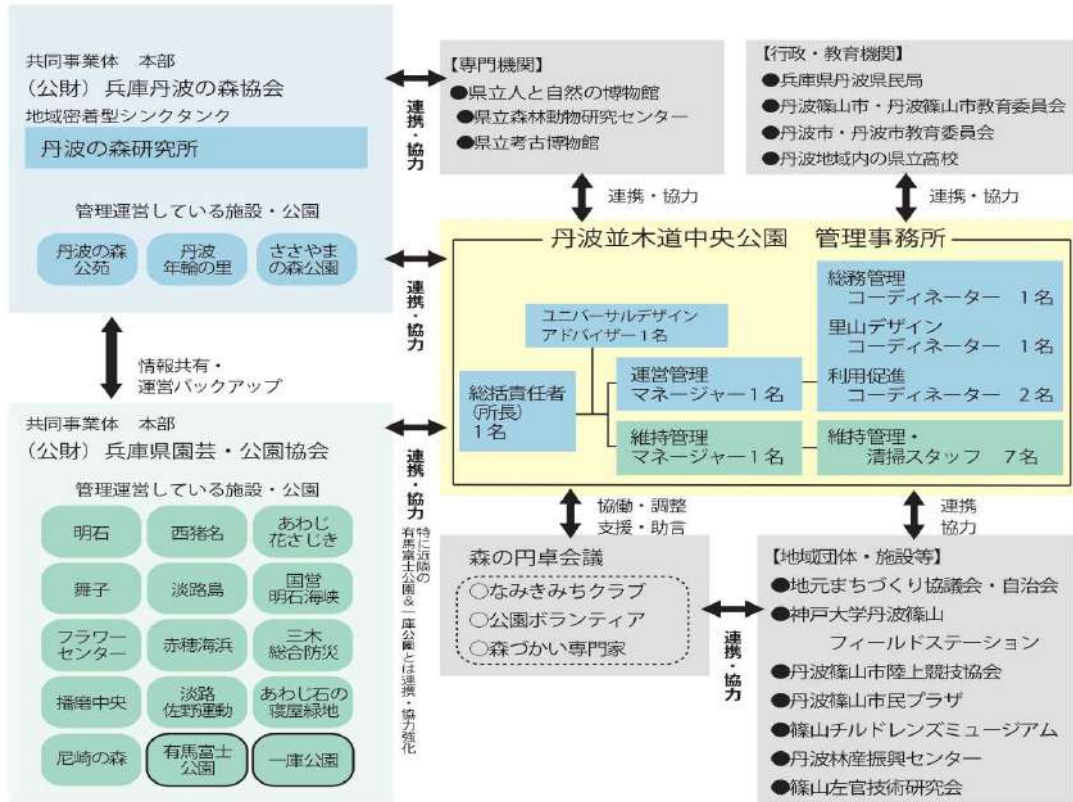
名 称	内 容
公 園 管 理 棟	事務所、会議室、トイレ（木造平屋建 279㎡）、授乳室
か や ぶ き 民 家	畳部屋、かまど、トイレ（木造平屋建 242㎡）
森 林 活 動 セ ン タ ー	森林活動拠点（木造平屋建 374㎡）
駐 車 場	普通乗用車110台、バス5台、臨時駐車場80台
広 場	芝生広場（4200㎡）、森の広場（9,400㎡）、お花見広場（1900㎡）、朝市広場（1200㎡）
棚 田	棚田（2200㎡）、あおぞら広場（2500㎡）
育 成 展 示 林	生産林（5.1ha）、景観林（1.8ha）、活動林（2.6ha）、
植 栽 地 等	高木 約1000本、中低木 約7200本
ト イ レ ・ 休 憩 所	トイレ4棟、東屋7棟、展望テラス1基、パーゴラ2基
調 整 池	調整池3箇所、ため池1箇所
倉 庫	木造平屋建 30㎡ 2棟
遊 具 等	遊具3基、木製散歩道77m、動く恐竜模型2体
森 の 聖 域 ゾ ー ン	21.4ha
サイクルステーション	休憩所、シャワー室、更衣室、便所、駐車場5台

2 沿革

- ・平成19年10月14日 公園開園
- ・平成23年 4月 1日 財団法人兵庫丹波の森協会が財団法人兵庫園芸・公園協会とともに指定管理者となる。（平成23年度～平成27年度）
- ・平成24年10月15日 公園開園5周年
- ・平成28年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が公益財団法人兵庫園芸・公園協会とともに指定管理者となる。（平成28年度～令和2年度）
- ・平成29年10月15日 公園開園10周年
- ・令和3年 4月 1日 公益財団法人兵庫丹波の森協会が公益財団法人兵庫園芸・公園協会とともに指定管理者となる。（令和3年度～令和7年度）

組織と職員

(1) 組織体系



(2) 業務分担表 (兵庫丹波の森協会所属スタッフのみ)

令和5年3月31日現在

	役職・氏名	担当業務内容
管理事務所	総括責任者(所長) 梶村 徳全	<ul style="list-style-type: none"> 公園管理業務の総括及び各業務の総合調整 対外的対応の総括 安全管理の総括 森の円卓会議の開催、運営企画
	ユニバーサルデザインアドバイザー 門上 保雄	<ul style="list-style-type: none"> 平等利用の確保や利用サービスの向上に関する助言 ユニバーサルデザイン・パークの取組に関する助言
	管理運営マネージャー 塩山 沙弥香	<ul style="list-style-type: none"> 統括責任者の代行、補佐 住民の参画と協働の実務 広報発行、イベント企画 苦情処理、利用調整、利用者対応等 森の円卓会議の開催、運営企画
	維持管理マネージャー 奥野 直之	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理計画の作成・実行 作業工程管理、安全管理 維持管理関係の各種調整 苦情処理、利用調整、利用者対応等

	<p>総務・管理 コーディネーター 谷口 政代</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計処理業務 ・事業報告書処理業務 ・森の円卓議会の企画、運営 ・広報紙の企画・編集、情報発信
	<p>総務管理アドバイザー 時本 美重</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総務・管理コーディネーターへのアドバイス ・財務会計処理業務の補助
	<p>利用促進コーディネーター 溝端 季子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受付業務、苦情処理業務 ・利用調整、利用者対応業務 ・会計処理業務 ・住民の参画と協働のサポート ・イベント企画、各種調整
	<p>利用促進コーディネーター 花川 恭子</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受付業務、苦情処理業務 ・利用調整、利用者対応業務 ・会計処理業務 ・住民の参画と協働のサポート ・イベント企画、各種調整
森 林 活 動 セ ン タ ー	<p>里山デザイン コーディネーター 吉田 欣司</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林活動センターの各種プログラムの企画、開催、運営 ・森林活動センターの維持管理作業 ・利用者対応、苦情受付
維 持 管 理 担 当	<p>維持管理スタッフ 足立 久典</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
	<p>維持管理スタッフ 杉野 良一</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
	<p>維持管理スタッフ 長澤 清一</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
	<p>維持管理スタッフ 岡田 康裕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
	<p>維持管理スタッフ 富田 浩之</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
	<p>清掃スタッフ 寺井 智</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
	<p>清掃スタッフ 高見 克彦</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務
	<p>清掃スタッフ 小倉 光</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園内維持管理作業 ・施設、設備点検業務 ・利用者対応、苦情受付 ・園内清掃業務

利用案内

丹波の森公苑

■開園時間 午前9時～午後10時

■休 苑 日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月29日から1月3日まで

- アクセス ◇自動車利用
- ・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、国道176号を福知山方面へ25分
 - ・舞鶴若狭自動車道「春日IC」から、国道175号・176号を柏原方面へ20分
 - ・北近畿豊岡自動車道「氷上IC」から、柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ15分
 - ・中国自動車道「滝野社IC」から、国道175号を福知山方面へ45分
- ◇JR利用
- ・JR福知山線「柏原駅」下車、徒歩15分

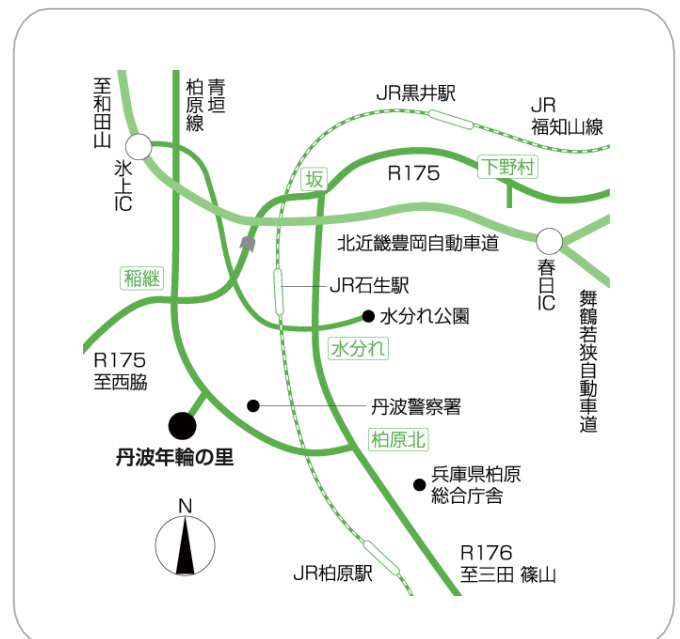


丹波年輪の里

■開園時間 午前9時～午後9時

■休 園 日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月29日から1月3日まで

- アクセス ◇自動車利用
- ・舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、国道176号を福知山方面へ30分
 - ・舞鶴若狭自動車道「春日IC」から、国道175号・176号を柏原方面へ15分
 - ・北近畿豊岡自動車道「氷上IC」から、柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ5分
 - ・中国自動車道「滝野社IC」から、国道175号を福知山方面へ40分
- ◇JR利用
- ・JR福知山線「柏原駅」下車、車で約5分



ささやまの森公園

■ 開園時間 午前9時～午後5時

■ 休園日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
12月29日から1月3日まで

■ 入園料・駐車料 無料

■ アクセス

◇ 自動車利用

- ・ 舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、国道372号を亀岡方面へ30分
- ・ 京都縦貫自動車道「亀岡IC」から、国道372号を篠山方面へ40分



丹波並木道中央公園

■ 開園時間 駐車場利用時間 午前8時～午後5時30分

■ 休園日 12月29日から1月3日まで

■ 入園料・駐車料 無料

■ アクセス

◇ 自動車利用

- ・ 舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」から、国道175号を福知山方面へ10分
- ・ 北近畿豊岡自動車道「氷上IC」から、柏原青垣線、国道176号を篠山方面へ30分
- ・ 中国自動車道「神戸三田IC」から、国道176号を福知山方面へ30分

◇ JR利用

- ・ JR福知山線「丹波大山駅」下車、徒歩10分

